

令和 4 年度

社会福祉法人姫戸福祉会

事業報告書



社会福祉法人姫戸福祉会

- 特別養護老人ホーム翔洋苑
- 特別養護老人ホーム翔洋苑ユニット棟
- 翔洋苑デイサービスセンター
- 姫戸町在宅介護支援センター翔洋苑
- 姫戸町ホームヘルプステーション翔洋苑
- グループホームひめど

TEL (0969) - 58 - 3611 (代表)

在介専用 58 - 3633

グループホーム 58 - 3610

FAX (0969) - 58 - 3618

【URL】 <http://www.shoyoen.or.jp>

【E-mail】 info@shoyoen.or.jp

一. 事業報告書

I. 理事会・評議員会の開催、及び監事監査の実施等

【1】理事会の開催	1
【2】評議員会の開催	2
【3】監事監査の実施	2

II. 部門別実績報告

【1】ISO部門	3
【2】介護老人福祉施設	11
【3】ユニット型地域密着型介護老人福祉施設	13
【4】通所介護事業	14
【5】上天草市地域支援事業	15
【6】生活支援コーディネーター事業	18
【7】居宅介護支援事業	19
【8】訪問介護事業	20
【9】認知症対応型共同生活介護	21

III. 部門別事業報告

【1】法人総務部門	22
【2-1】施設サービス部門（介護支援専門員・生活相談員）	26
【2-2】施設サービス部門（従来型特養介護）	30
【2-3】施設サービス部門（ユニット型特養介護）	33
【2-4】施設サービス部門（看護）	39
【2-5】施設サービス部門（栄養調理）	42
【3-1】居宅サービス部門（通所介護事業）	45
【3-2】居宅サービス部門（居宅介護支援事業）	47
【3-3】居宅サービス部門（在宅介護支援センター）	49
【3-4】居宅サービス部門（訪問介護事業）	51
【3-5】居宅サービス部門（認知症対応型共同生活介護事業）	53

IV. 行事等報告	
【1】 家族会・運営推進会議等	57
【2】 行事報告	59
VI. 研修会議等	
【1】 施設内研修	72
【2】 施設外研修	76
【3】 会議	78
【4】 施設内講習会等	90
二. 決算報告書	91
I. 計算書類	
1. 法人単位資金収支計算書	92
2. 翔洋苑拠点区分資金収支明細書	93
3. 法人単位事業活動計算書	94
4. 翔洋苑拠点区分事業活動明細書	95
5. 法人単位貸借対照表	96
6. 翔洋苑拠点区分貸借対照表内訳表	97
7. 計算書類に対する注記	98
II. 財産目録	100
III. 監事監査報告書	102

令和4年（2022年）度 社会福祉法人姫戸福社会事業報告書

I. 理事会・評議員会の開催、及び監事監査の実施等

【1】理事会の開催

日時・出席者等	議 案
第1回 理事会 ○開催の通知 令和4年5月18日 （姫福発第33号） ○開催日 令和4年6月11日 午後2時～3時 ○出席者 理事5名、監事2名	議案第1号 令和3年度事業報告（案）の承認について 議案第2号 令和3年度決算（案）の承認について 議案第3号 令和3年度監事監査報告について 議案第4号 評議員会の開催日時及び場所の決定について 議案第5号 評議員会の目的及び議案の概要の決定について 議案第6号 理事長専決事項の報告について その他 令和3年度指導監査結果の報告
第2回 理事会 ○書面による開催の通知 令和4年8月10日 （姫福発第88・89号） ○決議があったとみなされた日 令和4年8月11日 理事6名の同意、監事2名の確認	議案第1号 就業規則の改正について
第3回 理事会 ○書面による開催の通知 令和4年10月24日 （姫福発第142・143号） ○決議があったとみなされた日 令和4年10月31日 理事6名の同意、監事2名の確認	議案第1号 給与規程、及び非常勤職員給与規程の改正について 議案第2号 経理規程の改正について 議案第3号 令和4年度第1次資金収支補正予算書（案）について その他 理事長専決事項報告書
第4回 理事会 ○書面による開催の通知 令和5年1月18日 （姫福発第190・191号） ○決議があったとみなされた日 令和5年1月21日 理事6名の同意、監事	議案第1号 給与規程、及び非常勤職員給与規程の改正について

2名の確認	
第5回 理事会 ○開催の通知 令和5年3月13日 (姫福発第236号) ○開催日 令和5年3月29日 午後2時～3時55分 ○出席者 理事5名、監事2名	議案第1号 給与規程の改正について 議案第2号 非常勤職員給与規程の改正について 議案第3号 令和4年度資金収支最終補正予算書(案)について 議案第4号 グループホームひめどの事業廃止について 議案第5号 令和5年度社会福祉法人姫戸福社会事業計画(案)について 議案第6号 令和5年度社会福祉法人姫戸福社会資金収支予算書(案)について 議案第7号 継続契約の確認について 議案第8号 理事長の職務執行状況の報告について

【2】評議員会の開催

日時・出席者等	議 案
第1回 評議員会 ○開催の通知 令和4年6月13日 (姫福発第49号) ○開催日 令和4年6月27日 10時～11時15分 ○出席者 評議員6名	議案第1号 令和3年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認、並びに令和3年度事業報告について 議案第2号 役員等報酬規程の改正について

【3】監事監査の実施

日時・出席者等	監 査 項 目
○開催の通知 令和4年5月18日 (姫福発第32号) ○監査の実施日 令和4年6月8日 ○監査報告書の提出日 令和4年6月3日 監事: 本田明男・山下保	社会福祉法第45条の18、28及び関係法令に基づき、令和3年度事業に係る理事の業務の執行の状況及び法人の財産の状況

Ⅱ. 部門別実績報告

【1】ISO 部門

(1) 年間事業報告

月	日	摘 要	備 考
4 月	7 日	事故発生防止委員会	7 名
5 月	5 日	事故発生防止委員会	7 名
	30 日	第 1 回メンテナンス	7 名
6 月	2 日	事故発生防止委員会	7 名
7 月	7 日	事故発生防止委員会	8 名
8 月	4 日	事故発生防止委員会	8 名
9 月	1 日	事故発生防止委員会	7 名
10 月	13 日～	利用者満足度調査 職員アンケート	
	6 日	事故発生防止委員会	6 名
11 月	3 日	事故発生防止委員会	6 名
	15 日～16 日	サーベイランス審査	10 名
12 月	22 日	第 2 回メンテナンス	9 名
	1 日	事故発生防止委員会	5 名
2 月	6 日～	第 1 回内部監査	14 名
	2 日	事故発生防止委員会	7 名
3 月	2 日	事故発生防止委員会	6 名

(2) 内部監査報告

No.	監査日時		監査 番号	監査部門	内部監査員		指摘件数		立会い
	監査日	時 間			リ-ダ-	監査員	不適合	要観察	
1	2 月 10 日	14:00～14:50	2022-01	居宅介護支援	小西	森枝	0	0	
2	2 月 14 日	14:00～14:50	2022-02	訪問介護	坂本	奥田	0	0	
3	2 月 20 日	14:30～15:30	2022-03	通所介護	坂口	松下	0	0	野村
4	2 月 24 日	14:00～15:00	2022-04	従来型特養	清水	堀江	0	2	北垣
5	2 月 26 日	10:00～11:00	2022-05	運営管理責任者	宮崎	出口	0	0	
6	2 月 17 日	14:00～15:00	2022-06	グループホーム	木本	花田	0	0	
7	2 月 16 日	14:00～15:00	2022-07	ユニット型特養	前森	赤穂	0	0	

月	総 務		特養(従来型)		特養(ユニット型)		通所介護		訪問介護		グループホーム		厨 房	
	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析
4月	6		84	○	48	○	50		38	○	51	○	32	○
5月	9		98	○	51	○	45		30	○	42	○	25	○
6月	6		74	○	70	○	34		40	○	53	○	39	○
7月	8		110	○	71	○	18		24	○	145	○	43	○
8月	7		74	○	76	○	29		27	○	125	○	34	○
9月	8		80	○	52	○	37		21	○	100	○	38	○
10月	4		51	○	48	○	31		21	○	84	○	38	○
11月	9		57	○	74	○	41		39	○	79	○	36	○
12月	4		60	○	44	○	24		39	○	73	○	57	○
1月	6		61	○	61	○	19		21	○	84	○	31	○
2月	15		79	○	47	○	17		27	○	72	○	35	○
3月	12		79	○	54	○	30		37	○	115	○	32	○
平均	8	0回	76	12回	58	12回	31	0回	30	12回	85	12回	37	12回
評価	入所(居)者様の転倒リスクや食事リスクに関すること、施設の環境整備に関すること等のヒヤリはっとが挙がった。		フロア会議、各チームでハイリスク者のスクリーニングを行い、ヒヤリ・はっと報告の啓発・職員間での情報共有を図り、骨折ゼロに取り組んでいたが、転倒骨折による事故3件、介助による骨折事故1件、身体的な骨折(圧迫骨折)5件、計9件の骨折が発生してしまった。フロア会議、チーム会議でリスクの検討を行い骨折ゼロに取り組んでいきたい。		入居者様の全体的な重度化や入れ替わりもあってか、ヒヤリ・はっとの発生件数は昨年度より少なかったが、2月に居室で夜間排泄時の移動される際、転倒による骨折が1件あった。ほかは福祉用具、介助補助具の活用、また移動、移乗介助の評価や見直しを行った結果、表皮剥離や床等は激減した。その他、対応が必要な案件に対しては、迅速に、その都度対応はできていた。しかし予防・是正処置報告書等、対応はできていると思われるが報告書の作成ができていないので、担当者を定め報告書の作成ができる体制を作っていきたい。		毎月、ヒヤリはっと検討会を開催し、啓発・見直しを行いながら、事故の予防に努めた。継続してムセ等に対する報告の見直しを行っている結果、件数が減少傾向にあるが、重要な件に関しては継続的に検討している。また、環境面での改善も行いながら事故等の予防につなげている		・賞味期限切れや腐敗している食材があり冷蔵庫内の管理ができていない利用者様や服薬の飲み忘れの利用者様が多い。 ・鍋焦がしや火災報知器が作動していることもあった。全訪問先の火災報知器の設置確認済。				フロア会議にて報告・検討を行った。最終確認で防げるものもあるため、確実な確認の徹底を行っていく必要がある。異物混入の不適合が多かった。原因を把握し再発防止に努める。	

(4) 不適合サービス報告

(4) 不適合サービス報告

①総務

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
11	事故	医療機関への入院費振込金額間違い(預り金あり広域型特養入所者1名分)。	①医療機関より振込過多分の返金を受け、本人口座へ入金した。 ②金融機関の振込依頼書には請求書の請求金額を記入し(振込手数料は別扱い)、記入者との者でダブルチェックを行う。
11	事故	業者への補聴器購入代金振込金額間違い(預り金ありユニット型特養入居者1名分)。	①ご入居者と業者で相談の上、振込過多分(880円)以上の電池(1,000円)をいただき、返金等のやりとりはしないこととした。 ②金融機関の振込依頼書には請求書の請求金額を記入し(振込手数料は別扱い)、記入者との者でダブルチェックを行う。

事故(インシデント) 2 件

②従来型特養

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
4月	事故	着脱介助中左肘に表皮剥離を発見する。	手すりカバー等皮膚の状態を観察し看護へ報告する。
5月	事故(アクシデント)	居室前で転倒されているのを発見する。	ショート利用中は床マットセンサーを使用してトイレ等の付き添いを行う。
	事故	パット交換時左上腕を表皮剥離させる。	皮膚の状態を確認し内出血等がないか、腕を抱える時は掴まない、手のひらで抱える。
6月	事故(アクシデント)	居室のベッド横で左側臥位で転倒され左側頭部を1cm程裂傷されている。	ナースコールを押して頂く声かけを継続、床マットセンサーの設置。
	事故(アクシデント)	ご家族より薬の不足の電話があり、確認するとショートの定期薬処方で薬情表の確認不足と処方薬数の確認が出来ていなかった為、誤薬させてしまった。	ショート利用中の定期薬処方時は、薬情表の確認と処方日数分あるかの確認を行う。
7月	事故(アクシデント)	R3年度のレジオネラ菌検査が行われていなかった。	安全衛生委員会の事業計画に位置付ける。検査結果が届いているか、委員と事務職員で確認を行う。
	事故(アクシデント)	センサー作動頻回にあり対応行が興奮されている様子。居室から独歩で出て来られた為付き添い対応行が「すんな」と手で払いのけられた時ふらつき転倒される。転倒骨折。	歩行時は歩行器使用。興奮されている時は対応する職員を変える。
	事故	移乗介助時、左ふくらはぎと側に2cm×1.5cmの表皮剥離をさせてしまった。	二名介助で安全確認実施し介助行う。
	事故(アクシデント)	離床介助じ足を見ると右足の二番目の爪が剥がれ出血していた。	靴下を履かせる時には指先を靴下に合わせ履いて頂く様にする。
8月	事故(アクシデント)	朝食後の服薬時に誤って別の方の薬を提供してしまった。	服薬マニュアルに沿った対応を行う。
	事故(アクシデント)	南側ホールに案内中、椅子に座って頂こうとした時に目を離したら突然膝をまげて座りこまれる。膝の痛み訴えあり、確認行くと左手首二か所(3cm×5cm 1cm×1cm) 膝(1cm×1cm)の表皮剥離あり。	転倒リスク高い方なので付き添い中は目を離さない。
9月	事故	ベッドに休んで頂こうと首元に置いてあったタオルを取ると右手甲に8cmの三日月型の表皮剥離を発見する。	腕の拘縮強い方なので介助時はどこに手があるか把握しながら介助を行う。皮膚の乾燥予防。
	事故(アクシデント)	廊下に置いてあるパーテーションを引きずりながら歩いておられその音に対して立腹されている。声かけ行くと職員を突き飛ばす行為見られその反動で後ろに転倒される。	入居者が不穏状態にある時は状況を見て声掛けを行う様にする。
	苦情(意見)	F様の訪問を終えたMサービス提供責任者より「もうショート利用はしたくない。Yさんに話を聞いてほしい」と話されたとの報告あり。	フロア会議内にて対応について検討。F様の声に耳を傾けリアルタイムで対応出来るよう職員のスキルの向上を目指す。その都度対応を行って行く。

10月	事故(アクシデント)	他入居者様の排泄交換後、廊下を見ると中央洗面所の下、エレベーターの方を頭にして仰向けの状態で転倒されているのを発見する。右股関節に痛みあり、地域医療センター受診後右大腿骨骨折の診断あり。	PHSが反応しなかった為、受信の状況を調査して業者と対応策を検討する。日中の活動量を増やし夜間の安眠に繋げる。
12月	事故(アクシデント)	物音と声が聞こえた為、確認行くとK様が左側臥位で転倒されていた。左こめかみ、口腔内が切れて出血あり。上天草病院受診後、天草地域医療センターへ入院になる。	転倒リスク高い方なのでスタッフルームから見えるテーブル配置に変更行う。
	事故	トイレ介助時、右脛付近より出血あり。表皮剥離されている。(10cm×3cm)	車椅子のフットサポートは開くタイプに交換する。
	事故(アクシデント)	他入居者様の介助中、S様がSB様居室(ききょう)に入って行かれ、その後SB様が入ろうとされた時に入口付近でSB様がふらつかれ転倒される。	夜間トイレに起きられる時は付き添い見守りを行う。
	事故(アクシデント)	ショート送迎で帰宅し、手すりにつかまり勝手口の段差を上がり、後ろ向きで移動されしりもちをつく形で転倒される。	段差を上る際は移動方向に体が向く様に声掛け、介助を行う。
	事故(アクシデント)	排泄交換の為訪室すると酸素ボンベが空になっており、メモリも0になっていた。	交換時間の予定表を確認してアラームで時間を設定する。
1月	事故(アクシデント)	他入居者様のパット交換が終わり北側のトイレに向かうとトイレから出て来られる。パンツが濡れたと言われた為着替えを実施すると腰がいたいとの訴えあり「廊下で転んだ。ゆっくり転んだだけ大丈夫」と返事あり。ご家族へ謝罪行い、後日受診した結果、圧迫骨折の診断あり。	センサー設置し、トイレまでは職員が付き添う。歩行状態が悪い時はPWCを使用していただくよう勧める。
	事故(アクシデント)	口腔ケア実施後、洗面台で立っておられた為目を離すと、右側臥位の状態で転倒されている。	立っておられる時は離れず付き添い対応する。
	事故(アクシデント)	便失禁で手が汚れていた為、職員と一緒に手を洗っていたが突然後ろに倒れられる。	転倒があった時はその日に原因分析と今後の対応について話し合う。
2月	事故(アクシデント)	パット交換時右肘に発赤と腫れを見つける。看護師報告後、整形外科受診。ヒビ見つかり右肘顆上骨折との診断あり。	パット交換は二名介助で実施。移乗介助を行う時は、職員二名で声掛けし腕が落ちない様腕に手を添えて安全確認行いながら移乗する。
3月	事故(アクシデント)	SB様にFJ様の食前薬を飲ませてしまった。	服薬マニュアルに沿った対応を行う。
	事故(アクシデント)	朝食前のSB様の薬をF様に提供してしまった。	服薬マニュアルのに沿った対応。重大な不適合があった場合はその日に原因分析、対応策の検討会を行う。
	苦情	転倒されていた事についてご家族に電話で謝罪していたが、迎への送迎時に再度転倒についての謝罪なくご家族に不信感を与えてしまった。	転倒があった場合は送迎時やご家族迎えの際に状況の説明と謝罪を行う。
	事故(アクシデント)	FJ様にW様の食前薬を提供してしまった。	服薬マニュアルに沿った対応を行う。食前薬を提供する職員を決めて1名の職員で提供を行う。
	事故(アクシデント)	F様の現金2万円をスタッフルーム引き出しに預かっていたが紛失してしまう。	ショート利用者貴重品を持って来られていないか送迎時に確認を行う。セーフティーボックスを購入し貴重品を持って来られた場合はそこに保管する。

事故29件(内アクシデント22件)、意見・苦情2件

③ユニット型特養

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
4	事故	全身清拭介助中、左腕に弓型(1cm幅)の剥離を発見する	全身清拭、入浴等の介助は2名で行う
6	事故	トイレ介助中右下腿側面に1cm×1cmの剥離を発見する	移乗時の車いす等の位置の確認、フットサポートの状態の確認

7	事故	トイレ誘導中ズボンに赤いしみがあり確認すると、右下腿側面に2cm×1cmの剥離を発見する。	・移動介助以外、フットサポートは外す ・ふっとサポートに保護用カバーを被せる ・夜間、睡眠状態を確認し、覚醒時には排泄声掛けを行う ・夜間、眠れない様子の時には、一度起床して頂く等の対応をし床に降りられる回数を減らす
7	事故	・6月29日にT様が剥離されているのを発見し、不適合サービス報告書を作成したが、内容を安易に捉え「考えられる主な原因」と「今後の対応」について検討がうまくできていなかった。この事が原因で、7月6日に同じ個所の表皮剥離事故が発生した	今後、剥離事故等どんな些細な傷でも重大な事故に直結する可能性がある事を再認識し、発見した時点で、事故発生時に出勤している職員で迅速に原因追及を行い、不適合サービス報告書の作成を行う。また今後の対応についても迅速に周知を行い、統一した対応ができるよう確実にを行う。
9	事故	ホールにてソファで休んでおられる際に、トイレ訴えられる。右下肢側面に1cm×1cmの表皮剥離を発見する	休んでいただく際は、車いすを使用せず足を載せる台を用意し使用する。
10	事故	看護職員が処置の為、訪室すると右下腿に右下腿外側に、0.5cm×0.5cmの表皮剥離、その横に点線状に内出血を発見する	・車いすの金具付近にタオル等のクッションで養生する ・レッグウォーマーを使用し外傷を予防する
10	事故 アクシデント	数日前から腰痛訴え続いており、上天草総合病院整形外科受診。医師より「第1,2,3,4腰椎圧迫骨折している。転倒等なく自力での体動もあまりないと言うことなので、古い骨折か新しい骨折か不明。骨粗鬆症により、徐々に起きたのかかもしれない」と診断ある。同日受診後に施設長、WH様(娘)に診断結果を報告する。娘さんも「高齢で骨粗鬆症もあるので、圧迫骨折だろうと思っていました」との事だった	・移乗介助は2名にて実施。入浴介助は特浴に変更、車いすもリクライニング型車いすへ変更し、痛みがない様対応する。 ・コルセットは届き次第着用し、完治まで安静にする
2	事故 アクシデント	居室から大きな音が聞こえた為訪室すると、居室扉前の壁に座り込んだ状態で、もたれかかっておられた。朦朧とした状態であり、看護待機職員に連絡。看護職員が状態確認実施。左腕・臀部の痛み訴えあるが意識ははっきりしていた。ベッドへ移乗し1時間毎の状態確認するように指示あり。頭痛や吐き気ないが左手首の腫脹・左大転子部の痛みの訴え多い。翌朝、主治医・ご家族に状態報告行う。主治医より、救急搬送の指示あり実施。天草中央病院搬送し、検査実施。検査の結果、左橈骨骨折・左大腿部頸部骨折との診断ある	・センサーを設置する ・退院後の状態に応じて居室変更 ・歩行時は近くで見守る。または介助を行う ・夜間は靴下を脱いで頂く ・排泄後は靴を揃える ・滑り止めマットの検討 ・踵を踏まないために、踵が硬いタイプに変えるか、サイズをワンサイズ大きめを試してみる等靴の調整を行う
2	事故	朝食後の配薬時Y様の薬が見当たらなかった為、薬の袋入れを確認するとY様の名前の空の分包紙が入っていた。直前にジュースゼリーに混ぜてK様に提供したものがY様の薬だったことに気付く。看護職員・リーダーに報告実施。看護職員より主治医に報告。「体に害を及ぼすような薬ではないので様子を見るように」指示ある。	・薬をゼリーに混ぜる方の統一ができていなかった為、提供方法を統一し、確認作業や手順の周知を行う ・日付けと名前を声を出し読み上げ、確認を確実にし提供する

事故9件(内アクシデント2件)、意見・苦情 件

④厨房

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
4	事故	ユニット新規入居者様の食事を提供していない	申送りノートで当日の変更等を各自で把握する 申し送りノートは前のページから確認する

5	事故	サラダへ衛生手袋の混入	衛生手袋は裾部からゆっくり外し、ちぎれた部分がないか確認する また料理の上では外さない 手に合ったサイズを使用する 盛り付け時は目視確認を行う
6	苦情	上記、同じ利用者様へ牛肉の繊維状のものがあり、自分ばかりに異物混入があるとの意見	食材でも異物に見えるものは取り除く 肉類が細かくなり過ぎないように調理する 盛り付け時は目視確認を行う
6	事故	夕食検食の小鉢の煮物に食材を入れるビニール袋のビニール片が混入	ビニール袋の開封口は食材と離れた場所で切り取り処分する 食材を入れる際は余裕を持たせてしぼる 盛り付け時は目視確認を行う
9	事故	主菜へ冷凍食材の袋の切り落としが混入	食材の袋の開封は切り込み台と離れた場所で行い処分する 調理器具・盛り付け時の目視確認
11	事故	栄養ゼリーの外装容器が混入	栄養ゼリーの外装は1回で切り開く 外装から取り出し器に移す際のゼリー、容器の確認
1	事故	小鉢煮物へ毛髪が混入	ユニフォームへの粘着ローラー掛けの徹底 盛り付け時の目視確認
3	事故	検食漬物へ毛髪が付着	ユニフォームへの粘着ローラー掛けの徹底 盛り付け時の目視確認
3	苦情	配食の献立表の貼り付けを間違い、主食量を少なく提供 今までの配膳ミスに対する苦情	盛り付け時の食札の色分け また主食量の食札を作成 献立表を色用紙に変更 盛り付け後の最終確認の徹底

事故 7件(内アクシデント 4件)、意見・苦情 2件

⑤通所介護

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
4月	インシデント	他利用者様を訓練に声掛けした際、K様より「訓練はまだね」と言われた為、訓練室の状態を確認する為、お待ち頂く様に声掛け行くと「ずっと待つと、気分の向いた時に行かんばしたくない。イライラする。」と興奮気味に話されるが本人より訓練に行くと言われた為、訓練室まで誘導行う。訓練に来られた際、本人様より「もう訓練はせん。ここに着たら誰も居られんで、私は椅子一つ有れば出来るとに。職員何人かに行くて言うたばってん、待って下さいしか言われんかった。30分も待つとった」と言われ、訓練途中までされるが「もうせん」と言われる。状況について、ご家族へ報告し了承される。	・接遇については、ミニ研修を通して再度、確実な対応ができるようにトレーニングを行う ・新体制でのサービス内容に、今まで通りにはできない部分が出てきていることについて、毎日、利用者様への理解とご協力をお願いしながら、継続的に改善していく
5月	インシデント	A様、職員のYより、K相談員より、今日はデイサービスと言われましたと連れて来られる。提供表の確認行くとデイサービス利用になっており、ご家族様より「迎えに来なかったの連れて来ました」と言われましたと報告あり。報告を受け、ご家族へ謝罪の連絡を行い了承される	・月末に提供表の受け取りが、できていない場合には、受け取り後に再度、利用状況表と提供表の照会と確認を行うようにする
	苦情	I様、本人からの電話で興奮気味に配食のお弁当がひっくり返した様にぐちゃぐちゃになっており、これで7回目であると話される。当日の配食担当のK職員の名前を挙げ、いつもこの人の時と話された。	・厨房にて、配食のおかずは汁けがないように盛り付ける ・配食担当者全員に、弁当の取り扱い方や、配食時間についての文書を回覧し周知を図る
6月	インシデント	嚥下体操中、ドンと音がした為、振り向くとトイレ前にM様が左膝を床にぶつけておられる。膝の確認するも外傷等なく、痛みが聞かれた。その後、看護職に報告。併せてYCMへも連絡する	・本人様にも歩かれる際には、できるだけ足を上げるような意識を持って頂くよう伝える ・靴の種類についても、できるだけ履きにくいものを使用して頂くよう伝え、転倒の予防につなげる

7月	インシデント	M様、訓練後ホールに戻る途中右足の躓きあり前方に転倒され左頬を打たれる。看護師に報告する。左頬の痛み訴えありベットに誘導しアイシングにて対応。バイタル測定、転倒後にてやや高め、頭痛、他の痛み、気分不良は聞かれなため様子みる。その後、頬の異変やバイタル等特変見られず。	・本人にも相談し、靴の購入を検討してもらうようにする(担当CMへも詳細について報告し、ご家族も踏まえ検討してもらうようにする) ・利用の際には、シルバーカー等の歩行器の使用も今後検討する
1月	インシデント	1月12日(木)11:30頃、令和5年1月からの原材料費の値上げに伴う、配食サービス利用料の変更通知の確認を行っていたところ、令和4年3月からの値上げ時から、食材費、弁当箱、スープカップ代の合計金額が誤って少なく計算されていることに気付く(60円少ない金額)。詳細について施設長へ報告。通知については配布済みであったため、再度訂正の通知を出すよう指示ある。	配食サービスを利用されている方へのお知らせ等の通知については、作成後に起案を提出し、間違いがないように確認を行う
	インシデント	入浴後、本人様が自分のロッカーに荷物直し、髪乾かす時に職員が右前腕に鍵状に1×1cm程度の表皮剥離あるを発見する。本人はロッカーに荷物直した際にできたと訴えあるが、目撃者いないため発生状況は不明。じんわり出血しているため、ラップキキュアにて保護する。 家族にも状況説明し、謝罪する。	・ロッカーの一番上の段に荷物置いていたため、4段の内の上から2、3段目に置くようにする。

事故6件(内アクシデント 0件)、意見・苦情 1 件

⑥訪問介護

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
2	苦情	T様のMケアマネより、職員の言葉使いについての改善を求められた。 「～して下さい」「～した方がいいですよ」と説教をされているとのこと。	否定せずに受け入れて話をする。強い態度をとらない。 馴れ馴れしくならないよう敬語で話をする。

事故 0 件(内アクシデント 0件)、意見・苦情 1 件

⑦グループホーム

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
5月	苦情(意見)	職員同士の口論について意見をいただく。	入居者様の前で口論しない事を指導した。
5月	事故(アクシデント)	トイレで転倒され、頭部打撲された。骨折なくCT検査でも異常はなかった。	便秘気味でトイレ時間が長かった。主治医と便秘改善のための内服薬の調整を行った。また、トイレの時間が長い時は、途中で様子を見に行くようにした。
6月	事故(インシデント)	夕食後の内服薬を重複して介助した。	内服薬についての申し送りは、理解できるまで説明を受けるようにした。
6月	苦情(意見)	面会時の職員の対応について。	職員の対応については指導していくこと、気になることがあれば今後も話していただく事をお願いし了承いただく。
8月	苦情(意見)	電話で面会時間を連絡いただいていたが、その時間に外出し不在だった。	電話を受ける時は、必ずメモをとり、申し送るよう周知した。
10月	事故(アクシデント)	浴室で転倒し右肘骨折される。	入浴はリフト浴へ変更し、浴槽の手すりの位置も変更し再度の転倒事故を予防できるようにした。
12月	事故(インシデント)	トイレ介助中に、車椅子のフットサポートに右足が当たり表皮剥離される。	モジュール型車椅子を使用されているが、フットサポートやアームサポートの利用ができていなかったため、状況に応じて外して使用し、入居者様に負担がかからないように介助するよう周知した。
1月	事故(インシデント)	トイレ介助中に右足首を表皮剥離される。	車椅子の移乗介助時は、フットサポートを外すか外側へ移動し足が当たらないようにする。
1月	事故(インシデント)	車椅子からソファへ移乗する時に転倒され、右手第一指付け根付近が内出血する。	両ひざ痛が強く、膝折れがある為、介助方法について統一し周知した。

2月	苦情(意見)	外出時に車のミラーに身体が当たったが、その謝罪が不十分で、電話でご意見をいただきました。	外出する機会が頻繁にある為、常に見られていることを意識した行動を取るよう周知した。
2月	苦情(意見)	入浴介助時の対応についてご意見をいただく。	ご本人の体調を看ながら無理のないように声掛け介助を行うようにした。また、言動についても適切な対応ができるよう指導した。
2月	苦情(意見)	入眠介助時間が入居者様の意に沿った形で提供できていなかったことについてご意見をいただきました。	ご本人の声を聞き、希望に添えるよう対応していき、職員の都合を優先しないように指導した。
3月	事故(インシデント)	昼食後の内服薬の服用忘れがあった。	薬剤チェック表のサインの確認と薬ケースに残薬が無いかを確認するよう周知した。
3月	苦情(意見)	言葉かけや対応の仕方についてご意見をいただく。	業務に追われていても、入居者様の対応は落ち着いて丁寧に行うよう全職員で申し合わせした。

事故 7件(内アクシデント 2件)、意見・苦情 7件

【2】介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム翔洋苑）

(1) 施設利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	3	3	2	1	1	1	0
	要介護3	5	4	5	5	6	7	7
	要介護4	10	10	11	12	11	12	12
	要介護5	13	13	12	12	11	11	11
	合 計	31	30	30	30	29	31	30
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	90	93	60	31	31	22	0
	要介護3	128	124	125	155	177	200	213
	要介護4	255	244	295	341	306	300	318
	要介護5	385	365	338	346	341	330	341
	合 計	858	826	818	873	855	852	872
ベッド利用率		95.3%	88.8%	90.9%	93.9%	91.9%	94.7%	93.8%
要介護度Ave.		4.09	4.07	4.11	4.15	4.12	4.10	4.15
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	1	1	1	1	1	16	
	要介護3	7	8	8	7	6	75	
	要介護4	12	11	14	14	17	146	
	要介護5	11	10	8	8	8	128	
	合 計	31	30	31	30	32	365	
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	6	30	31	28	31	453	
	要介護3	210	223	217	196	186	2,154	
	要介護4	322	309	355	392	475	3,912	
	要介護5	329	267	194	171	157	3,564	
	合 計	867	829	797	787	849	10,083	
ベッド利用率		96.3%	89.1%	85.7%	93.7%	91.3%	92.08%	
要介護度Ave.		4.12	3.98	3.89	3.90	3.89	4.05	

(2) 面会者・実習・ボランティア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
面会者（施設）	1	48	28	41	8	6	50
面会者（短期入所）	0	0	0	0	0	0	0
実習	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア	0	0	19	0	0	0	0
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
面会者（施設）	40	42	13	56	66	399	
面会者（短期入所）	3	0	0	0	0	3	
実習	0	0	0	0	0	0	
ボランティア	0	0	0	0	0	19	

(3) 短期入所生活介護（介護予防短期・障がい者短期含む）利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	障がい者短期	1	1	1	1	1	1	1
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	1	1	2	2	0	4	1
	要介護1	11	9	12	11	7	9	7
	要介護2	4	5	4	5	7	7	5
	要介護3	4	4	4	4	3	5	5
	要介護4	2	1	1	1	1	1	2
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	23	21	24	24	19	27	21
利用延人員	障がい者短期	5	5	6	5	5	5	3
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	3	3	6	7	0	12	3
	要介護1	100	89	108	87	70	74	63
	要介護2	22	50	40	67	73	53	60
	要介護3	31	40	40	38	24	44	33
	要介護4	35	19	15	7	6	3	6
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	196	206	215	211	178	191	168
送迎回数		109	93	97	103	78	76	81
ベッド利用率		65.3%	66.5%	71.7%	68.1%	57.4%	63.7%	54.2%
要介護度Ave.		1.92	1.87	1.71	1.72	1.75	1.70	1.82
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用実人員	障がい者短期	1	1	1	1	1	12	
	要支援1	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	1	1	1	0	0	14	
	要介護1	7	9	7	6	5	100	
	要介護2	6	4	3	7	6	63	
	要介護3	4	4	3	5	5	50	
	要介護4	1	1	2	2	1	16	
	要介護5	0	0	0	0	0	0	
	合 計	20	20	17	21	18	255	
利用延人員	障がい者短期	6	4	3	5	6	58	
	要支援1	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	2	3	3	0	0	42	
	要介護1	53	68	45	36	43	836	
	要介護2	48	35	20	50	38	556	
	要介護3	35	33	16	38	46	418	
	要介護4	13	12	12	12	7	147	
	要介護5	0	0	0	0	0	0	
	合 計	157	155	99	141	140	2,057	
送迎回数		84	79	36	69	65	970	
ベッド利用率		52.3%	50.0%	31.9%	50.4%	45.2%	56.4%	
要介護度Ave.		1.95	1.84	1.83	2.11	2.04	1.84	

【3】ユニット型地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム翔洋苑エイト棟）

(1) 施設利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	1	1	1	1	1	2	2
	要介護3	3	3	3	3	3	4	4
	要介護4	11	10	10	9	9	9	9
	要介護5	6	6	6	7	7	8	5
	合 計	21	20	20	20	20	23	20
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	30	31	30	31	31	38	62
	要介護3	73	93	90	93	93	94	124
	要介護4	285	310	290	272	268	250	253
	要介護5	150	181	168	186	186	144	124
	合 計	538	615	578	582	578	526	563
ベッド利用率		89.7%	99.2%	96.3%	93.9%	93.2%	87.7%	90.8%
要介護度Ave.		4.03	4.04	4.03	4.05	4.05	3.95	3.78
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	1	1	1	1	1	14	
	要介護3	4	4	3	4	4	42	
	要介護4	10	11	10	9	9	116	
	要介護5	5	5	6	7	6	74	
	合 計	20	21	20	21	20	246	
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	30	31	31	28	21	394	
	要介護3	120	111	93	89	124	1,197	
	要介護4	287	321	302	202	248	3,288	
	要介護5	120	124	169	183	169	1,904	
	合 計	557	587	595	502	562	6,783	
ベッド利用率		92.8%	94.7%	96.0%	89.6%	90.6%	92.92%	
要介護度Ave.		3.89	3.92	4.02	4.08	4.01	3.99	

(2) 面会者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
面会者	7	14	29	42	38	20	26
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
面会者	34	36	7	40	17	310	

【4】通所介護事業（翔洋苑デイサービスセンター）

（1）指定通所介護利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要支援1	6	6	6	6	6	6	6
	要支援2	18	17	18	16	16	18	17
	要介護1	21	22	23	23	22	23	20
	要介護2	13	10	10	11	10	9	8
	要介護3	9	8	7	6	6	5	4
	要介護4	1	2	2	2	3	2	3
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	68	65	66	64	63	63	58
利用延人員	要支援1	23	25	27	24	20	21	22
	要支援2	146	158	157	160	120	174	138
	要介護1	148	173	182	161	165	171	160
	要介護2	110	92	96	85	90	91	80
	要介護3	87	74	64	54	56	45	40
	要介護4	1	15	16	23	26	21	30
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	515	537	542	507	477	523	470
営業日数		21	22	22	21	23	22	21
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	比率
利用実人員	要支援1	6	6	5	6	5	70	10%
	要支援2	18	19	16	18	17	208	28%
	要介護1	19	18	16	17	21	245	33%
	要介護2	8	9	9	10	10	117	16%
	要介護3	4	4	4	5	5	67	9%
	要介護4	3	3	2	1	1	25	3%
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0%
	合 計	58	59	52	57	59	732	100%
利用延人員	要支援1	24	24	14	24	23	271	5%
	要支援2	148	143	102	123	132	1,701	29%
	要介護1	155	120	110	121	164	1,830	32%
	要介護2	90	93	80	93	109	1,109	19%
	要介護3	39	42	41	42	42	626	11%
	要介護4	33	30	11	11	13	230	4%
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0%
	合 計	489	452	358	414	483	5,767	100%
営業日数		22	22	21	20	23	260	

(2) 基準該当デイサービス・配食サービス利用者数

	障がいデイ実績		配 食 実 数				配食数合計
	利用者実人員	利用者延人員	昼食実人員	昼食延人員	夕食実人員	夕食延人員	
4月	2	9	6	102	11	193	295
5月	2	8	5	72	8	129	201
6月	2	9	4	68	6	105	173
7月	2	9	7	73	7	123	196
8月	2	9	4	70	7	134	204
9月	2	9	5	72	7	110	182
10月	2	5	5	102	6	114	216
11月	2	9	5	93	7	117	210
12月	2	9	6	83	8	121	204
1月	2	4	5	77	7	120	197
2月	2	8	4	76	7	110	186
3月	2	10	4	82	7	118	200
合 計	24	98	60	970	88	1,494	2,464
対前年比	100.0%	39.0%	146.3%	143.7%	69.3%	56.0%	

【5】上天草市地域支援事業（姫戸在宅介護支援センター）

(1) 活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	7	7	6	5	4	8	7	5	7	5	7	4	72
包括支援センターへ連絡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いきいき高齢者教室	2	3	3	1	0	1	3	3	3	0	0	6	25
実態把握調査	11	13	13	23	4	17	10	12	7	10	7	10	137
家族介護教室	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3
担当地域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2) 相談内訳

①相談方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電 話	1	6	1	1	3	3	3	3	7	4	4	4	40
来 所	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	3	0	10
訪 問	4	0	5	2	1	5	4	1	0	0	0	0	22
合 計	7	7	6	5	4	8	7	5	7	5	7	4	72

②時間帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
08:00～12:00	6	3	1	1	2	2	2	2	3	1	4	2	29
12:00～17:30	1	4	5	4	2	6	4	3	4	4	3	2	42
17:30～08:00	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	7	7	6	5	4	8	7	5	7	5	7	4	72

③相談者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本 人	2	1	0	1	2	2	2	2	2	2	1	2	19
家族（子・きょうだい・親戚）	5	1	0	2	1	4	5	1	4	2	2	2	29
知 人	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
民生委員（相談協力員）	0	1	4	0	0	1	0	1	0	0	1	0	8
ケアマネジャー	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
関係機関	0	2	2	1	1	0	0	1	1	1	2	0	11
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	7	6	5	4	8	7	5	7	5	7	4	72

④相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者虐待に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護・成年後見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護や介護保険等福祉	5	3	1	5	2	6	5	4	4	3	3	3	44
健康・病気など保健、医療	1	0	3	0	1	2	2	0	3	2	1	1	16
その他の相談	1	4	2	0	1	0	0	1	0	0	3	0	12
合 計	7	7	6	5	4	8	7	5	7	5	7	4	72

（３）上天草市在宅高齢者安心生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
設置相談	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5
申請代行	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	5
合 計	0	3	0	2	1	0	0	0	0	0	4	0	10

（４）こども食堂

社会福祉法人姫戸福祉会の事業～サポート役：子育て支援課/在介～
 学童利用児童に対するお弁当の配達を年度内で2回実施することができた。
 （冬休み…1月6日（金）10名）（春休み…3月27日（月）10名） 配達…宮崎・北垣
 学童開催場所：姫戸ひかり保育園 学童担当：鬼塚先生 こどものみならず保護者の反響が大きくあり、子育て世代の負担軽減にもつながっている印象を受けた。お礼のかわいいお手紙等も施設内掲示し広報にも掲載。交流スペースの活用につなげていく方向性は変わらずできることをコツコツ行動していく事が重要。行動したから見えてきた課題が様々あるが、次年度に入ったら子育て支援課との振り返りの機会を設けて今後の展開につなげていく。1月は流行期でお渡しするに終わったが、3月は少し落ち着いていたため中に入り様子を見たり子どもたちと直接お話することができた。地域に協力者を増やすことと、継続が大きな課題である。

(5) 家族介護教室開催状況

「～『歩く』を支える～歩行補助具の選び方」7月8日(金)14:00～15:00
翔洋苑ユニット棟1階屋内駐車場 参加者9名+見学2名(市の社協)
感染対策をとり避暑地スペースも(交流スペース/エアコン・首に巻く保冷材等準備)
用意しダストハルスレト天草ステーションの福祉用具専門相談員2名を迎え、杖や歩行器等に関するデモを含めた体験及び紹介を行った。説明と併せて、実際使ってみる事で福祉用具に関する知識技術の習得につながる内容となった。介護度別の福祉用具貸与品目一覧を作成し配布したが好評であった為後に同内容で開催の龍ヶ岳地区にも情報共有を行った。心配した外気温も風の通る場所で高温にはならず水分補給を促しながら1時間で終了することができた。季節や気候にもよるが屋外での開催もいいなと感じた。

「認知症を学ぶ」「ちょこっと脳トレ」12月7日(水)10:00～11:00
地域交流スペース 参加者6名
感染対策を取り、座学スタイルで対面を避け、常時換気をしながらの開催とした。今回は前頭側頭型認知症とレビー小体型認知症のDVDを視聴しながらPPにて説明を加え、いろんな型の認知症があることを知って頂くことができた。脳トレではだんだん集中してこられる様子や間違っ笑いだされる場面もあり空気が和んだ。初期相談にまず案内する熊本県内の認知症専門医療機関(認知症疾患医療センター)の一覧表を作成し配布、変化に気付いたらまずは専門医を受診するように案内を行った。DVD選定にも時間を費やしたが「とってもわかりやすくてよかった」という言葉を頂き、知識習得につながったかなと感じた。進行もスムーズで時間通りに開始終了できた。

「上天草市在宅高齢者安心生活支援事業」「ポッチャ紹介」
3月13日(月)10:00～11:40 地域交流スペース 参加者11名 講師2名
高齢者ふれあい課(キューネット担当)/糺本氏・上天草市地域おこし協力隊/洲上氏…を迎え、座学とアクティビティを行った。民生委員の交代後、独居高齢者にQネット機器設置を積極的に勧める動きがみられるようになったため、周知を図る意図も含み内容選定。要綱が変わり、基本的に設置は無料だが委託費や維持費等、自治体で発生する費用があることを知って頂き必要な方に設置ができる様に、そして財政についても関心を持っていただく事が出来た。後半はポッチャ紹介し最初は難しいかなと感じていた参加者もだんだん熱が入ってきて表情も明るく楽しく過ごしておられた。

【6】生活支援コーディネーター事業（姫戸在宅介護支援センター）

（１）活動状況

1 「みつば会」（姫戸町協議体）開催状況 3回開催（5/19・10/13・12/14）

第1回 R4.5.19（木）19：00～20：00 老人福祉センター：22名+スタッフ5名

- ①「協議体」（みつば会）について（振り返り）
- ②「ごみ出し」について（振り返り）
- ③ グループワーク：助け合い・支え合い活動につながる課題・取組
- ④ 代表者による進行について

今年度もコロナ禍の状況は変わらず、状況を見極めながら、打ち合わせ・代表者会議を経て、年度3回の予定で開催した。今年度はテーマを「ごみ出し」という身近な生活支援に向けた取り組みとした。まずは以前取り組んだ内容を振り返り、現在の状況把握から進めた。各地区の課題・取組状況を4グループに分かれ、思いのままを話し合ってもらい、ファシリテーターにて記録。整理して次回につなげた。今年度も代表者により会議を図って「みつば会」を進めていく方向で承認を得た。

第2回 R4.7.27（水）19：00～20：00 老人福祉センター

→ R4.10.13（木）19：00～20：00 老人福祉センター：21名+スタッフ5名

- ①「ごみ出し」課題解決について説明（橋本）
- ②「資源ごみ」について市へ情報提供（甲崎）
- ③地域座談会「ごみ問題」対策事例について紹介（坂田）
- ④グループワーク：
- ⑤発表

コロナの状況を見極めながら、第2回に向けて進めていたが、直前になってコロナ感染拡大の危機に見舞われ延期とした。地域の皆様も状況の変動にご理解下さり、延期に協力的で助かった。9月頃より徐々に下火になりつつあったが、地域行事とも重なり、皆さんの御意見を仰ぎながら第2回に漕ぎ着けた。現状としての情報提供には身近な情報であり、関心も高くグループワークでの情報交換にも生かせたと思う。それぞれの地区の発表をしてもらったが各地区の取り組みへの方向が分かりよかった。

第3回 R4.12.14（水）19：00～20：00 老人福祉センター：22名+スタッフ6名

- ①各地区「ごみ出し」取組状況について発表
- ②「みつば会」の今後の方針について、提案・説明
- ③意見交換

「ごみ出し」への取組は現状では困っていない。又、地域内でサポートできており問題はない。というのが大方の意見であり、これ以上の話し合いは必要ないとの見解で一致した。そこで今後の「みつば会」開催に向けて姫戸は支え合いの土壌が出来ている地域だからこそ、ボランティアの組織化をイメージしてはどうかと提案があった。しかし、「みつば会」がボランティアを担うのかという方向で認識されたため、現状では地域毎に対策が出来ており、あえて取り組む必要はないとの意見が大半であった。また新たに代表者会議で内容を精査し今後につなげるのかどうか話し合うことで一致した。

2 「みつば会」に伴う会議

① 「代表者会議」

実施回数：5回（4/7・5/22・6/22・11/8・2/9）

開催時間：19：00～20：00

参加者：代表者9名・甲崎・橋本 11名

場所：老人福祉センター

②「打ち合わせ会」

実施回数：7回（4/25・5/11・6/17・7/20・10/6・12/9・12/14）

参加者：2～4名（甲崎・橋本・帆足・坂田）

場所：老人福祉センター

③「反省会」

実施回数：3回（5/23・10/20・12/15）

参加者：4～5名（甲崎・橋本・帆足・坂田・淵上）

場所：老人福祉センター

3「コーディネーターだより」発行

4年度6回発行：No.9～No.14 奇数月（5月・7月・9月・11月・1月・3月）

令和4年度もコロナ禍の状態が続いたが年を開け徐々に減少傾向、年度末にはマスクの着用が個人の判断に委ねられるまでになった。それに伴い人々の暮らしや地域活動も活動的になってきた。だが地域の活動は様々でコロナ禍での中断や見送りがなかなか改善しない地域、少しずつできることから取組もうと活動に差が表れてきたように感じている。できる限り掴んだ情報を広く伝えられれば活動意欲や取り組みのきっかけにつながることを期待して「コーディネーターだより」を継続発行できた。取り組みについて12月天草市役所にて開催された「天草圏域生活支援コーディネーター等活動情報交換」において「地域の活動を伝えるコーディネーターだより」として発表に至った。継続しての取組を高く評価していただいたことに感謝している。

内容：①「みつば会」情報・お知らせ

②地域行事・地域活動

③居場所作り

④紹介

⑤健康寿命・介護予防

⑥伝承・中学生の取組

4「居場所作り」

①西川内地区「ふれあい広場」：公民館横の駐車場を住民主体によりグランドゴルフ場整備と市の補助金を活用し休憩所ができた。週2（火・土）グランドゴルフ開催。地域内にある事で歩行やシルバーカー・セニアカー使用し集まる事ができている。96歳を筆頭に地域住民の楽しみ、交流の場が実現。地域の活性化につながっている。

②各地区の公民館活動時に遊具活用の取組効果を紹介。「輪投げ」「ポッチャ」（地域おこし浏上協力隊へ指導依頼）「グランドゴルフ」説明・指導と共に他の地域へ情報提供する事で活動の良さが浸透。各公民館に合った遊具の購入が進み、自主活動が出来やすくなっている。

【7】居宅介護支援事業（姫戸町在宅介護支援センター翔洋苑）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	23	24	25	27	24	25	24	23	21	19	20	22	277
要介護2	13	13	13	13	13	12	13	12	12	13	14	14	155
要介護3	6	7	6	4	4	3	3	3	3	3	4	4	50
要介護4	1	1	2	3	3	2	3	3	3	2	2	2	27
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護給付（計）	43	45	46	47	44	42	43	41	39	37	40	42	509
合計	43	45	46	47	44	42	43	41	39	37	40	42	509

【8】訪問介護事業（姫戸町ホームヘルプステーション翔洋苑）

（1）訪問介護

① 利用者実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	11	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	13	131
要介護2	5	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	42
要介護3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	16	15	14	14	14	14	15	14	14	14	14	16	174

② 利用状況（訪問回数）

身体介護		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	30分未満	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	30分以上1時間未満	2	0	3	2	4	0	9	11	11	8	8	8	66
	1時間以上1時間半未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間半以上2時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	15	3	3	2	4	0	9	11	11	8	8	8	82
身体生活		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	30分以上1時間未満	27	17	14	16	21	16	16	15	9	2	0	0	153
	1時間以上1時間半未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	4	4	25
	1時間半以上2時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	27	17	14	16	21	16	16	15	9	19	4	4	178
生活援助		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	30分以上1時間未満	78	69	72	68	68	70	77	71	69	52	66	81	841
	1時間以上1時間半未満	13	12	13	13	14	14	15	21	25	12	14	19	185
	合 計	91	81	85	81	82	84	92	92	94	64	80	100	1026

（2）介護予防訪問介護

① 利用者実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	6	5	6	5	5	5	5	6	6	7	6	6	68
要支援2	6	6	7	7	10	9	8	9	9	8	7	6	92
合 計	12	11	13	12	15	14	13	15	15	15	13	12	160

② 利用状況（訪問回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30分以上1時間半未満	51	46	57	57	72	68	65	75	74	68	65	69	767
2時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 障害者自立支援居宅介護

① 利用者実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人員数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

② 利用状況 (訪問回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30分以上1時間未満	8	9	8	9	9	9	5	8	8	8	8	8	97

【9】認知症対応型共同生活介護 (グループホームひめど)

(1) 施設利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均年齢(歳)	93.1	92.9	92.6	92.8	92.8	93	93	93.1	93.1	92.6	92.8	91.6	
平均要介護度	1.8	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.8	2	2.5	2.3	-
利用者実人員	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	要介護1	4	4	5	5	5	5	5	4	4	3	4	-
	要介護2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	-
	要介護3	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	-
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	-
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-
	合計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	9	
利用者延べ人数	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	120	124	128	155	155	150	149	135	119	97	84	1,537
	要介護2	90	101	88	93	93	60	62	60	62	28	31	830
	要介護3	60	36	30	31	31	60	62	59	50	62	56	599
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	9	13	28	31	81
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	31	59
	延べ人数	270	261	246	279	279	270	273	254	240	234	276	3,106
	入居率(%)	100.0%	93.5%	91.1%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%	94.1%	86.0%	83.9%	88.9%	94.5%

(2) 面会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者	11	27	10	10	28	10	18	17	17	9	9	12	178
ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ. 部門別事業報告

【1】法人総務部門

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 新型コロナウイルス感染症 BCP の見直しや災害発生時の BCP の作成

- 感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修 4/25・5/25・7/25・2/1、感染症及び災害に係る業務継続計画に関する訓練 4/25・6/15・7/25・11/2、災害対策に係る訓練 6/15・9/26・11/2・3/24 実施できた。
- 虐待防止対策のための指針、原案を作成済み（2月）。適用は R5 年度。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

- 返戻・保留一覧表で全事業所の返戻・保留を把握した。介護報酬を適正に受給できている。
- 補助金について、物価高騰対策支援金 2 件（上天草市エネルギー・食品価格等物価高騰対策支援金（介護事業分）981,000 円、熊本県高齢者施設等物価高騰対策支援金 1,570,000 円）交付確定。新型コロナ関連 2 件（熊本県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業費補助金：クラスター発生等 1,265,000 円、同補助金：応援派遣 7 月 ユニット型特養職員 1 名：97,000 円、8 月デイ職員 1 名 107,000 円）申請。
- 両立支援等助成金（新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応コース 6 名分：232,813 円+2 名分 61,519 円）交付確定。同補助金 5 名分 138,251 円、熊本労働局へ申請。
- 65 歳超雇用推進助成金（65 歳超継続雇用促進コース）3 名分 500,000 円、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構へ申請。
- R4 年度は食材や光熱費等物価高騰に関する大規模な補助金が企画された。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 月次決算について、適正な執行管理ができた。
- 役員報酬等について定款に明記、公表し、財務規律の強化、適正かつ公正な支出管理を行った。
- 社会福祉充実残額は計上されない見込み（R5.5 月末確定）。

(6) 社会福祉法人としての地域における公益的な取組み（社会福祉法人の利用者負担軽減・生活困窮者レスキュー事業）の継続、及び新規事業へ取組む。また、地域貢献活動にも積極的に取組む。

- 社会福祉法人等による生計困難者に対する介護サービスに係る利用者負担軽減制度を継続活用できた（広域型特養 1 名）。
- 生計困難者レスキュー事業について、相談、支援 3 件（8 月大矢野町、9 月松島町、11 月松島町）実施。生活保護申請から受給までの間の支援 1 件、次の就労までのつなぎの支援 1 件、養護老人ホーム入所までのつなぎの支

援 1 件だった。

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため翔洋苑ユニット棟地域交流スペースでの開催なし。毎（火）オレンジカフェ姫浦は姫戸老人福祉センターで行われた。
- 施設契約の配食サービスについて、昼 414 円・夜 414 円→R4.4：昼 419 円・夜 419 円へ値上げ、R5.1：昼 481 円・夜 481 円へ再値上げしたが、税込み、食材原価+容器代のみとすることで利用者負担軽減を継続した。
- 在介に協力し、冬休み期間 1 回（1/6）、春休み期間 2 回（3/27・4/4）のこども食堂（試行）を実施。学童保育を行っている姫戸ひかり保育園へ弁当を届けるスタイルとした。

- （7）計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表（様式 2）、車両設備一覧表（様式 3）、設備等導入計画・修繕計画（様式 4）、設備・備品等廃棄計画書（様式 5）を作成し、中長期計画策定に取り組む。

- 廃棄書類・廃棄物等について管理は継続できている。
- 固定資産物品台帳で備品等の増減を把握し、中長期的な設備・備品等の管理につなげている。

- （8）個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 文書はできるだけまとめて発送し、郵便料金削減や事務負担の軽減を図った。有職で日中電話連絡をとりにくいご家族や希望されるご家族には SNS（メール、LINE 等）を活用している。定着してきた。

- （9）経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

- 6/8 監事監査、第三者委員会、6/11 第 1 回理事会、6/27 第 1 回評議員会、8/11 第 2 回理事会（書面議決）、10/24 第 3 回理事会（書面発議）、1/18 第 4 回理事会（書面発議）、3/29 第 5 回理事会を実施した。
- ホームページに事業計画、事業報告、決算書、監事監査報告書、定款、役員名簿、役員等報酬規程を公表することができた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

- （1）地域との連携強化を一層進める。

- キャラバンメイトとして、認知症サポーター養成講座：姫戸小学校 4 年生（7/1）、松葉祇園会：松島町（11/10）を開催できた。上天草高校へは介護職員初任者研修講師として 2/6 職員 1 名派遣。
- 広報誌『翔く』を姫戸小・中学校、上天草市姫戸支所、郵便局（姫戸・二間戸）等へ配布し、情報発信することができた。
- 上天草市社協 ボランティア担当者とのボランティア連携会議（月 1 回）やイベント型ボランティアについて、新型コロナウイルス感染症拡大により見合わせた。
- 2 か月に 1 回開催のユニット棟運営推進会議は新型コロナウイルス感染症予防対策をとり、第 2 回（7 月）のみ書面審議とした。全 6 回中 5 回は対

面開催とし、家族、区長、民生委員等地域の方々から様々な意見をいただくことができた。

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化。

- 5/19、7/27、10/13、12/14 みつば会（姫戸町協議体）、12/7、3/13 家族介護教室に協力できた。
- 熊本県高齢者支援課より新型コロナウイルス感染症に係る高齢者施設等への応援派遣要請を受け、ユニット型特養職員1名をクラスター発生施設（レッドゾーン）へ派遣（7/11～15）、デイ職員1名をクラスター発生施設（レッド・イエローゾーン）へ派遣（8/3～6）。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）
～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(2) 4つの自立支援への取組みをととして利用者様の自立支援・自己実現を図る

- 広域型特養9名死去中7名(77%)、ユニット型特養7名死去中4名(57%)を看取り介護でお見送りすることができた。新型コロナウイルス感染症拡大により面会に制限を設けたが、できるだけ居室内で過ごす時間をとった。家族からご理解を得て、概ね感謝のことばや寄付をいただいた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 入居者様の生活活動としての仏様へのお参りは、接触による感染リスク軽減のため、本館2階ホールやユニット棟で実施した。
- ボランティア受け入れは控えた。苑庭、苑周辺草取りボランティア1回ご協力いただくことができた。
- 職員が花を生け、玄関等を美しく飾ることができた。

(4) ISO-9001：2015に基づくサービスの品質管理。

- 担当者を定めて個人番号を取り扱う等、管理できた。
- 主任者会議、サービス向上会議ではノート型パソコン使用、Zoom 会議が定着。ペーパーレスにつながっている。
- 12月22日コンサルにて、内部監査育成セミナー実施。北垣、野村
- 品質管理委員会や主任者会議等において、検討を行いながら改善につながられている。
- メンテナンスについては、5月、12月に実施。
- 内部監査については、2023の2月に実施済み。
- 利用者満足度調査については、10月に実施し、結果についても周知済み。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上

- 広域型特養：4/19 ①加算、LIFE の仕組み（概要）、②排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画、5/18 ①栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング、②科学的介護推進に関する評価、6/20 ①褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画 の勉強会をフロア会議の中で行うことができた。

- ユニット型特養 5/10 ①加算、LIFE の仕組み（概要）、②栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング、③科学的介護推進に関する評価、6/16 ①褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画、7/18 ①排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画 の勉強会を同じくフロア会議で実施。
- 勉強会では実際にパソコンを使って記録管理システム（CARE KARTE）帳票で評価を体験してもらうことで、LIFE とはどのようなものか、評価をするためのものの見方の標準化等について少しずつ理解してもらっている。6・7月以降は、チーム会議等で介護職員等が主に評価月に合わせた評価を行い、サービス向上会議で多職種による見直しができるようになってきた。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

（1）介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- Sowel CLUE 会員交流事業は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため申込しなかった。映画観賞チケット斡旋は 10 名希望あり、6 名当選。
- 50 名が「生活習慣病予防健診助成事業」を活用し、196,200 円の Sowel 助成金を受給できた。
- 永年勤続（25・20・15・5 年）記念品 8 名、資格取得記念品 1 名（社会福祉主事）、入学祝い品 1 名、出産祝い品 1 名、取得することができた。
- 子の看護休暇や介護休暇が必要な職員に情報を伝え、個別に申請・届出等支援できた。

（3）対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 広域型特養、ユニット型特養で朝のミーティングが定着した。
- 部署間連絡に記録管理システム（CARE KARTE）やメールが活用できた。

（4）将来の介護人材育成・確保に向けて。

- 6/8～7/12 上天草高校福祉科 3 年「形態別介護実習」2 名（ユニット型特養）、7/22～27 上天草高校福祉科 3 年「形態別介護実習」2 名（ユニット型特養）を受け入れた。
- 広域型特養にベトナムから技能実習生（2 号）受け入れ（R3.2.25～）。介護職員として勤務中。広域型特養生活相談員が生活指導員、広域型特養リーダー等が技能実習指導員を務め、教育・実習を行っている。

6. コンプライアンスの徹底

（1）関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式 7：外部研修・出張等年間計画）。

- 各種外部研修に参加して情報を得たり、専門的知識を深めたりすることができた。Web 研修を活用した。

（2）関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式 6：職場内研修・会議計画）。

- 運営基準等で定められた内部研修等が実施できた。実施状況を毎月主任者会議で確認している。
- ストレスチェックは 7/5～実施。労働者数 77 名中 77 名受検し、高ストレス者 4 名 (5.2%)。産業医面接の希望はなかったが、一般健康相談として産業医の協力・サポートあり。適切な対応ができた。

【2-1】施設サービス部門（介護支援専門員・生活相談員）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 新型コロナウイルス感染症 BCP の見直しや災害発生時の BCP の作成

- 感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修 4/25・5/25・7/25・2/1、感染症及び災害に係る業務継続計画に関する訓練 4/25・6/15・7/25・11/2、災害対策に係る訓練 6/15・9/26・11/2・3/24 実施、参加できた。
- 虐待防止対策のための指針、原案を作成済み (2 月)。適用は R5 年度。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

- 各事業別に加算算定要件や利用実績等のチェックを行い、介護報酬の適正受給に努めた。

(3) 各種加算の継続取得（様式 1）と計画的取得（加算取得計画（様式 1-2））に努める。

- LIFE（科学的情報システム）へのデータ報告、情報の収集（全国版）は R3 年 5 月分から順次行うことができた。分析、フィードバックは研修等で症状収集している。LIFE 関連加算は広域型特養、ユニット型特養ともに、①栄養マネジメント強化加算、②褥瘡マネジメント加算、③排せつ支援加算、④科学的介護推進体制加算、⑤ADL 維持等加算。①②③④は運用、加算算定。⑤は運用中。

(4) 入所率・利用率の低下防止に努める。

- 入所検討委員会は年 4 回実施。特例入所者 2 名。上天草市への意見照会と第 91 回入所検討委員会 (6/28) は外部委員参加し対面開催。他は書面審議とした。第 93 回入所検討委員会 (11/16) で特例入所 1 名（要介護 2 新規）、第 94 回② (3/31) で特例入所 1 名（要介護 2 継続）入所の適否を判定した。年間申込者 32 名。
- ユニット型特養と広域型特養間の転居 2 名。経管栄養（胃ろう・鼻腔）で栄養を摂取する方は年度末で 3 名 (6%)。
- 広域型特養入退所 12 名、平均空床期間 15.0 日。ユニット型特養入退居 9 名、平均空床期間 12.6 日。入退所者中 1 名は広域型特養からユニット型特養へ転居、1 名はユニット型特養から広域型特養へ転所。年間で 42%の入居者様が入れ代わり。新型コロナウイルス感染症の本格的な地域での流行で、コロナ禍 3 年のうち最も入所調整に時間がかかるケースが多かった。
- 広域型特養入退院 24 名 (R3 年度から継続入院、長期入院による退所、病

院で死去した方等含む)、平均空床期間 28.2 日。入院退所者 2 名。ユニット型特養入退院 10 名(入院中に死去した方、R4 年度へ継続入院等含む)、平均空床期間 38.2 日。入所率 広域型特養 92.1%(R3 年度 95.4%から 3.3%低下)、ユニット型特養 92.9%(R3 年度 94.1%から 1.2%低下)。平均要介護度 広域型特養 4.06(4 月)→4.00(3 月)、ユニット型特養:4.05(4 月)→4.00(3 月)。広域型特養は 12 名退所中 7 名、ユニット型特養は 9 名退居中 4 名、看取り介護。

- 入院の原因疾患は、気管支肺炎が 5 件で最多。他にも脳血管障害・脳卒中、誤嚥性肺炎、急性肺炎、心不全、骨折等、症状や疾患は様々で、退院時についても新型コロナウイルス感染症の本格的な地域での流行の影響は大きかった。

(6) 社会福祉法人としての地域における公益的な取組み(社会福祉法人の利用者負担軽減・生活困窮者レスキュー事業)の継続、及び新規事業へ取組む。また、地域貢献活動にも積極的に取り組む。

- 社会福祉法人等による生計困難者に対する介護サービスに係る利用者負担軽減制度を継続活用できた(広域型特養 1 名)。
- 生計困難者レスキュー事業について、相談、支援 3 件(8 月大矢野町、9 月松島町、11 月松島町)実施。生活保護申請から受給までの間の支援 1 件、次の就労までのつなぎの支援 1 件、養護老人ホーム入所までのつなぎの支援 1 件だった。

(7) 計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表(様式 2)、車両設備一覧表(様式 3)、設備等導入計画・修繕計画(様式 4)、設備・備品等廃棄計画書(様式 5)を作成し、中長期計画策定に取り組む。

- 自動車保険等活用できた。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 主任者会議、サービス向上会議ではノート型パソコンを使用した Web 会議が定着。ペーパーレスにつながっている。DocuWorksDesk 等ネットワークシステムも活用できている。外国や遠方在住の家族の他、有職で日中電話連絡をとりにくいご家族や希望されるご家族には SNS(メール、LINE 等)を活用し、迅速に情報共有できている。

(9) 経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

- 6/8 苦情処理状況等について第三者委員への報告を実施した。
- ご利用者の骨折、入院等のケースごとに損害賠償保険会社へ該当かどうか確認し、損害賠償保険を活用することができた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

- 広域型特養「微笑」、ユニット型特養「喫茶居」を毎月発行できた。

- ボランティア受け入れは控えた。苑庭、苑周辺草取りボランティア 1 回（6／19）19 名ご協力いただくことができた。
- 6／8～7／12 上天草高校福祉科 3 年「形態別介護実習」2 名（ユニット型特養）、7／22～27 上天草高校福祉科 3 年「形態別介護実習」2 名（デイ）を受け入れた。
- 在介に協力し、冬休み期間 1 回（1／6）、春休み期間 2 回（3／27・4／4）のこども食堂（試行）を実施。学童保育を行っている姫戸ひかり保育園へ弁当を届けるスタイルとした。
- 2 ヶ月に 1 回開催のユニット棟運営推進会議は新型コロナウイルス感染症予防対策をとり、第 2 回（7 月）のみ書面審議とした。全 6 回中 5 回は対面開催とし、家族、区長、民生委員等地域の方々から様々な意見をいただくことができた。

（2）家族との連携強化を図る。

- 家族会は見合わせたが、敬老会は家族を招かず施設内でお祝いした。
- 新型コロナウイルス感染症の地域での流行の程度に応じて、室内での面会、ガラス越し面会やテレビ電話での面会を行った。

（3）上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化。

- 新型コロナウイルス感染症感染予防対策として翔洋苑ユニット棟地域交流スペースでの開催なし。毎（火）オレンジカフェ姫浦は姫戸老人福祉センターで行われた。
- 認知症サポーター養成講座：姫戸小学校 4 年生（7／1）、松葉祇園会：松島町（11／10）等を開催できた。上天草高校へは介護職員初任者研修講師として 2／6 職員 1 名派遣。

（4）医療機関との連携強化を図る。

- 新型コロナウイルス感染症の発生等で医療機関や各事業所等との連携が不可欠になっている。
- 上天草総合病院地域連携会議へ参加し、近隣医療機関や施設等との情報交換ができ、感染症等について情報共有できた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）
～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

（1）5つのゼロの実践をととして利用者様の自立支援・自己実現を図る

- チーム（ユニット）ごとにサービス向上会議で毎月評価、見直し実施。排泄支援加算（Ⅱ）算定者：広域型特養 4 名、13%、ユニット型特養 2 名、10%。
- センサー設置の必要性について、チーム会議、サービス向上会議、主任者会議等で毎月定期的に評価、見直しを行った。
- 骨折事故は 7 件発生。広域型特養（6 月：腰椎圧迫骨折、7 月：左頬骨骨折、8 月：腰椎圧迫骨折、9 月：腰椎圧迫骨折、10 月：右大腿骨骨折、12 月：胸椎・腰椎圧迫骨折、2 月：右上腕骨顆上骨折）。ユニット型特養 2 件

(11月：腰椎圧迫骨折、3月：左橈骨骨折・左大腿骨頸部骨折)。

- 経管栄養摂取者（胃ろう・鼻腔）について、広域型特養3名、ユニット型特養0名。摂食・嚥下障がいをもつ方や認知機能の低下が著しい方への経口維持支援について、広域型特養は経口維持加算（Ⅰ）4月：6名→3月：2名、（Ⅱ）5名→2名。ユニット型特養（Ⅰ）1名→1名、（Ⅱ）1名→1名。
- 褥瘡対策委員会等でハイリスク者を把握し対策した。発赤や皮膚剥離等発生者を早期発見し処置を行うよう心がけたが、1名は褥瘡形成で長期入院。

(2) 4つの自立支援への取組みをととして利用者様の自己実現を図る

- 身体拘束廃止に関する研修（8/25、12/26）等の内部研修で学び、認知症を持つ方の尊厳の保持や認知症ケアの心構え等について習得に努めた。
- 外部の理学療法士による指導・機能訓練を月1回受け（広域型特養・ユニット型特養）、生活機能の維持・向上を図ることができた。
- 広域型特養7名、ユニット型特養4名、看取り介護でお見送りすることができた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 新型コロナウイルス感染症の地域での流行の程度に応じて、室内での面会、ガラス越し面会やテレビ電話での面会を行った。

(4) ISO-9001：2015に基づくサービスの品質管理。

- ISO サーベイランス審査（ANSA-7：遠隔審査）11/15～16 受審。コンサルタント支援は5/30、12/22に受け、マネジメントシステムに関することを学ぶことができた。内部監査 2～3月、利用者満足度調査 9月実施できた。結果公表（玄関掲示、業者等へ送付）済み（11月）。
- 事故発生防止委員会、サービス向上会議、主任者会議等で、ヒヤリはっと報告や不適合サービス報告について多職種で協議することができた。
- バックアップシステム（share）やメール、Zoom を活用した。個人情報の取り扱い、管理に留意している。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- 広域型特養：4/19 ①加算、LIFE の仕組み（概要）、②排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画、5/18 ①栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング、②科学的介護推進に関する評価、6/20 ①褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画 の勉強会をフロア会議の中で行うことができた。
- ユニット型特養 5/10 ①加算、LIFE の仕組み（概要）、②栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング、③科学的介護推進に関する評価、6/16 ①褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画、7/18 ①排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画 の勉強会を同じくフロア会議で実施。
- 勉強会では実際にパソコンを使って記録管理システム（CARE KARTE）帳票で評価を体験してもらうことで、LIFE とはどのようなものか、評価

をするためのものの見方の標準化等について少しずつ理解してもらっている。6・7月以降は、チーム会議等で介護職員等が主に評価月に合わせた評価を行い、サービス向上会議で多職種による見直しができるようになってきた。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

（1）介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- ユニット型特養 1 名、デイ 1 名の認知症介護実践者研修受講を支援することができた。

（2）職場・労働環境の整備（やりがいと働きがいのある職場として）。

- 音声入力システム（CareWiz ハナスト）を活用中。

（3）対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 朝の全体ミーティングの連絡等に記録管理システム（CARE KARTE）が活用できた。

6. コンプライアンスの徹底

（1）関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式 7：外部研修・出張等年間計画）。

- 各種 Web 研修、外部研修に参加し、情報を得たり、専門的知識を深めたりするように努めた。

（2）関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式 6：職場内研修・会議計画）。

- 研修会：令和 4 年度介護サービス事業者等集団指導資料を用いて「認知症・権利擁護関係」研修（8/25）実施。他にも、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修（4/25・5/25・7/25・2/1）、事故発生防止のための従業者に対する研修（6/24・11/25）等関連法規に定められた内部研修を実施できた。

【2-2】施設サービス部門（従来型特養介護）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

（4）入所率・利用率の低下防止に努める。

- 多職種の職員の意見を頂き、専門医への受診等を行い、科学的根拠に基づくケアに努めた。
- 利用者様の日常のバイタル測定・皮膚観察等を行いながら特変等があった時は看護へ報告し早期対応を行った。
- 今年度も新型コロナウイルスの感染対策を徹底した事で、インフルエンザ感染者がなく、風邪に感染された利用者様も少なかったが、今年度は、コロナ感染に入居者 3 名、職員 2 名がコロナ感染者になる。

- 持病による入院と転倒による骨折で入院された利用者様が5件、コロナ感染での入院が2名あり、入所率が92.1%まで低下してしまった。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 予算書に基づき、支出管理を実施した。

(7) 計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表（様式2）、車両設備一覧表（様式3）、設備等導入計画・修繕計画（様式4）、設備・備品等廃棄計画書（様式5）を作成し、中長期計画策定に取り組む。

- 計画に沿って実施できた。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 計画に沿って実施できた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

- 新型コロナウイルス感染症に伴い、地域の行事等も開催がなく、計画に沿って実施できないことが多かった。
- 新型コロナウイルス感染症に伴い、上天草市社協との連携会議やボラティアの受け入れ、小・中学校行事等の交流の受け入れは実施できなかった。
- 小・中・高校生の見学・体験実習等を受け入れ人材育成の取り組みについてもできなかった。

(2) 家族との連携強化を図る。

- 新型コロナウイルス感染症に伴い、計画説明会、事業報告等は書面にて行ったが、家族との清掃活動等の開催は計画に沿って実施できなかった。
- 夏祭りは新型コロナウイルス感染症に伴い実施出来なかったが、秋にお楽しみ食事会を開催し計画に沿って実施できた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応） ～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 5つのゼロの実践をととして利用者様の自立支援・自己実現を図る

- 定期的にチーム会議を実施し、現状と課題の検討・評価を行い、サービス向上会議にて多職種の評価と意見を頂き、見直しを行いながら計画に沿って実施できた。
- 身体拘束ゼロは、計画に沿って実施できた。スピーチロックについては、フロア会議にて身体拘束の議題の中で話し合っている。センサーについても必要性のある方については検討している。
- 新型コロナ感染者1名を個室で対応していたが、居室から出られる事で他の入居者様への感染が危険だった為、身体拘束委員会を緊急に開催しご家族へ了解を得て、居室をバンドで施錠し身体拘束を行う事になった。

- 骨折ゼロについて、フロア会議、各チームでハイリスク者のスクリーニングを行い、ヒヤリ・はっと報告の啓発・職員間での情報共有を図り、骨折ゼロに取り組んでいたが、転倒骨折による事故3件、介助による骨折事故1件、身体的な骨折（圧迫骨折）5件、計9件の骨折が発生してしまった。フロア会議、チーム会議でリスクの検討を行い骨折ゼロに取り組んでいきたい。
- 胃ろうゼロについては、計画に沿って実施できた。（令和5年3月31日現在胃ろう造設者 2名、経鼻1名）
- 褥瘡ゼロについて、フロア会議・チーム会議にて、ハイリスク者のスクリーニングと介護方法について、統一したケアを行い褥瘡発生予防に繋がっている。委員会での検討や部署内研修等に参加し、入浴や排泄介助時の皮膚観察を実施して悪化防止に努めていたが入居者1名が褥瘡になり入院された。褥瘡対策に関するケアについては、計画・評価を行い褥瘡予防に繋がっている。

（2）4つの自立支援への取り組みをととして利用者様の自己実現を図る

- チーム会議やフロア会議・職場内研修等で認知症ケアについての振り返り、利用者様の意向を伺い意向に沿うケアを実施しました。外部研修については、今年度は新型コロナウイルスに伴い、外部研修が出来なかった。
- 今年度は新型コロナウイルスに伴い、毎月の外部PTによる指導を受けることが出来なかったが、機能の維持向上に繋げる事ができ、サービス向上会議にて評価を実施した。
- 歯科医師の健診を年1回行い、必要に応じ往診・受診を実施して義歯の作成を検討等、歯科衛生士による口腔ケアの実施・指導により誤嚥性肺炎の軽減、口腔機能維持、経口摂取への移行に繋げる事ができた。
- 看取りケアについては、外部研修は新型コロナウイルスに伴い出来なかったが、職場内研修会へ参加することができた。利用者様の体調等の報告に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を行いご家族の面会等で連携を取り計画に沿って実施できた。

（3）喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- ①計画に沿って実施できた。スイーツの日には、利用者様へ調理の手伝いをして頂く事ができ、年間計画に沿って実施できた。
- ②新型コロナウイルスに伴い、計画に沿って実施できなかったが苑外散歩は実施できた。
- ③④⑤計画に沿って実施できた。

（4）ISO-9001：2015に基づくサービスの品質管理。

- ①②④計画に沿って実施できた。
- ③フロア会議にて、ヒヤリ・はっと報告の啓発を行い、ヒヤリ・はっとの件数の増加を図りながら情報共有を行った。情報を得て職員がヒヤリ・はっとの重要性を認識して、不適合サービス（インシデント）の減少に繋げる事ができたが、不適合サービス（アクシデント）骨折や転落による骨粗

鬆症、服薬での誤薬で15件発生してしまった。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- ☐ ①③計画に沿って実施できた。
- ☐ ②新型コロナウイルス感染症に伴い、外部研修が出来なかった為、計画に沿って実施できなかった。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(1) 介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- ☐ ①計画に沿って実施できた。

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- ☐ ①～⑨計画に沿って実施できた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- ☐ ①②計画に沿って実施できた。
- ☐ ③新型コロナウイルス感染症に伴い、計画に沿って実施できなかった。

(4) 介護人材育成・確保に向けて。

- ☐ 新型コロナウイルス感染症に伴い、計画に沿って実施できなかった。

6. コンプライアンスの徹底

(1) 関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式7：外部研修・出張等年間計画）。

- ☐ 新型コロナウイルス感染症に伴い、計画に沿って実施できなかったが、事故発生防止の研修をwebで行う事ができた。

(2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式6：職場内研修・会議計画）。

- ☐ 計画に沿って実施できた。

【2－3】施設サービス部門（ユニット型特養介護）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(2) 各種加算の継続取得（様式1）と計画的取得（加算取得計画（様式1－2））に努める。

- ☐ サービス向上会議時や口腔ケア後、山下歯科衛生士による助言や指導を受け、ブラッシング技術、入れ歯洗浄、入れ歯安定剤の使用方法等指導を受け実施できた。今後も定期的に施設内研修会を計画、実施し、専門的知識を深め、ケアの質の向上に努めたい。

(3) 入所率・利用率の低下防止に努める。

- 入居者様の既往歴や現病歴を踏まえた上で、身体状態の観察をこまめに行い、体調不良等早期発見に努めた。また看護職、介護職の連携がうまく取れ、医師への報告や早めの受診に繋げることができた。
- ヒヤリ・はっとの報告件数については、入居者様の状態に応じて件数を出す事ができた。また品質管理委員会、主任者会議で多職種からの意見を取り入れて検討を行い、チーム会議やフロア会議で検討、周知を実施し事故等未然に防ぐ事ができた。しかし、予防、是正処置報告書の展開ができなかった。来年度は担当者を定め、毎月の検討を行い、確実に実施していく。
- ミーティングについては毎日実施し周知する事ができた。しかし記録システム「ケアカルテ」への記録漏れが多かった。今後は確認作業や担当を明確にし、記録漏れがないようにする。また緊急、若しくは重要な連絡事項については、スマホアプリの「LINE」を活用し、周知徹底を行い連絡漏れ等無いよう努めた。
- 入退院時の連携については、入院期間中に看護師が面会を行い、医療機関やご家族との連携が取れた。4年度は、誤嚥性肺炎は発生していないが転倒骨折事故が2月に1件発生した。検討を行い、骨折ゼロを目指したい。

(4) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 毎月予算執行し、管理を行い手順通りに執行した。

(6) 計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表（様式2）、車両設備一覧表（様式3）、設備等導入計画・修繕計画（様式4）、設備・備品等廃棄計画書（様式5）を作成し、中長期計画策定に取り組む。

- 毎月の設備点検を実施した。しかし備品の清掃や整理整頓ができていない。今後点検時だけでなく、定期的に、また職員の意識も持つよう毎月の定期会議時に啓発を行う。

(7) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 毎月のフロア会議やチーム会議時に、各自のムダ・ムラの進捗状況を確認し、年間通して継続的に取り組む事ができた。

(8) 経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

- 上天草高校や社協主催の介護実践者研修に講師として派遣できた。しかし、小中学生のワークキャンプ受け入れやオレンジカフェの参加については、新型コロナウイルス感染症の流行にて実施できなかった。来年度は実施していきたい。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

- ①上天草高校や社協主催の介護実践者研修に講師として派遣できた。また

中学生のワークキャンプの受け入れや、オレンジカフェの参加については、新型コロナウイルス感染症の流行にて実施できなかった。来年度は実施したい。

- ②毎月1回、ユニット広報誌「喫茶去」を休刊する事無く発行することができた。また新たな取り組みを計画はしていたが、新型コロナウイルス感染症流行の為実施できなかった。次年度は、広報誌だけではなく、入居者様の写真入りカレンダーを毎月作成し、ご家族に送付したり、地域の行事等、以前のような開かれた施設を目指して行けるような取り組みを検討し実施していききたい。
- 新型コロナウイルス感染症流行の為、ボラティア等の受け入れ、交流はできなかった。次年度は以前のような取り組みが出来るよう、検討、実施してきたい。
- ④環境委員会の活動のほか、部署独自で施設周辺のゴミ拾いを3回程行った。今後は回数を増やしたり、入居者様との散歩時も利用した清掃活動を計画し実施していききたい。

(2) 家族との連携強化を図る。

- 家族会等は中止した。また誕生会等の行事では、ご家族に事前に誕生会を行う事をお伝えする事で、差し入れや本人様の好物、お花等たくさん頂いた。またユニットでも「誕生月は特別な月」という事を感じて頂くために、誕生月には故郷訪問や出前を取り、ユニット全体でのお祝だけではなく、ご家族の代わりにはならないが担当者と個別にお祝いする事が出来た。来年度はふるさと訪問や、自宅から馴染みの物を施設に運び、環境整備にも取り組みたい。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（5つのゼロと4つの自立支援）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 5つのゼロの実践をとおして利用者様の自己実現を図る

①おむつゼロ

- おむつゼロの取り組みとして、5名の実施を計画し、現在では4名の方のトイレ誘導が定着した。また1名の方は、骨粗鬆症等原因でトイレ誘導の取り組みを途中中止した。
- 紙オムツを使用されている方は、新規入居者時や体調等により定期的に見直しを行い、現在は2名いらっしゃる。今後も状態に応じて見直し検討を行い、「オムツ外し」を実施してきたい。
- 水分摂取量は、全体的に向上し、全職員意識して取り組むことが出来た。また機能訓練も個人別実行計画書にて目標に掲げ、介護職員での実施が少しずつでもできるようになり、以前より改善傾向にある。今後も意識して取り組みたい。

②身体拘束ゼロ

- 身体拘束廃止について、毎月フロア会議時に自らの振り返りを行う機会を設けた。また毎月のサービス向上会議やチーム会議にて、椅子での日中の過ごし方やセンサーの使用について検討し対応した。
- スピーチロックについてもチーム会議やフロア会議で検討を行い、日頃の

自分達の接し方や行動、言葉使いについて見直す機会を設けたり、若しくは接し方や言葉使いに問題と感じた時等、状況に応じて会議の議題に挙げ、アンケートをとったり、グループワークや個人ワークにて振り返りを行った。またユマニチュードの取り組みとして、入居者様への接し方も見直すことで、スピーチロックの改善に向けた取り組みが出来たと感じている。今後も継続して取り組んでいく。

③骨折ゼロ

- 昨年度は1件の骨折事故があった。2月18日に居室にて転倒され、左橈骨骨折・左大腿部頸部骨折と診断された。
- 事故防止の取り組みとして、ヒヤリ・はっと報告書をチーム会議で検討し、主任者会議、品質委員会、サービス向上会議にでは多職種で検討した結果を再度フロア会議で周知を行い、事故予防に取り組んだ。またヒヤリはっとの評価を行い、転倒や表皮剥離のリスクが高い方についての検討を行い、随時対応した。しかし予防・是正処置の対応はできたと思うが、展開として報告書の作成ができなかった。
- ヒヤリはっと報告書は1日1件を目標にしていたが、月平均50件程度だった。原因として入居者様の状態、状況変化もあるが少ないと思う。今年度は全職員で報告書作成について担当者を決め、定期的に勉強会を実施する。また事故を完全に防ぐことは難しいと思うので、対応として事故が起る前の対策に力を入れ、ハードの見直しや歩行状態が安定するよう歩行、立位訓練等、介護職が主体で行う機能訓練に力を入れ、入居者様の健康作りに力を入れて行きたい。

④胃ろうゼロ

- 嚥下マッサージ等、毎食前に実施できた。しかし記録が出来ていない。毎月のチーム会議やフロア会議で周知を行い改善していきたい。今後も誤嚥性肺炎が原因となり、入院される事がないようにしていきたい。

⑤褥瘡ゼロ

- 多職種連携にて、褥瘡委員会やチーム会議で評価を行い実践できた。また排泄交換や入浴介助時等、発見した場合は直ちに看護師やリーダーへ報告し写真を撮り、チーム全員で状態を把握し、共有する事で迅速に対応する事ができた。
- 褥瘡予防の指導について、看護師や理学療法士からアドバイスを受け、チーム会議での検討を行う事で意識を高めながら実施する事ができた。
- 褥瘡ハイリスク者については、エアマットの使用や栄養状態の把握、作業療法士と連携し、褥瘡予防に努めている。

(2) 4つの自立支援への取り組みをとおして利用者様の自己実現を図る

①認知症ケア

- ユマニチュードの実践について力を入れて取り組んだ。実践して実感することは、重度の認知症で、意思疎通が困難な方でも有効な手段であると感じている。また反面、難しいことは「とても簡単そうに見えて、実は非常に難しい」という事と「継続して取り組む難しさ」について感じている。

全職員にも取り組みが浸透しつつあると感じている。今後も継続して取り組み、「ユマニチュードはケアの基本である」とい事をユニット部門全体の共通目標として取り組んでいきたい。また研修会の参加も開催される状況になったら積極的に参加する。

②機能訓練

- 機能訓練では、排泄交換時や入浴介助時に関節可動域訓練等の実施、またトイレでも立位、立位保持訓練等実施できて来た。今後も空いた時間等活用できるよう、介助を行いながらでも訓練できるよう心掛け実施している。今後も継続できるよう実施していきたい。

③口腔ケア

- チーム会議で毎月検討を行い、状況に応じて山下歯科衛生士に指導を受け実施できた。

④看取り介護

- コロナ過で看取り期でも面会等難しい中、最期の時期の見極めを看護師が的確に行う事によって、ご家族との最後の時間が共有できるよう支援できたと思う。満足できる看取り介護ができたかはわからないが、ご家族からも感謝のお言葉もたくさん頂けた。その事を励みに今後も継続して取り組んできたい。また定期的に看取りケアの学習も実施できた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 新型コロナ感染症の流行で、入居者様の外出は大幅に制限する事となったが、職員の工夫等で店からの出前や手作り屋台、また施設内調理にてお弁当を作り、施設の敷地内だが、外での食事等、入居者様に喜んで頂けるよう工夫して取り組むことが出来た。
- 個別での対応の充実を図る為、全体行事と別に、担当で企画を行う個別行事に力を入れ取り組んだ。内容は出前を取ったり、故郷訪問やピクニック等を重点的に行い大変喜んで頂けた。
- ユニット中庭部分に、野菜や花を植え、水やりや草抜き等手伝って頂き、収穫した食材を調理したり、日常に楽しみや喜びが持てるよう努めた。
- 環境作りに関しては、入居者様の要望、身体状況に合わせた模様替えを行い検討等、随時見直し行った。また看取り期を迎えられた方には、付き添われるご家族へのソファの提供、また生花や写真、アルバムの準備、あと御自宅から大切にされた物や馴染みの物を持参いただき、最期の時間を有意義に過ごして頂けるよう飾り付けを行い、ご家族にも毎回好評で喜んで頂けた。今後も継続していきたい。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上

- 24時間シートの活用や新規入居者様の作成、また評価は出来なかった。現段階で、24時間シートの必要性や活用方法について再検討を行い、今後の方向性を検討していく。今回は、お茶の水ネット配信を使用し、個人で課題や目標を設定し、取り組んだ。年2回研修報告を作成し、自己の目標や数年後の自分についても目標設定できる事ができた。今後は施設長からも

指摘があったが「介護福祉士資格取得がゴール」という感覚が今の職員全員にある。これからは「介護福祉士取得がスタート」という認識で、資格取得や研修の受講を積極的に受けて頂くよう支援していく。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

（1）介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- 職員教育では長期、短期、そして当日の目標等しっかりと定め、計画的な教育を行っている。

（2）職場・労働環境の整備（やりがいと働きがいのある職場として）。

- 有給取得について、規定通りの有給は取得して頂けた。来年度はもっと計画的に、そして早くから取得していただけるよう実施していきたい。
- 資格取得や各研修については、介護職員1名が介護職員実務者研修を予定していたが、コロナ禍で中止となった。
- 腰痛対策では、マッスルスーツの導入とスライディングボードの活用により、腰痛を訴える職員は1名しかいない。また移乗介助等、以前は2名で行っていた方も、3名で介助する事により、表皮剥離や痣等の予防にも繋がっていると思う。今後も継続して取り組んでいきたい。

（3）対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成

- 毎日のミーティングや接遇ミニ研修は、取り組みが定着し実施できた。
- 他部署との交流では、新型コロナウイルスの影響により、従来型特養と合同での行事は実施出来なかった。代替えとして、ユニット合同で「屋台に行こう」を実施し、お祭りの気分を味わって頂けるよう実施した。とても好評だったので、以後、2回実施した。今後も計画し実施して行きたい。また町内行事等、感染症流行にて参加できなかった。

（4）将来の介護人材育成・確保に向けて。

- 上天草高校の2年福祉科生徒の実習受け入れはできた。また同校の福祉科地域福祉類型の介護職員初任者研修をリモートで実施する事が出来た。上天草市の中学生を対象としたワークキャンプの受け入れは出来なかった。また小中学校の行事（運動会、文化祭、その他催し物等）の参加も出来なかった。次年度は感染症対策を行い、コロナ禍でも実施できるよう検討していった。

6. コンプライアンスの徹底

（1）関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式7：外部研修・出張等年間計画）。

（2）関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式6：職場内研修・会議計画）。

- 外部研修の参加は、新型コロナウイルス感染症の流行にて参加できなかった。また内部研修においては計画的に実施できた。

【2-4】施設サービス部門（看護）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

（2）各種加算の継続取得（様式1）と新たな加算取得計画（様式1-2）。

- 経口移行についてはサービス向上会議で検討を行った。
- 嚥下障害スクリーニングテストはコロナ禍により5回だけの実施だった。
- 体重減少や食事量減少があった場合は随時多職種で検討し、栄養補助食品の提供についても検討した。
- LIFEの活用と委員会を通し、他職種でハイリスク者や皮膚剥離者の方を把握し、毎月検討・対応出来た。

（3）サービスの質を高め、入所率・利用率の低下防止に努める。

- ①について、誤嚥性肺炎での入院4名あり。嚥下機能低下があり、トロミ剤の使用や口腔マッサージ・口腔体操や口腔ケアの実施をしているが、効果的に行えていない部分もある可能性がある。歯科医師による健診時の助言や歯科衛生士からの指導助言を参考に今後も技術の向上に努め、取り組んで行く。
- ②について、科学的根拠に基づくケアの取り組みとしては、施設内研修、サービス向上会議で、5つのゼロについて話し合い、個人にあったリスク把握やケアを考え、実践した。日常的な状態観察・バイタルチェックをし、早めの対応・受診を行ったが、従来型は誤嚥性肺炎4名、骨折によるもの2名、持病悪化7名。ユニット型は、持病の悪化6名、骨折によるもの1名。以前に増し介護と看護の連携ができてはいるが、持病の悪化や老衰、重度化、急変され、お亡くなりになられる方もおられた。従来型は、骨折7名、ユニット型は、骨折2名があった。入所率は、従来型92.1%、ユニット型92.9%であった。入院が長期化する方が多かった為、目標より下回った低栄養状態の方については、主治医指示のもと、点滴を行うだけでなく、多職種で栄養状態を検討し、栄養補助食品も取り入れ提供した。骨折については、リスク者把握に努め、原因追及でき、取り組んでいる部分もあるが、取り組みの部分で、まだ不足している部分を今後も強化・改善していく。

（4）既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 計画通り実施出来た

（7）個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 職員一人一人が、節電・節水は心掛けた実施した

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

（1）地域との連携強化を一層進める

- 備蓄品について、半年に1回見直し、購入を実施した

（2）家族との連携強化を図る

- コロナ禍の為、面会を制限しているため、近況の問い合わせの時など、ご家族へわかりやすい言葉で、情報を説明し、又看取り介護になられている方のご家族へは、少しの変化の時でもご希望に沿って、状態を報告した。相談しやすい雰囲気になるよう、面会に来られる方へは、職員から出来るだけ声をかけ、話しやすいような環境作りを行った。窓越し面会も一時期行えたが、コロナ感染者の増加に伴い、リモートでの面会になっている時に対面での面会が出来ずお亡くなりになられた方もおられた。今回の事を課題に感染対策の中にも、窓越し面会が出来ただけ継続してできるよう感染状況も考慮しながら多くの期間対応出来るように検討した方が良いと考える

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- 入院の方の状態を医療支援課の方からの情報だけでなく、受診時や時間の許す時間帯がある場合は、電話で情報を把握するように心掛け、実践できた。入院の長期化にならないかを判断するため、相談員や看護職員から病院側に問い合わせをし、状態を見に行くことで情報を把握し、その都度必要に応じた対応が出来ている。
- 協力医療機関との連携会議などにも参加し、出来るだけ近い存在で連携が図れるよう、また主治医とも早めの連絡で、入居者様の状態を協力医療機関にも伝え、受診がスムーズになるようにもしてもらい、早めの受診にもつなげた。
- 看取り介護では、従来型・ユニット型で数名の方がおられたが、それぞれの方の対応での学び（偲ぶ会・看取り介護研修など）を活かし、看取り介護中の方にもより良いケアが提供できるように努力している。
- 嘱託医（主治医）である姫戸医院との協力体制については、コロナ感染症発症時や日頃からの入居者様の状態について、今よりもっと連携を強化をしていく。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（5つのゼロと4つの自立支援）

～高品質サービスの提供に向けて～

(1) 5つのゼロの実践をととして利用者様の自己実現を図る

①おむつゼロ

- おむつ外しについては、サービス向上会議で、多職種で検討。従来型でもユニット型でも褥瘡まではいかない臀部の傷が増えている為、排泄介助時の皮膚観察と清潔保持に努め、長期化しないように座位時の姿勢・時間の工夫と緩衝剤、臥床時の緩衝材等も検討し、適切な器具・備品の使用をするようにした。褥瘡委員会でも座位が長時間にならない様にする事なども啓発し、部署でも啓発し実践する事で、以前に比べ介護職員の意識付けにもなっている為、早めの治癒に繋がっている。

②身体拘束ゼロ

- 計画通りに研修は実施できた。センサーの必要性については、フロアや・サービス向上会議・チーム会議などで検討し、必要に応じ使用をした。

③骨折ゼロ

- フロア会議やサービス向上会議・チーム会議などで、転倒・転落リスク者拘縮等の把握し、情報の共有を図り、センサーマットの使用者や緩衝マットの使用・介護技術の知識向上、実践を進めたが、転倒や転落による骨折が従来型は7名、ユニット型は2名あった内、従来型2名、ユニット1名入院された。

④胃ろうゼロ

- 毎月サービス向上会議の中で、経口移行について検討。また、嚥下・咀嚼障害のある方は、口腔体操実施やフードテストでの状況把握をし、多職種で情報を共有化し、注意事項を決め、食事介助を行った。以前に比べ、ムセの多い方や食物残渣物の残りがある方も増加している。

⑤褥瘡ゼロ

- 研修については、計画通り実施できた。毎月の褥瘡対策委員会で、リスク者の把握と褥瘡になりやすい傷、または褥瘡が出来ている方の傷の状況を写真で把握し、処置の内容やケアの状況について話を進め、重傷で長期化した褥瘡罹患者はなかった。入浴時や排泄交換時、夜間の排泄交換時の皮膚観察により、重症につながる傷が防げた。従来型の植野様については、病状の悪化に伴い、小さい傷が褥瘡化悪化した為、入院に至ってしまった。

(2) 4つの自立支援への取組みをととして利用者様の自己実現を図る

③口腔ケア

- 口腔ケアの実施とともに、咀嚼・嚥下状態が悪い方は、自動や他動で口腔体操、首周りの運動を食前や集団レクレーション時に行った。

④看取り介護

- 研修は計画通り実施できた。従来型・ユニット型ともに、入居者様で看取り介護を行い、その都度その方にあった、看取りについて検討し、ご家族の意向に沿ったケアの充実を目指し、ケアを行った。偲ぶ会もその都度実施し、死生観教育や次の看取り介護へ繋げている。在宅者の看取りの方は、今回はなかった。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- ミーティング時に、重要なヒヤリ・はっとや不適合を報告し、情報の共有をした。
- 面会については、感染症数を把握しながら、その都度感染症対策委員会を通して決定し、実施出来た。12月31日従来型の入居者様3名が新型コロナ感染症罹患され、必要備品が備蓄されていたことにより、スムーズな対応が出来た。
- 感染症対応については、日頃より職員の健康管理や入居者様、短期入所ご利用者様の状態観察をした。熱発された時の初動が、研修で習得していた為、スムーズに行う事も出来た部分が多く、入所者様罹患はされたが、拡大することなく、2週間で収束した。今回のコロナ感染対応については、現場でのマニュアルも充実し、今後の対応に活かせるものが出てきている。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- 計画通りに研修は実施できた。

4. 魅力ある職場づくり（介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（やりがいと働きがいのある職場として）。

- 各健診は時期のずれはあるが、実施できた。
- 今年度は、インフルエンザに罹患する方が従来型・ユニットともになかった。
- 新型コロナウイルス感染症については最小限の期間で収束した。感染症対策の備蓄衛生物品については、事務所と協力し、必要量を検討しながら、備蓄をしてもらっており、不足する事はなかった。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- ミーティングは、従来型・ユニット型ともに介護職員と同時間で実施できた。
- 看護・介護間では、ケアカルテを活用し、連絡事項に重要事項は入力し、周知するとともに、主任・リーダー・看護で早めの対応が必要な時は、口頭でもお互いが報連相を行うように日々心がけ実践した。
- 看護間では、口頭やメモ、ケアカルテを活用し、お互いがスムーズに業務が行なえる様、引き継ぎの申し送りをするように心がけ実践できた。
- 従来型では、ケアや情報共有について、もっと介護・看護間の連携していくことが課題である。

6. コンプライアンスの徹底

(2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式6：職場内研修・会議計画）

- 計画通りにできた

【2-5】施設サービス部門（栄養調理）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 新型コロナウイルス感染症 BCP の見直しや災害発生時の BCP の作成

- ディスポ食器や非常食の確保は出来ていたが、12月ユニット職員のコロナ陽性でディスポ食器を使用。適正な食器を検討後補充する予定としていたが年末に従来型特養にてコロナウイルス感染症のクラスター発生。12/31にディスポ食器補充対応を行った。その後の会議にてワンプレートが適正であるとの事で購入し対応した。また、ディスポ食器をユニット棟 2F の非常食ロッカーに一部保管していたため、ユニットでの感染対応の際は取りに行けなかった。その反省を踏まえ、初期対応分は厨房休憩室棚への保管を行った。

(3) 各種加算の継続取得（様式1）と計画的取得（加算取得計画（様式1-2））に努める。

- 栄養ケア計画は3ヶ月毎の見直しを行い、低栄養リスクの高リスク者は栄養マネジメント強化加算の書式で2週間毎のモニタリングを行った。
- 栄養マネジメント強化加算は、栄養ケア計画の見直し月と併せて評価できるようになった。
- 経口維持加算は、従来型は8名算定し退所により3月は2名。ユニットは3名算定で3月は1名。
- 療養食対象者は退所され、対象者はいない。
- 経口移行についても対象者はいない。
- 再入所時栄養連携加算はユニットのJ様を対応した。

(4) 入所率・利用率の低下防止に努める。

- 感染症、食中毒に関しては職員研修にて4月・5月・7月・2月に実施され参加した。入所（居）者様の栄養状態に関しては、サービス向上会議にて多職種で検討を行った。急を要する場合は随時、検討を行い対応した。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 計画通りに実施。

(7) 計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表（様式2）、車両設備一覧表（様式3）、設備等導入計画・修繕計画（様式4）、設備・備品等廃棄計画書（様式5）を作成し、中長期計画策定に取り組む。

- 計画通りに実施。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 個人別事項計画書での取り組みはないが、ミーティング等で啓発を行った。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

- 非常食の整備は出来ている。台風等での避難はなかった。清掃活動については月1回は出来ていないが、壁のカビ等については気付いた時に実施した。

(2) 家族との連携強化を図る。

- 家族会、ご家族交えての行事の開催はなかった。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- ① 主治医、協力医療機関である上天草総合病院との連携強化を図り、入所（居）者様の入院期間短縮、看取り介護体制の強化等に繋げる。

- ユニット型のJ様の再入所時栄養連携を行った。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFEへの対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 5つのゼロの実践をとおして利用者様の自立支援・自己実現を図る

- 水分摂取量、経口移行についてはサービス向上会議で検討を行った。
- 嚥下障害スクリーニングテストはコロナ禍により5回だけの実施だった
- 体重減少や食事量減少があった場合は随時多職種で検討し、栄養補助食品の提供についても検討した。

(2) 4つの自立支援への取組みをとおして利用者様の自己実現を図る

- サービス向上会議にて検討を行った。また、食事中の観察により状態を確認し随時検討を行い対応した。常食化については、従来型の主食は4月63%から3月73%へ、副食は4月46%から3月56%と10%アップした。ユニット型は主食・副食共に4月55%から50%となった。
- 看取り期の方の食事については状態に合わせ内容や量の検討を行い対応した。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 行事食は年間計画に沿って実施した。ごつつおの日の内容はDSから提案いただき、敬老週間や忘年会ではホールで土鍋での炊き込み御飯を作り、香り等も楽しんでいただいた。
- 前年度、色彩りに配慮した盛り付けの食事の提供が足りていないとの反省を踏まえ、昼食の検食を写真に撮りフロア会議で1年間検討した。改善を今後に繋げる必要がある。御飯の炊き上がりにムラがあるとの指摘もあり、洗米方法を検討し改善へ繋がった。
- 夏祭りはコロナ禍により実施できなかった。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- 食事量・水分量は毎月集計し各チームへ渡した。入所（居）者様の状態についてケアカルテで確認し、必要時は多職種で検討を行った。
- リスクマネジメントについてはミーティングやフロア会議で啓発を行った。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- 食に問題がある入所（居）者様についてはサービス向上会議で検討した。食事観察時に多職種で食環境について検討し対応した。必要時はカンファレンスも行った。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- 計画通りに実施。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 計画通りに実施。

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

☐ 計画通りに実施。

6. コンプライアンスの徹底

(1) 関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式7：外部研修・出張等年間計画）。

(2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式6：職場内研修・会議計画）。

☐ 計画通りに実施。

【3-1】施設サービス部門（通所介護事業）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 感染症や災害への対応力強化（BCPの作成・見直し）

☐ 送迎時の検温や体調確認、また来苑後の体調確認等を行い、感染の予防に努めた。バイタルの異常や体調が悪くなられた利用者様に対する感染対策と、個別対応も併せて実践できた。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

☐ 返戻・保留の発生状況に応じ必要に応じてケアマネ・国保連に確認等を行い、事務長・松下副施設長に原因の報告を行った。

(3) 各種加算の継続取得（様式1）と計画的取得（加算取得計画（様式1-2））に努める。

☐ 機能訓練の定期見直しについては、職員の異動、退職により11月からの体制で実施。

(4) 入所率・利用率の低下防止に努める。

☐ 利用時の体調確認・バイタル測定・手指消毒等の感染予防を行い、利用率の低下予防に努めた。また入院や長期で利用のない方については、一旦利用を中止し、新規利用ができるように調整を行いながら、利用率の安定につなげた。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

☐ 予算書に基づき、適切な予算管理ができた。予定に未計上なものについては、見積もりを依頼し、適切な手順で行うことができた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

☐ 感染状況から、地域行事の参加やボランティアの受け入れができなかった

が、「翔く」「余暇所」等の広報誌を定期的に配布し、広報活動に努めた。

(2) 家族との連携強化を図る。

- 感染状況から、家族会を開催せず書面にて事業報告をおこなった。担当者会議や本人様、またご家族にご意見を伺い、記録に残している。また苦情等は不適合報告書を作成し、改善に向けた話し合いを行った。

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化

- 定期的な防災訓練をととして、地震や津波、また大雨等の災害に対する安全対策の実践に努めた。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- オンラインによる連携会議等に参加し、各事業所や多職種で情報を共有できるように努めた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 5つのゼロの実践をととして利用者様の自立支援・自己実現を図る

- 毎日のミーティングやフロア会議、リスクマネジメントを通して、利用者様の状態を検討し、ケアの質の向上や、サービスの統一に努めた。

(2) 4つの自立支援への取組みをととして利用者様の自己実現を図る

- フロア会議内でフィジカル・スピーチ・ドラッグロックについて話し合い、接遇を含めた改善活動に取り組んだ。また、皮膚状況の確認・食事摂取状況の確認を行い、皮膚疾患の早期発見に努め、ご家族・医療との連携を図り悪化防止に取り組んだ。計画に沿った訓練の実施行い、身体機能・認知力低下予防に努めた。
- LIFE についての定期的な研修会については未実施。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 季節に合わせたおやつや食事等、栄養士と連携し、食の楽しみの提供を行い喜ばれた。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- 不適合サービスが発生した場合は、ミーティングにて報告し、職員で今後の対応について検討し実施している。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- 個人別実行計画に基づき、職員ごとに研修視聴を行いながら、自己学習への啓発に努めた。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(1) 介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- 年5回以上の有給休暇や連休が取れるように勤務調整を行った。また、会

議等は 9 時間勤務を充て、時間外の削減に努めた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 朝礼ミニ研修を通して、接遇への意識と技術の向上につなげることができた。また、フロア会議にて接遇について話し合い、改善に努めた

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

- 計画に沿って実践できた

【3-2】居宅サービス部門（居宅介護支援事業）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 新型コロナウイルス感染症 BCP の見直しや災害発生時の BCP の作成

- コロナ禍における新しい生活様式の実線は習慣化している。法人の新型コロナウイルス感染症に対する事業経営計画はあるが、居宅介護支援事業所の BCP も必要となるため今後の検討課題。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

- 計画通り実施できた。

(3) 各種加算の継続取得（様式 1）と計画的取得（加算取得計画（様式 1-2））に努める。

- 計画通り実施できた。

(4) 入所率・利用率の低下防止に努める。

- 年間平均利用率が 8 割強であり、利用率の低下があった。データ分析の結果、要介護 3 以上の減少がみられた。

(6) 社会福祉法人としての地域における公益的な取組み（社会福祉法人の利用者負担軽減・生活困窮者レスキュー事業）の継続、及び新規事業へ取組む。また、地域貢献活動にも積極的に取組む。

- 利用者負担軽減制度事業利用対象者び実績はなかった。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 計画通り実施できた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

- 大雨や台風の場合、独居高齢者のショートステイでの受け入れ連携実施。講演会、地域ケア会議の開催はなかった。

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化。

- 姫戸小学校の認知症サポーター養成講座にキャラバンメイトとして参加。虐待

案件については、地域包括支援センター等の関係機関と連携を図った。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- 主治医や薬剤師との連携は必要時図れた。上天草総合病院とは、入退院時の連携をはじめ、連携会議への参加もできた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）
～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(2) 4つの自立支援への取組みをととして利用者様の自己実現を図る。

- 認知症については個人学習の実施。
- パーキンソン病の利用者には、訪問看護でのリハビリもプランに位置付け在宅での日常生活動作維持に向けた支援をおこなった。ケアプラン更新時などには、近い将来の生活の場所の意向確認もおこなった。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 計画通り実施できた。

(4) ISO-9001:2015 に基づくサービスの品質管理。

- 計画通り実施できた。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- モニタリングを通して、サービス満足度や本人の状態等を把握し、必要に応じてケアプランの変更等の対応をおこなった。
- 各自、個人別実行計画書に沿ってネット配信研修に取り組んだ。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- 職員研修以外の時間外勤務は、ほとんどなかった。
- 有給休暇については、事前申請での取得ができています。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 朝礼ミニ研修への取り組みが不十分であった。予定については、部署内で把握でき、不在時の対応も実施できた。

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

- 計画通り実施できた。

(2) 防犯体制の強化。

- 計画通り実施できた。

6. コンプライアンスの徹底

- (1) 関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式7：外部研修・出張等年間計画）。

○ 集団指導、説明会等はなかったため、不明な点は適宜保険者に確認した。

【3-3】居宅サービス部門（在宅介護支援センター）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 新型コロナウイルス感染症 BCP の見直しや災害発生時の BCP の作成

- 地域住民に対し「コロナウイルスの正しい知識や情報」「感染対策」「手指消毒方法」「マスクの正しい着用方法」「翔洋苑のコロナ対応現状」等の周知や啓発活動を行うことができ、個々の意識を高めることができたのではないかな。
- 風水害への対応に関しては災害への備えとして「備蓄品の提案」「ローリングストック」「保管場所」「周囲との日頃からの関わり」「台風/地震/水害それぞれの避難場所検討」等、日頃からの備えや考える機会を設けて頂くお手伝いが出来たのではないかな。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

- 委託内容を遵守し業務委託を遂行することができた。コロナの感染拡大等により活動を休止される公民館も多くあり、計画的に動いたけれども上限を満たすことはできなかった。委託費請求は定められた月に遅延なく実施できた。

(4) 入所率・利用率の低下防止に努める。

- 申請等代行依頼者のフォローを積極的に行った。今期は要支援者が多くあり地域包括支援センターにつなぐ案件(要支援・事業対象者)が殆どであった。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 月次予算に基づき適正に執行できた。

(6) 社会福祉法人としての地域における公益的な取組み（社会福祉法人の利用者負担軽減・生活困窮者レスキュー事業）の継続、及び新規事業へ取組む。また、地域貢献活動にも積極的に取組む。

- 社福減免対象者なし・生活困窮者レスキュー事業協力依頼なし。
- 地域交流スペースの活用に関してはコロナ禍でもあり今できることから始めようという運びでこども食堂試行に至った。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- ペーパーレス化の促進に努めたが水道光熱費や消耗品も常に意識して取り組むことができた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

- 広報誌配布については訪問移動時間を活用し協力できた。「コーディネーターだより」は隔月発行し、地域の活動の周知と意識向上へつなげる事が出来た。
- 母体の福祉避難所周知を行い迅速に対応できた。コロナ禍で集まることを避け、地域に出向いて課題解決を図る場面が多かったので、母体事業所内でのケア会議は開催無し。
- 地域住民と共に、生活し易い仕組み作りについて「みつば会」を年3回開催した。助け合いへの意識が高まってきている。西川内地区の「ふれあい広場」作りの後押しが出来、地域の居場所作りに貢献できた。
- 民生委員定例会には継続して参画し情報共有や収集に努めている。

(2) 家族との連携強化を図る。

- 母体の計画に基づき行事研修に参画した。

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化。

- 上天草市、上天草市社会福祉協議会との連携は、ことある毎に協力的で信頼関係も強まっており、充実した活動につながっている。又、認知症サポーター養成講座、介護職員初任者研修等の要請等についても協力できた。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- 関係機関との連携を図り活動することができた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応） ～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(2) 4つの自立支援への取組みをとおして利用者様の自己実現を図る

- 「通いの場」や「小地域ネットワーク事業」への参加時、「認知症ケア」への知識の向上・予防や対策について、資料準備し説明、啓発できた。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- 業務分掌表に基づき、職務を遂行した。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- 母体の計画に沿い、研修に参画、資質向上に努めた。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- 計画に沿い実行できた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- コロナ禍で部署間の交流を積極的に図ることは難しかったが、意識してコミュニケーションを図るようにした。

(4) 介護人材育成・確保に向けて。

- ☐ 認知症サポーター養成講座については年 3 回実施できた。(小学校・地域・民生委員) 社協開催の介護職員初任者研修についても要請に応じ対応できた。

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

- ☐ 母体の計画に沿って実施できた。

(2) 防犯体制の強化。

- ☐ 母体の規定に従って実施できた。

6. コンプライアンスの徹底

(2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う(様式 6: 職場内研修・会議計画)。

- ☐ 母体の計画に沿って実施できた。

【3-4】居宅サービス部門(訪問介護事業所)

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める

- ☐ 計画通り実施できた。

(2) 各種加算の継続取得(様式 1)と計画的取得(加算取得計画(様式 1-2))に努める。

- ☐ 計画通り実施できた。

(3) 入所率・利用率の低下防止に努める。

- ☐ 利用者様とお話する時は、ゆっくりと分かりやすい言葉で話したり傾聴するように心がけた。

(4) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- ☐ 計画通り実施できた。

(7) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- ☐ 在介、居宅、と共有して取り組むことができた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

- ☐ 新型コロナウイルス感染症が施設で発生した際は、ショートを受け入れが出来ず、担当ケアマネと検討し必要に応じて、ショートの受け入れ出来るまで訪問で対応した。

(2) 家族との連携強化を図る。

- ☐ 連絡ノートを準備して、ご家族様に訪問の様子や状態等の情報を記録を残している。

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化。

- ☐ 研修等に参加はなかった。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- ☐ 定期往診時には、本人様の様子や状態をドクターに伝えるようにした。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（5つのゼロと4つの自立支援）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 5つのゼロの実践をととして利用者様の自己実現を図る

- ☐ 環境整備では、敷物や電気コード類のはみ出しがあった際は、しわを伸ばしたり、短くまとめるようにした
- ☐ 入浴支援では、皮膚や全身状態の観察を行いご家族に報告したり、他部署と連携して対応した。

(2) 4つの自立支援への取組みをととして利用者様の自己実現を図る

- ☐ 計画通り実施できなかった。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- ☐ 本人様の食べたい物や調理に興味を持っていただき、一緒に作る楽しみが出来られた。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- ☐ 毎月の実績の報告の際に、担当ケアマネにヒヤリハットも一緒に報告した。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- ☐ 3か月毎の評価を各担当ケアマネに報告している。
- ☐ 施設内の研修会に参加できている。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（やりがいと働きがいのある職場として）。

- ☐ 定時の退勤や有給休暇、月1回の連休を取得し心身ともにリフレッシュを取ることができた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- ☐ 朝の朝礼ミニ研修を定期的に行うことができなかった。
- ☐ シャディより、欲しい物を取り寄せることができた。

6. コンプライアンスの徹底

(1) 関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式7：外部研修・出張等年間計画）。

☐ オンラインでの開催で参加することができた。

(2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式6：職場内研修・会議計画）。

☐ 計画通り実施できた。

【3-5】居宅サービス部門（認知症対応型共同生活介護）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 新型コロナウイルス感染症 BCP の見直しや災害発生時の BCP の作成

☐ 母体施設と連携し実施できている。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

☐ 4月22日に勉強会を実施した。

(4) 入所率・利用率の低下防止に努める。

☐ 24時間を通して、密な連携が取れている。健康状態についても、バイタルサインチェック表を毎日渡して確認してもらっている。

☐ 上天草総合病院地域連携室相談員と頻繁に情報交換できた。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

☐ 予算内で購入できるように努めた。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

☐ 各居室など不在時は、照明、エアコン、テレビなど消すようにし、入浴なども水道代、ボイラー代を意識して行うようにした。消耗品なども、在庫を確認しながら発注した。

(9) 経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

☐ 運営推進会議等は概ね開催でき、年間6回実施できた。

☐ 広報誌は2ヶ月毎に発行できた。ご家族からも、毎回楽しみにしているとの声をいただいている。

☐ 自己評価は3月に実施しているが、取りまとめが未だできていない。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携強化を一層進める。

☐ 行事はコロナ感染症蔓延防止のため、参加は控えたが、文化祭への作品出品はでき、入居者様、ご家族からも喜んでいただけた。

☐ 老人会との交流はコロナ感染症蔓延防止のために、実施できなかった。

☐ 姫石神社等の清掃は町祭の時季に実施する予定であったが、職員の病欠などと重なり実施できていない。

(2) 家族との連携強化を図る。

- 家族会はコロナ感染症蔓延防止のため実施できていない。
- 施設行事への協力はコロナ感染症蔓延防止のため全員は実施できなかったが、100歳を迎えられた入居者様2名については、抗原検査実施後に面会や外食をしていただいた。敬老会への直接的な参加はなかったが、ご家族からお祝いなどが届いた。
- 医療との連携はできた。
- 「ケアカルテ」や「白板」の活用について周知はできているが、漏れがあった。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFEへの対応）
～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 5つのゼロの実践をととして利用者様の自立支援・自己実現を図る

- おむつゼロについて、フロア会議で時期に応じた排泄用品の検討を行った。また、自然排便を促すことが困難な場合は主治医と連携し内服薬でコントロールしオムツの使用は無かった。
- 身体拘束ゼロについて、母体施設との連携で研修会の実施はできた。また、毎月のフロア会議で検討を行い、運営推進会議で年6回の会議を行い、身体拘束は無かった。
- 骨折ゼロについて、身体機能に合わせた介護や器具の工夫ができず、骨折事故が1件発生した。しかし、事故後に検討会や介護技術の勉強会をおこない再発防止に努めた。
- 胃ろうゼロについて、食事前の嚥下体操の実施や食事中的ムセなどについて検討を行い、誤嚥性肺炎の予防や胃ろう等を防ぐことが出来た。
- 褥瘡ゼロについて、入浴時や着替え時に全身状態の確認を行い、発赤や傷、糜爛等を発見したときは姫戸医院と連携し早期治癒に向けて連携を行い、褥瘡の発生は無かった。

(2) 4つの自立支援への取組みをととして利用者様の自己実現を図る

- 認知症ケアについて、全職員共通の本を持ち、毎月のフロア会議で認知症ケアについても検討を行った。しかし、認知症の方とのコミュニケーションや対応について勉強不足による対応の難しさもあった。今後も継続して学び実践していくようにする。
- 機能訓練について、後半、職員の病欠やケガで外出支援が出来ないことがあった。しかし、午前午後の体操の実施はでき、日常生活においても自立支援を促すケアはできた。
- 口腔ケアについて、毎食後の口腔ケアの実施はできている。歯科受診についても実施できた。
- 看取り介護について、5月に1名看取りケア実施できた。研修についても姫戸医院看護師や母体施設と協力し実施できた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 買い物支援はコロナ感染症蔓延防止のため実施できなかった。しかし、入居者様の希望を伺いながら職員が代行しりご家族からの差し入れがあった。
- 入居者様の希望を入れた行事食も毎月実施できた。
- 食事・水分背摂取量についても毎食把握し、対応できている。
- 保存食作りも入居者様と協力しできた。旬の食材も地域の方や職員が持ち込みする等提供できた。
- ふるさと訪問については、自宅周辺まで行き、感染対策を取りながら地域の方との交流支援を行い、ご本人やご家族に感謝いただいた。地域の行事への参加はコロナ感染症蔓延防止のため出来ていない。
- 趣味活動の実施や作品発表の場を設けることができた。イベント入浴も実施できた。姫戸医院と連携し屋上庭園を造る予定であったが、防水工事が長引きできなかった。
- 入居者様と季節ごとの壁面飾りを作ったり植物を置いたりし、居住空間の環境整備や整理整頓はでき、清潔に過ごしやすいうように努めることができた。
- 毎月、入居者様の意向を踏まえた行事は実施できている。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- 業務分掌表の作成はできた。必要な力量の教育については、外部実習や資格取得を支援する等できた。
- ヒヤリはっと報告書の集計や病院との連携などに活用できた。また、「温度板」や「排泄注意者」等のデーターなども日常的な健康管理に役立てることが出来た。
- ヒヤリハットの啓発や検討は毎月のフロア会議で実施できた。不適合サービス発生時にも速やかに再発防止策の検討が出来た。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- アセスメント、モニタリング、計画作成は職員からの聞き取りなど協力してもらいながらできた。介護計画書は、入居者様へも説明を行い、できる方には署名までしていただいた。
- 研修会の案内文書は毎回、回覧し、受講の機会の提供はできた。
- 保健・医療・福祉サポートのネット配信は計画通りに全員受講できている。防災訓練等、職場内研修は、必要に応じて実施できている。
- 全職員への研修はできていないが、各入居者様のアセスメントなどは実施してもらった。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- 職員の実習や病欠、怪我などで時間外での業務があったが、業務が終了したら速やかに帰宅することはできていた。

- 各職員の退勤時間の確認はでき、主任者会議での報告もできた。
- 休日で参加できない場合は資料の回覧をおこなった。
- 2日間の連休の取得や年間5日以上の有給休暇の取得はできた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 毎朝、接遇マニュアルを用い研修の実施はできた。
- 職員間の連携としての引継ぎ、メモやLINE活用はできた。
- 母体施設の職員や他施設との交流はできなかった。

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

- 防災訓練は9月、3月に実施した。
- 自主防災訓練は計画通りに実施できた。

Ⅳ. 行事等報告

【1】家族会・運営推進会議等

(1) 特養（従来型特養・ユニット型特養）

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R 4. 9.18	46 名	【翔洋苑敬老会】 ① 敬老会・昼食会	家族会参加なし

(2) ユニット型特養（運営推進会議）

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R 4. 5.26	13 名	【第 1 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 4 年度 事業報告（4～5 月） ② 令和 4 年度 社会福祉法人姫戸福祉会 事業経営計画（概要） ③ 令和 4 年度 行事計画（6～7 月） ④ 事業運営に関する評価、意見等	地域交流 スペース
R 4. 7.31	9 名	【第 2 回ユニット棟運営推進会議（書面審議）】 ① 令和 4 年度 事業報告（6～7 月） ② 令和 4 年度 行事計画（8～9 月） ③ 令和 3 年度事業報告（概要） ④ 事業運営に関する評価、意見等	
R 4. 9.28	10 名 + 書面回答 1 名	【第 3 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 4 年度 事業報告（8～9 月） ② 令和 4 年度 行事計画（10～11 月） ③ 事業運営に関する評価、意見等	地域交流 スペース
R 4.11.29	12 名	【第 4 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 4 年度 事業報告（10～11 月） ② 令和 4 年度 行事計画（12～1 月） ③ 事業運営に関する評価、意見等	地域交流 スペース
R 5. 1.30	9 名 + 書面回答 1 名	【第 5 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 4 年度 事業報告（12～1 月） ② 令和 4 年度 行事計画（2～3 月） ③ 事業運営に関する評価、意見等	地域交流 スペース
R 3. 3.29	11 名	【第 6 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 4 年度 事業報告（2～3 月） ② 令和 5 年度 行事計画（4～5 月） ③ 事業運営に関する評価、意見等	地域交流 スペース

(3) デイサービス

開催なし

(4) グループホーム

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
5 月 29 日	9 名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	姫戸医院において実施
7 月 28 日	15 名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
9 月 28 日	14 名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
12 月 7 日	6 名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	姫戸医院において実施
2 月 15 日	12 名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
3 月 22 日	9 名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
3 月 22 日	11 名	①グループホームのサービス評価 (自己評価・外部評価)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議

(5) 苦情処理状況等の第三者委員への報告

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R 4. 6. 8	4 名	【令和 3 年度 苦情処理状況等の報告】 ① 苦情（相談・要望・意見）対応の手順 ② 令和 3 年度の苦情（相談・要望・苦情）等 (社会福祉法人 姫戸福祉会)	地域交流スペース

【2】行事報告

(1) 従来型特養

No.	期 日	行 事 名	出席 者数	備 考
1	R4.4.10	二間戸地区ドライブ（二間戸出身の利用者様）	5 名	
2	R4.4.12	里田ハスミ様誕生日	0 名	
3	R4.4.25	スイーツの日	30 名	
4	R4.4.29	本田節夫様誕生日	0 名	
5	R4.5.3～5	菖蒲湯	30 名	
6	R4.5.5	端午節句	30 名	
7	R4.6.4	花菖蒲を見に行こう	4 名	
8	R4.6.16	田中廣様誕生日	0 名	
9	R4.6.19	スイーツの日	30 名	
10	R4.6.24	村上ミサエ様誕生日	0 名	
11	R4.6.29	松下一美様誕生日	0 名	
12	R4.7.7	七夕	30 名	
13	R4.7.10	ドライブ（姫浦出身利用者様）	6 名	
14	R4.7.14	お盆参り	30 名	
15	R4.8.18	松本シゲノ様誕生日	0 名	
16	R4.8.21	スイーツの日	30 名	
17	R4.9.1	植野東様誕生日	0 名	
18	R4.9.19	敬老会	30 名	
19	R4.10.1	川畑隆昭様誕生日	0 名	
20	R4.10.12	斉藤輝昭様誕生日	0 名	
21	R4.10.27	たこ焼きの日	30 名	
22	R4.10.30	尾形マチ子様誕生日	0 名	
23	R4.11.9	秋祭り	30 名	
24	R4.11.10	段下トシエ様誕生日	0 名	
25	R4.11.26	中ハツキ様誕生日	0 名	
26	R4.12.11	木下フキ子様 誕生日	0 名	
27	R4.12.17	坂田サナエ様誕生会	0 名	
28	R4.12.19	濱口マユミ様誕生日	0 名	
29	R4.12.19	櫻庭令子様誕生日	0 名	
30	R4.12.20	緒方仁様誕生日	0 名	
31	R4.12.22	入居者様忘年会	30 名	
32	R4.12.22～	ゆず湯	30 名	
33	R4.12.24	クリスマス会	30 名	
34	R4.12.25	可児月子様誕生日	0 名	
35	R4.12.27	藤本敏江様誕生日	0 名	
36	R5.1.5	脇本フデ子様誕生日	0 名	

37	R5.1.10	須崎百合子様誕生日	0名	
38	R5.1.10	山本エミ子様誕生日	0名	
39	R5.1.18	浦田マサミ様誕生日	0名	
40	R5.1.18	前田穂一様誕生日	0名	
41	R5.1.26	岩本恵様誕生日	0名	
42	R5.2.1	岡本ミドリ様誕生日	0名	
43	R5.2.3	節分	30名	
44	R5.2.15	前森五重様誕生日会	0名	
45	R5.2.18	スイーツの日	30名	
46	R5.2.28	松本潤子様誕生日	0名	
47	R5.3.3	ひな祭り	30名	
48	R5.3.18	岩下京子様誕生日	0名	
49	R5.3.21	岩本サカエ様誕生日会	0名	
50	R5.3.23～	花見	30名	

(2) ユニット型特養

No.	期 日	行 事 名	出席者数	備 考
1	4月17日	「ちらし寿司とお刺身の日」	全員	
2	4月23日	ふるさと訪問（濱田ミツヨ様宅へ）	1名	
3	4月24日	ふるさと訪問（前田カズエ様宅へ）	2名	職員2名
4	4月28日	誕生日会（ちらし寿司を食べよう。水上キヌエ様）	2名	
5	5月8日	ふるさと訪問（花田忠茂様宅付近へ）	1名	職員2名
6	5月8日	ふるさと訪問（寺中輝子様宅付近へ）	1名	
7	5月6日	カップラーメンを食べよう	全員	
8	5月13日	ふるさと訪問（坂本竹子様周辺へ）	1名	職員2名
9	5月25日	「ちまきを食べよう」	全員	
10	6月6日	「大好きなそばめしを食べよう！」	3名	
11	6月12日	「出前を取ろう」（濱田ミツヨ様）	1名	
12	6月21日	ふるさと訪問（浦本望様）	1名	
13	6月18日	「お寿司を食べよう」	1名	
14	6月23日	「夏野菜カレーを食べよう」	17名	
15	6月27日	「出前を取ろう」…谷口様、荒様	2名	
16	7月17日	「サンドイッチを食べよう！」…城尾様、高田様	2名	職員2名
17	7月27日	「巻き寿司を食べよう」…谷口様、井手口様、福嶋様		職員2名
18	8月10日	「出前を取ろう」	全員	
19	8月10日	「スイーツの日」（ところてんを食べよう）	全員	
20	9月4日	「出前を取ろう」・・・寺中輝子様	1名	
21	9月16日	カレーとそうめんサラダを食べよう	1名	
22	9月25日	「出前を取ろう」…濱田ミツヨ様	1名	

23	9月27日	秋祭り（食事会）	全員	
24	10月10日	ふるさと訪問（自宅周辺）…寺中輝子様	1名	
25	11月27日	ふるさと訪問・ドライブ…福嶋様・水上様	2名	永目神社周辺
26	11月27日	「出前を取ろう」…山内恵美子様	1名	
27	12月20日	ユニット合同忘年会	全員	
28	2月7日	「ラーメンを食べよう！」	全員	
29	3月17日	「出前を取ろう」…濱田ミツヨ様	1名	

（3）栄養調理

月	日(曜日)	①行事名	②実施献立	③評価等
4	1(金)	開苑記念日	赤飯・メバル煮付け・ ごま豆腐・なます・海 老つみれ汁・杏仁豆腐	メバルの煮付けの味が薄く生 臭かった。DS 利用者様からの 声もいただいた。赤飯は色が まだらであるとの意見があっ た。
	7(木)	特養・DS セレ クト食	厚揚げと大根の甘辛 煮：赤魚のみそ炒め	美味しく出来ていた。
	15(金)	DS セレクト 食	さばの生姜煮：蒸し鶏 のみそだれ	美味しく出来ていた。
	18(月)	DS セレクト 食	赤魚の甘酢ソース：豚 肉となすのみそ炒め	美味しく出来ていた。
	21(木)	ごつつおの日	ちらし寿司・海老と帆 立のかき揚げ・白和 え・清汁・苺プリン	ちらし寿司を喜ばれた。
	25(月)	お弁当の日	ピース御飯・鮭のみそ 焼き・卵焼き・華焼売・ 海老つみれ煮物・菜の 花ピーナッツ和え・さ つま芋とりんごの甘 煮・清汁・フルーチェ	鮭のみそ焼き、海老つみれが 生臭かった。
	26(火)	DS セレクト 食	蒸し鶏の梅あんかけ： 鮭のごま浸し	美味しく出来ていた。
5	4(水)	DS セレクト 食	芙蓉蟹：鶏肉と里芋の みそ煮	里芋のみそ煮の里芋の量が少 なかった。
	5(木)	こどもの日	ちらし寿司・煮しめ・ 菜の花辛子和え・そば 汁・マンゴープリン	行事食を喜ばれていた。
	12(木)	DS セレクト 食	千草焼き：大根と豚パ ラの煮物	美味しく出来ていた。
	16(月)	ごつつおの日	たけのこ御飯・赤魚の	若狭焼の味が薄く、硬かった。

			若狭焼・キャベツの酢 の物・豆腐とワカメの 吸物・ヨーグルトババ ロア	
	20 (金)	特養・DS セレ クト食	厚揚げと大根の甘辛 煮：豆腐入りすり身揚 げ	美味しく出来ていた。
	23 (月)	DS セレクト 食	ソースとんかつ：赤魚 の山椒みそ焼き	赤魚の山椒焼きの周りが硬か った。
	27 (金)	お弁当の日	そら豆御飯・海老カ ツ・卵焼き・つみれの 煮物・切干炒煮・小松 菜ピーナッツ和え・梅 羊羹・かき玉汁・フル ーチェ	御飯のそら豆が潰れて形がな く、塩味が強かった。海老カツ はカットした方が食べやす い。 ユニット型特養より、お弁当 が冷めていたとの指摘があっ た。
	31 (火)	DS セレクト 食	サバの梅鯉煮：きのこ ハンバーグ	ハンバーグ自体の味がたりな かった。また、鶏肉のためパサ ついていた。
6	9 (木)	DS セレクト 食	鶏肉のネギ味噌焼き： 魚と野菜の炒め物	味付けは良かった。炒め物が ボリュームがあったため、器 の選定や盛り付けに工夫が必要。
	15 (水)	特養・DS セレ クト食	赤魚の生姜煮：和風ミ ートローフ	美味しく出来ていた。
	21 (火)	ごつつおの日	巻き寿司・筑前煮・大 根の香り和え・あおさ 汁・マンゴープリン	巻き寿司を喜ばれた。赤い色 があると映えたのではない か。
	24 (金)	DS セレクト 食	ソースとんかつ：鮭の マスタード焼き	鮭は焼き色もあり、見た目も 良かった。
	27 (月)	DS セレクト 食	鶏肉みそマヨネーズ 焼き：赤魚の野菜の炒 め物	赤魚の野菜の炒め物は、赤魚 の味が馴染んでなくまとまり がなかった。
	28 (火)	お弁当の日	チキンピラフ・はんぺ んフライ・卵焼き・肉 団子の甘酢炒め・華焼 売・ゴーヤサラダ・さ つま芋のレモン煮・卵 スープ・フルーチェ	昨年お弁当の日に変更してから 内容がほぼ同じで、楽しみ が半減していた。今までの内 容を少し変更してもらい楽し んでいただきた事を提案 し、少し変更になった。
7	5 (火)	特養・DS セレ	魚のパン粉焼き：鶏肉	パン粉焼きの白身魚が泥臭か

		クト食	と里芋のみそ煮	った。
	7 (木)	七夕	ちらし寿司・煮しめ・ 冷し卵豆腐あんかけ・ そうめん汁・抹茶ゼリ ー	ちらし寿司のでんぶがかたま っており甘かった。寿司自体 が甘く、でんぶがより甘く感 じたのかもしれない。煮しめ の量が多かった。
	13 (水)	DS セレクト 食	さばのみそ煮：ソース とんかつ	サバの味噌煮は塩味が強く甘 みが足りなかった。
	21 (木)	DS セレクト 食	じゃが芋入りオムレ ツ：鮭のみそ焼き	鮭のみそ焼きは味は良いが色 が良くなかった。
	22 (金)	特養ごっつお の日	赤山海老とトウモロ コシのかき揚げ・ごま 豆腐・冬瓜スープ・マ ンゴープリン	赤山海老のかき揚げは好評だ った。
	22 (金)	DS ごっつお の日	冷しそば・赤山海老と トウモロコシのかき 揚げ・ごま豆腐・冬瓜 スープ・マンゴープリ ン	全体的に量が多かったが、喜 ばれた。トウモロコシのかき 揚げの衣が厚かった。そばの 薬味のワサビを小皿で提供し たが、全部入れて辛かったと の声が数件あり、次回より好 みで使用いただくようにす る。
	23 (土)	土用丑の日	うな井	喜ばれた。
	29 (金)	DS セレクト 食	魚の野菜あんかけ：大 根と豚バラの煮物	野菜あんかけの色見が薄く、 映える色があれば良いのでは ないか。
8	1 (月)	DS セレクト 食	豚肉のごまみそ焼き： 赤魚のごま浸し	豚肉は味がしっかりついて美 味しく出来ている。赤魚を調 味液がもう少し絡んだ方が美 味しかった。
	9 (火)	DS セレクト 食	魚のクリームソース： 鶏のから揚げ	鶏のから揚げは皮が多い部分 があり硬く感じた。
	15 (月)	お盆（精進料 理）	いなり寿司・煮しめ・ ごま豆腐・すまし汁・ コーヒーゼリー	いなり寿司は酢飯を詰め込み 過ぎていた。煮しめは量が多 かった。
	17 (水)	DS セレクト 食	千草焼き：サバのかば 焼き	付け合わせと小鉢の彩りが同 じだった。
	23 (火)	ごっつおの日	おにぎり・とろろうどん・夏野菜と魚の酢漬 け・杏仁豆腐	DS にてうどんが硬いとの声 があった。だしはもう少し濃 くてよかった。酢漬けは彩り 良いとの声をいただいた。

	25 (木)	DS セレクト食	鮭のマスタード焼き： トマトの卵炒め	味は良かったが、卵の塊が卵焼きのようであった。
	31 (水)	お弁当の日	とうもろこし御飯・チーズハンバーグ・かき揚げ・卵焼き・がんもの煮物・ゴーヤサラダ煮豆・卵スープ・フルーチェ	とうもろこし御飯はバサついて、お弁当箱では食べにくかった。
9	2 (金)	DS セレクト食	かに玉生姜あんかけ： ゴーヤの天ぷら	彩りでかに玉を選ばれる方が多かった。ゴーヤ天ぷらは大きく、硬かった。
	5 (月)	DS セレクト食	肉じゃが：なすの重ね蒸し	両メニューに肉が使用しており、選択できない方もあった。
	13 (火)	DS セレクト食	さばの味噌煮：お好み焼き風卵焼き	ボリュームに差があり、卵焼きを選ばれる方が多かった。卵焼きの上ののっているマヨネーズの量が多かった。
	18 (日)	敬老会	いなり寿司・巻き寿司・刺身・煮込みハンバーグ・海老の天ぷら・ブリの照焼・錦糸卵の海老しんじょう・煮しめ・ぎせい豆腐あんかけ・胡瓜の酢の物・紫芋ようかん・鯛の吸物・ウクライナゼリー	松花堂弁当箱で提供。少し小ぶりだったため寿司が入らず別盛りとした。綺麗に盛り付けられていた。
	19 (月)	従来型ごっつおの日	赤飯・エビフライ・大根の辛子酢和え・茶碗蒸し・清汁・抹茶ババロア	赤飯を喜ばれた。
	19 (月)	DS 敬老お祝い膳	松茸御飯・エビフライ・大根の辛子酢和え・茶碗蒸し・松茸吸物・抹茶ババロア	松茸御飯の味が薄く塩で調整した。松茸が厚いとの指摘をいただいた。茶碗蒸しはダシの風味なく物足りなかった。松茸の吸物は故過ぎた。
	20 (火)	DS 敬老お祝い膳	松茸御飯・鮭とじゃが芋の甘辛バター炒め・春雨の酢の物・茶碗蒸し・松茸吸物・苺プリン	松茸御飯はもう一味足りず塩で調整した。主菜はバターと醤油をもう少し足すとより風味がでて美味しかったと感じた。酢の物の酢が強すぎた。

	21 (水)	DS 敬老お祝い膳	松茸御飯・ハンバーグ・白菜の香りとえ・茶碗蒸し・松茸吸物・ヨーグルトババロア	最終日。松茸の量が多かった。3 日間の割り振りが対応できていなかった様である。
	22 (木)	DS セレクト食	松風焼：サバの唐揚げ 卸しソース	サバの唐揚げはソースをたっぷりかけてある方が食べやすい。
	23 (金)	秋分の日	おはぎ	おはぎは喜ばれる。
	28 (水)	特養・DS セレクト食	魚のパン粉焼き：鶏肉 の大豆トマト煮	トマト煮の量が少なかった。
10	7 (金)	DS セレクト食	肉団子のコーンクリーム煮：エビチリ	美味しく出来ていた。
	10 (月)	特養・DS セレクト食	魚のたらも焼き：酢豚	美味しく出来ていた。
	12 (水)	外食の日	たいめいけん特製ハヤシライス	濃いハヤシライスを喜ばれた。
	14 (金)	ごっつおの日	赤飯・煮しめ・大根の 酢の物・清汁・マロン ババロア	美味しく出来ていた。
	18 (火)	DS セレクト食	とんかつ：ツナ玉あん かけ	ソースがウスターと中濃のいつもと変わらないソースのため代り映えしなかった。とんかつソースがよいのではないか。
	23 (日)	町祭	赤飯・煮しめ・なすの ごま和え・清汁・プリン	料理で秋祭り感を味わっていただいた。
	25 (火)	外食の日	ココイチ特製カレー	お店のカレー感があった。
	26 (水)	DS セレクト食	鶏肉と里芋のみそ豆 乳煮：揚げ豆腐の野菜 あんかけ	揚げ豆腐は淡泊な味のためだしの風味を効かせた方がよい。
	27 (木)	お弁当の日	栗御飯・鶏のきのこあん かけ・鰯フライ・卵 焼き・筑前煮・ほうれん 草錦糸和え・煮豆・ かき玉汁・フルーチェ	栗御飯のモチモチ感が強かった。
11	3 (木)	DS セレクト食	魚のきのこあんかけ： 蓮根つくね	蓮根つくねは蓮根形にすると楽しみ感も増したのではないか。
	11 (金)	特養・DS セレクト食	肉団子のコーンクリーム煮：魚のフライタ	タルタルソースが塩辛かった。

			ルタルソース	
	15 (火)	DS セレクト食	赤魚のマスタード焼： 海老とトマトの卵炒め	卵炒めはトマトの量が少なく 風味が足りなかった。
	18 (金)	お弁当の日	海老ピラフ・ささみフ ライ・卵焼き・なすの 揚げ浸し・さつま芋の レモンバター煮・春菊 のピーナッツ和え・煮 豆・卵スープ・フルー チェ	ピラフは箸では食べにくそう であった。DS にもスプーンが 必要である。
	21 (月)	DS セレクト食	赤魚の味噌漬け焼き： 鶏の唐揚げ卸しソー ス	量的に差があった。鶏の唐揚 げは硬かった。
	24 (木)	ごっつおの日	天ぷら・大根の酢の物 茶碗蒸し・清汁・抹茶 ババロア	3 種類（がね揚げ・舞茸・海老 のかき揚げ）の天ぷらでボリ ュームがあった。
	30 (水)	DS セレクト食	大根と豚バラの煮物： 魚の香り天ぷら	大根の煮物は味が薄かった。 また、盛り付けにバラつきが あった。（肉が多く大根が少な い）魚は衣が厚く硬かった。
12	8 (木)	DS セレクト食	銀だらのゆず味噌焼： 卵の袋煮	銀だらは柔らかく食べやすか った。卵の袋煮を選ばれる方 が多かった。量や彩りも関係 するのか。
	16 (金)	DS セレクト食	金目鯛のごま酢ソー ス：豆乳シチュー	魚の方への偏りがあった。シ チューはブロッコリーが硬 く、一部じゃが芋が硬い物が あった。
	19 (月)	DS セレクト食	厚揚げと大根の甘辛 煮：魚の甘酢炒め	ボリュームに差があった。
	25 (日)	クリスマス	チキンライス・ハンバ ーグ・スパゲティーサ ラダ・コンソメスー プ・苺プリン	特養だけのクリスマスメニュ ーとなった。
	26 (月)	DS 忘年会	ひじきの炊き込み御 飯・天ぷら・大根の酢 の物・茶碗蒸し・あお さ汁・マンゴープリン	ひじき御飯は味が薄かったた め塩で調整した。
	27 (火)	DS 忘年会	焼きサバの炊き込み 御飯・おでん・パンサ	おでんの量が多かった。

			ンスー・茶碗蒸し・清汁・苺ババロア	
	28 (水)	DS 忘年会	ビビンバ風炊き込み御飯・チキン南蛮・ブロッコリー華風和え・茶碗蒸し・ワカメスープ・ヨーグルトババロア	食材は後からの混ぜ込み。野菜がやわらか過ぎた。味は良かった。
	29 (木)	特養・DS セレクト食	揚げ豆腐のきのこあんかけ：挽肉のパン粉焼き	美味しく出来ていた。
	30 (金)	DS 年越しそば	天ぷらそば	つゆが薄かった。
	31 (土)	特養年越しそば	そば汁	感染症対応の年越しとなった。
1	1 (日)	お節料理	ちらし寿司・ブリの照焼・煮しめ・伊達巻・数の子・かまぼこ・なます・お多福豆・羊羹・淡雪・栗きんとん・海老つみれ汁・苺	感染症対応で、敬老会に使用した松花堂弁当箱(在庫)を利用した。
	4 (水)	DS セレクト食	金目鯛のたらこクリーム：厚揚げと大根の甘辛煮	魚の味が薄かった。
	7 (土)	七草がゆ	七草がゆ	季節感を感じていただけたのではないか。
	13 (金)	DS セレクト食	とんかつ：シーフードシチュー	シーフードシチューは味が薄く、じゃが芋・ブロッコリーが硬かった。
	17 (火)	DS セレクト食	鮭のマスタードソース：酢豚	マスタードソースは少し甘みが強かった。
	19 (木)	お弁当の日	トルコライス・コールスローサラダ・卵スープ・フルーチェ	一皿に盛り合わせるメニューで、いつもと違いご馳走感があった。
	23 (月)	DS セレクト食	和風ミートローフ：アジフライ	アジフライは身が厚く締まった感じだった。
	25 (水)	特養ごっつおの日	魚のかぶら蒸し・白和え・きのこ汁・抹茶ババロア	魚の生臭さがあった。
	25 (水)	DS ごっつおの日	刺身・筑前煮・白和え・鯛の吸物・抹茶ババロア	刺身を大変喜ばれ、お代わりをされていた。

			ア	
	31 (火)	DS セレクト食	かに玉中華あんかけ： ポークチャップ	かに玉に偏った。ポークチャップは見た目に彩りがなかったためか。
2	3 (金)	節分	ちらし寿司・さばの生姜煮・大根サラダ・呉汁・抹茶ゼリー	ちらし寿司を喜ばれた。
	8 (水)	特養・DS セレクト食	銀だらの梅マヨ焼き： お好み焼き風卵焼き	両方にマヨネーズが使用されており、味が変わった方がよいとの意見をいただいた。
	13 (月)	お弁当の日	パエリア風御飯・和風ハンバーグ・スパゲティ・揚げなす・ブロッコリーサラダ・煮豆・卵スープ・フルーチェ	アエリア風御飯は味が薄かった。卵スープは焦げた風味があった。
	16 (木)	DS セレクト食	金目鯛の幽庵焼き：肉みそあんかけ豆腐	ボリュームに違いがあった。
	23 (木)	ごつつおの日	ぶり大根・春菊の白和え・茶碗蒸し・清汁・苺ババロア	ぶり、大根共に一口大にカットしてあり食べやすかった。ぶり大根は好評だった。
	24 (金)	DS セレクト食	とんかつ：トマトと海老の卵炒め	美味しく出来ていた。
	27 (月)	DS セレクト食	鮭のマスタードソース：白菜の重ね蒸し	ボリュームに違いがあった。白菜の重ね蒸しは、箸で切り分けるのに白菜が切れなかった。
3	3 (金)	ひな祭り	押し寿司・煮しめ・ほうれん草の梅ごま和え・そば汁・苺プリン	寿司の人参が水っぽかった。煮しめのじゃが芋の表面だけ味が濃かった。和え物は合わせ方の不備か、味があるところないところがあった。
	7 (火)	特養・DS セレクト食	魚の甘酢ソース：花しゅうまい	しゅうまいのタネがパサついていて味が無い。
	15 (水)	セレクト食	銀だらのゆず味噌焼き：とんかつの卵あんかけ	魚はみその味がしなかった。ボリュームに差があった。
	17 (金)	ごつつおの日	天ぷら・白和え・茶碗蒸し・清汁・ヨーグルトババロア	「ご馳走」と喜ばれた。
	22 (水)	DS 開所記念	赤飯・煮しめ・刺身・	赤飯がいつもやわらか過ぎる

		日	鯛の吸物・マンゴーブリン	ため水分量を調整。丁度良い硬さで提供できた。
	23 (木)	DS セレクト食	豚肉の韓国風照焼：春菊のかき揚げ	春菊が噛み切りにくいものがあつた。
	28 (火)	花見弁当	梅しそ御飯・ミートローフ・かき揚げ・卵焼き・大根金平・ブロッコリー・錦糸和え・煮豆・かき玉汁・桜ゼリー	御飯は型押しされていて、盛り付けで空間ができ寂しい感じがあつた。また、力加減が硬くなつていた。ミートローフはパサついていた。桜も満開で天気も良く、特養では数名づつ外で食べられ笑顔があつた。
	31 (金)	DS セレクト食	白身魚のたらも焼き：麻婆なす	なすの皮が硬かつた。

(4) 通所介護

No.	期 日	行 事 名	出席者数	備 考
1	R4.4.1	ごつつおの日 (ちらし寿司、かき揚げ、白和え)	21 人	
2	R4.5.5～6	菖蒲湯	25 人 27 人	
3	R4.5.11	手作りの日 (フレンチトースト)	23 人	
4	R4.5.16	ごつつおの日 (たけのこ御飯)	23 人	
5.	R4.5.27	スイーツの日 (ぼたもち)	26 人	
6	R4.6.8	手作りの日 (白玉ぜんざい)	24 人	
7	R4.6.16	スイーツの日 (くずもち)	27 人	
8	R4.6.20～	七夕 (飾りつけ含む)		
9	R.4.6.21	ごつつおの日 (巻きずし)	20 人	
10	R4.7.14	手作りの日 (フルーツポンチ)	25 人	
11	R4.7.22	ごつつおの日 (冷やしそば・かき揚げ)	23 人	
12	R4.7.25	スイーツの日 (和菓子)	20 人	
13	R4.8.11	手作りの日 (ところてん)	19 人	
14	R4.8.23	ごつつおの日 (とろろうどん)	19 人	
15	R4.8.29 ～ 31	スイーツの日 (かき氷)	23 人 22 人 19 人	
16	R.4.9.9	手作りの日 (みたらし団子)	26 人	
17	R4.9.15	スイーツの日 (おはぎ)	23 人	
18	R4.9.19 ～ 21	ごつつおの日 (敬老会行事) 松茸ご飯・エビフライ 松茸ご飯・鮭とじゃが芋の 甘辛バター炒め	21 人 20 人	

		松茸ご飯・ハンバーグ	21 人	
19	R4.10.5	手作りの日 (芋ぜんざい)	22 人	
20	R4.10.14	ごつつおの日 (秋祭り・赤飯・煮しめ)	21 人	
21	R4.10.18	スイーツの日 (ショートケーキ)	21 人	
22	R4.11.8	手作りの日 (茶巾しぼり)	20 人	
23	R4.11.14	スイーツの日 (モンブランケーキ)	23 人	
24	R4.11.17	干し柿作り	21 人	
25	R4.11.24	ごつつおの日 (天ぷら・茶わん蒸し)	21 人	
26	R4.12.15	スイーツの日 (あんまん・肉まん)	21 人	
27	R4.12.22	手作りの日 (クリスマスケーキ)	21 人	
28	R4.12.21～ 23	ゆず湯	16 人 21 人 22 人	
29	R4.12.26～ 28	ごつつおの日 (忘年会行事) ひじき炊き込み御飯 焼き鯖の炊き込み御飯 ビビンバ風炊き込み御飯	22 人 17 人 15 人	
30	R5.1.10	手作りの日(ぜんざい)	13 人	
31	R5.1.20	スイーツの日 (赤巻き)	19 人	
32	R5.1.25	ごつつおの日 (刺身)	13 人	
33	R5.2.3	節分豆まき	23 人	
34	R5.2.6	手作りの日 (生チョコづくり)	25 人	
35	R5.2.14	スイーツの日 (バレンタインデー・チョコ盛り合わせ)	19 人	
36	R5.2.23	ごつつおの日 (ぶり大根)	23 人	
37	R5.3.3	ひな祭り行事 (甘酒・雛あられ)	25 人	
38	R5.3.8	手作りの日 (プリン)	19 人	
39	R5.3.14	スイーツの日 (ホワイトデー・クッキーなど盛り合わせ)	20 人	
40	R5.3.17	ごつつおの日 (天ぷら・茶わん蒸し)	24 人	

(5) グループホーム

No.	期 日	行 事 名	出席 者数	備 考
1	4 月 1 日～ 4 月 3 日	桜の花見ドライブ・散策	9 名	
2	4 月 16 日 ～4 月 24 日	つつじの花見ドライブ・散策	9 名	
3	5 月 3 日～ 5 月 5 日	菖蒲湯	9 名	
4	5 月 18 日	森藤マサエ様 100 歳誕生会	9 名	
5	5 月 31 日	堀江ミスエ様誕生会	9 名	
6	6 月 2 日～	二間戸竹本様宅菖蒲園見学	9 名	

	6月7日			
7	6月18日 ～20日	ラッキョウ漬け作り	9名	
8	6月20日 ～	梅干し作り	9名	
9	6月20日	井上フミ子様誕生会	9名	
10	6月24日 ～	七夕飾り作り	9名	
11	7月7日	七夕行事食	9名	
12	7月22日	かき氷作り（白くま）	9名	
13	7月28日	田上カホル様、直理シヅコ様誕生会	9名	
14	8月13日	お盆精進料理	9名	
15	9月10日	十五夜お月見・行事食	9名	
16	9月20日	敬老会	9名	
17	9月23日	お彼岸・おはぎ作り	9名	
18	9月28日	木下ハル子様誕生会	9名	
19	10月23日	町祭行事食作り	9名	
20	10月28日	だご汁作り	9名	
21	11月10日	蓑下フミエ様 100歳誕生会	9名	
22	12月22日	冬至（ゆず湯、行事食）	8名	
23	12月24日	クリスマス（行事食、ケーキ作り）	8名	
24	12月31日	大晦日行事食	7名	
25	1月1日	元旦 お節料理 初詣	7名	
26	1月4日	本田都子様誕生会	7名	
27	1月7日	七草粥	8名	
28	1月11日	鏡開き ぜんざい作り	8名	
29	2月3日	節分 豆まき 行事食	8名	
30	2月12日	山下ハツエ様誕生会	9名	
31	2月14日	バレンタインデー チョコレートケーキ作り	8名	
32	3月3日	桃の節句 行事食	8名	
33	3月14日	フルーツどら焼き作り	9名	
34	3月21日	お彼岸 牡丹餅作り	9名	
35	3月28日 ～3月30日	桜の花見外出・散策	8名	

V. 研修会議等

【1】施設内研修

(1) 総務

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1	R 4. 4.25	(1)感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練 (2)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修及び訓練	①新型コロナウイルス感染症 多数陽性者発生時シミュレーション研修 ②个人防护具(PPE)着用手順・脱衣手順の確認 ③その他	45 名	デイサービスセンター
2	R 4. 5.25	(1)感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練	①感染症の知識と感染源の排除 ②標準予防策(スタンダードプリコーション) (①②はお茶の水フォローアップ研修ネット配信) ③土砂災害に関する避難確保計画(避難確保計画：グループホームひめどは対象外)	40 名	デイサービスセンター
3	R 4. 6.15	(1)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する訓練 (2)非常災害対策に係る訓練	シェイクアウト訓練	48 名	全館
4	R 4. 6.24	(1)事故発生防止のための従業者に対する研修	①介護施設における安全対策強化研修(お茶の水フォローアップ研修ネット配信) ②高齢者施設における肝炎対策ガイドライン	46 名	デイサービスセンター
5	R 4. 7.25	(1)メンタルヘルスケアに関する研修 (2)感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練 (3)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修及	①心を軽くするアンガーマネジメント(お茶の水フォローアップ研修ネット配信) ②新型コロナ感染症鯛S買う研修(感染症対策个人防护具着脱演習、高齢者施設頭位置ける新型コロナ感染症対策の徹底について、BCP)	43 名	デイサービスセンター

		び訓練			
6	R 4. 8.25	(1) 認知症ケアに関する研修 (2) 虐待の防止のための従業者に対する研修 (3) 身体的拘束等の適正化のための従業者に対する研修 (4) 褥瘡対策に関する継続的職員教育	①認知症ケア、高齢者虐待防止・身体的拘束適正化について(令和4年度介護サービス事業者等集団指導資料) ②褥瘡予防のための状況別ボジショニング(お茶の水フォローアップ研修ネット配信)	25 名	デイサービスセンター
7	R 4. 9.24	(1)非常災害対策に係る訓練	防災訓練(夜)	38 名	全館
8	R 4. 9.26	(1)認知症ケアに関する研修	認知症 BPSD(行動心理症状・周辺症状)(お茶の水フォローアップ研修ネット配信)	38 名	デイサービスセンター
9	R 4.10.18	(1)看取りに関する研修	偲ぶ会(ユニット型特養)	11 名	地域交流スペース
10	R 4.10.25	(1)メンタルヘルスケアに関する研修	①ケア従事者の為のハラスメント構造の理解とその対処方法(お茶の水フォローアップ研修ネット配信)	37 名	デイサービスセンター
11	R 4.11. 2	(1)非常災害対策に係る訓練	シェイクアウト訓練	48 名	全館
12	R 4.11.20	(1)看取りに関する研修	偲ぶ会(従来型特養)	9 名	デイサービスセンター
13	R 4.11.25	(1)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修及び訓練 (2)非常災害対策に係る訓練 (3)事故発生防止のための従業者に対する研修	①介護保険施設における安全対策強化研修(お茶の水フォローアップ研修ネット配信) ②BCP 研修	37 名	デイサービスセンター
14	R 4.12.26	(1) 身体的拘束等の適正化のための従業者に対する研修 (2)虐待の防止のための従業者に対する研修	①高齢者虐待・身体的拘束適正化 ・社会福祉法人姫戸福祉会 虐待防止のための指針の作成について ・虐待に関する報道	32 名	デイサービスセンター

15	R 5. 2. 1	(1)感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練	①感染症・食中毒 研修 ・インフルエンザ・ノロウイルス対応 ・職員の健康観察 ・介護現場の衛生管理 (お茶の水フォローアップ研修 ネット配信) ②感染症・食中毒 訓練 居宅系：嘔吐発生時の対応について 入所系：感染疑い者の発生から感染確定後の初期対応について	43 名	デイサービス センター・ グループホーム
16	R 5. 2.24	(1)看取りに関する研修	①人生会議(ACP：アドバンス・ケア・プランニング) (厚生労働省：国民向け普及・啓発事業作成動画)	13 名	デイサービス センター
17	R 5. 3.24	(1)非常災害対策に係る訓練	防災訓練(昼)	43 名	全館

(2) 生活相談員(介護支援専門員)

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1	R 4. 4.19 R 5. 5.10	LIFE 研修会①	①加算、LIFE の仕組み(概要) ②排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画	14 名 13 名	デイサービスセンター ユニット棟
2	R 4. 5.18 R 4. 6.16	LIFE 研修会②	①栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング ②科学的介護推進に関する評価	12 名 11 名	デイサービスセンター
3	R 4. 6.20 R 4. 7.18	LIFE 研修会③	褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書	15 名 9 名	デイサービスセンター
4	R 4. 7.11 7.13	医療的ケアに関する研修	① 喀痰吸引実技研修 等	15 名	本館 2 階
5	R 5. 2. 9 2.13 2.28	医療的ケアに関する研修	① 口腔内のたんの吸引手順等	15 名	本館 2 階

(3) 従来型特養

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
-----	-----	-------	---------	------	-----

1	R4.6.17	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1 名	
2	R4.7.15	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1 名	
3	R4.11.4	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1 名	
4	R4.12.2	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1 名	
5	R5.2.3	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1 名	
6	R5.3.3	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1 名	

(4) グループホーム

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1	4 月 22 日	認知症対応型共同生活介護集団指導勉強会	認知症対応型共同生活介護令和 4 年 1 月資料を用いて基準等について	8 名	
2	4 月 20 日～ 6 月 6 日	1 リフト操作、 2 zoom 使用手順について	施設車輛車椅子用リフト操作方法について Zoom 使用手順について	9 名	
3	6 月 17 日	高齢者支援を行う対人援助職の倫理	お茶の水ケアサービス学院・介護フォローアップ研修・ネット配信より	3 名	
4	9 月 20 日	1 防災訓練 2 自主防災訓練	姫戸医院と合同で火災発生時の避難訓練実施 火災受信機操作訓練 防災点検	5 名	
5	1 月 26 日～ 27 日	血糖値測定方法	血糖値測定及びインシュリン注射支援研修	7 名	
6	2 月 17 日～ 22 日	自主防災訓練	火災受信機操作訓練 火災発生時の避難誘導訓練	7 名	
7	3 月 7 日	看取りケア研修	姫戸医院看護師による研修 「看取り期のケアについて」	7 名	
8	3 月 17 日	1 防災訓練 2 自主防災訓練	姫戸医院合同防災訓練 火災受信機操作訓練 防災点検	5 名	

令和4年度出張・研修実績

No.	月 日	部所	出張用件	場 所	出張者	人員	旅費	研修費	備考(復命書)
1	4月	HS	県ヘルパー協議会理事会	Zoom	前森		1	0	
2	5月	従特	全国老施協LIFE研修プログラムオンデマンド研修動画	動画視聴	松下		1	0	
3	6月	デイ	令和4年度介護サービス事業者等集団指導	Zoom	堀江 尾崎	2		0	
4	6月	HS	令和4年度介護サービス事業者等集団指導	Zoom	前森	1		0	
5	6月	従特	令和4年度介護サービス事業者等集団指導	Zoom	松下 小西	2		0	
6	6月	従特	全国老施協LIFE研修プログラムオンデマンド研修動画	動画視聴	松下	1		0	
7	6月	グループホーム	令和4年度熊本県地域密着型サービス連絡会研修会	Zoom	出口	1		0	
8	6月	グループホーム	上天草高校認知症サポーター養成講座(講師)	上天草高校	出口	1		0	
9	6月	HS	熊本県ヘルパー協議会 前期研修会	Zoom	出口	1		0	
10	7月	総務	認知症サポーター養成講座：姫戸小学校4年生	姫戸小学校	松下	1		0	
11	7月	居宅	認知症サポーター養成講座：姫戸小学校4年生	姫戸小学校	山下貴 橋本	2		0	
12	7月	ユ特	第18回認知症に関わる多職種連携会議	Zoom	花田豪	1		0	
13	7月	従特	第18回認知症に関わる多職種連携会議	Zoom	小西	1		0	
14	7月	居宅	第18回認知症に関わる多職種連携会議	Zoom	山下貴 北垣	2		0	
15	7月	デイ	第18回認知症に関わる多職種連携会議	Zoom	堀江 尾崎	2		0	
16	8月	ユ特	熊本県老人福祉施設モチベーションアップ研修会(初任者編)	Zoom	田中	1		3,000	
17	8月	総務	熊本県老人福祉施設LIFE研修会	Zoom	松下 小西	2		0	
18	8月	デイ	熊本県老人福祉施設LIFE研修会	Zoom	堀江	1		0	
19	8月	ユ特	介護職員初任者研修(講師)		花田	1		0	
20	8月	在介	介護職員初任者研修(講師)		橋本	1		0	
21	9月	ユ特	認知症介護実践者研修	Zoom	宮下	1		35,000	
22	9月	デイ	認知症介護実践者研修	Zoom	尾上	1		35,000	
23	9月	在介	令和4年度第2回九州厚生局地域共生セミナー「農福連携」	オンライン研修	橋本	1		0	
24	9月	総務	自立支援型ケアマネジメント研修	上天草市庁舎	山下貴 北垣	2		0	
25	9月	居宅	熊本県こども食堂等応援事業 第1回講習会	Zoom	施設長 北垣	2		0	
26	9月	居宅	電動アシスト付き歩行器とその活用法について	Zoom	北垣	1		0	
27	10月	従特	上天草総合病院地域連携会議	Zoom	松下 小西	2		0	
28	10月	居宅	上天草総合病院地域連携会議	Zoom	山下貴	1		0	
29	10月	従特	熊本県介護福祉士会天草支部第2回研修会	天草市民センター	野村 小西	2		0	
30	10月	ユ特	熊本県介護福祉士会天草支部第2回研修会	天草市民センター	花田 清水	2		0	
31	10月	総務	生計困難者レスキュー事業に係る訪問	松島		1		0	
32	10月	ユ特	認知症介護実践者研修	Zoom	宮下	1		0	
33	10月	居宅	認知症介護研究・研修センター合同研究成果報告	動画研修	北垣	1		0	
34	10月	グループホーム	介護職員初任者研修(講師)		出口	1		0	
35	10月	グループホーム	社会福祉士通信課程施設実習		和田	1			
36	11月	総務	ケアテック福岡22'	福岡メリンメッセ	施設長	1		0	
37	11月	従特	ケアテック福岡22'	福岡メリンメッセ	野村 小西			0	
38	11月	ユ特	ケアテック福岡22'	福岡メリンメッセ	花田	3	23,727	0	

【2】施設外研修

令和4年度出張・研修実績

No.	月 日	部所	出張用件	場 所	出張者	人員	旅費	研修費	備考(復命書)
39	11月	総務	生計困難者レスキュー事業に係る訪問	松島	松下		1		
40	11月	総務	介護就職デイ	本渡	施設長 小西		2		
41	11月	総務	認知症サポーター養成講座：松葉祇園会	松島	松下		1		
42	11月	総務	第21回上天草総合病院地域連携会議	Zoom	松下 小西		2		
43	11月	居宅	第21回上天草総合病院地域連携会議	Zoom	山下貴 北垣		2		
44	11月	従特	上天草ちいきKAIGO・REBORN・PROJECT第1回サポーターズミーティング	Zoom	松下		1		
45	11月	ユ特	認知症介護実践者研修	Zoom	宮下		1		
46	11月	デイ	認知症介護実践者研修	Zoom	尾上		1		
47	11月	居宅	データから見る介護予防、自立支援・重度化防止に関する研修会		山下貴 北垣		2		
48	11月	居宅	適切なケアマネジメント手法実践セミナー	動画研修	北垣		1		
49	11月	在介	レクリエーション研修	動画研修	橋本		1		
50	11月	グループホーム	社会福祉士通信課程施設実習		和田		1		
51	11月	グループホーム	認知症サポーター養成講座：松島中学校	松島中学校	出口		1		
52	11月		第1回ISOサーベイランス審査						
53	12月	居宅	こども食堂 上天草市子育て支援課との顔合わせ		施設長 北垣		2		
54	12月	従特	天特連第1回施設長・副施設長・事務長会議		施設長 松下		2		
55	12月	デイ	認知症介護実践者研修	Zoom	尾上		1		
56	12月	在介	第2回家族介護教室	地域交流スペース	北垣		1		
57	12月	在介	天草圏域生活支援コーディネーター等活動情報交換会		橋本		1		
58	12月	在介	こども食堂 打ち合わせ：姫戸ひかり保育園	姫戸ひかり保育園	北垣		1		
59	12月	在介	第3回みつば会		橋本		1		
60	12月	在介	オンライン福祉用具勉強会	オンライン研修	北垣		1		
61	12月	グループホーム	社会福祉士通信課程施設実習		和田		1		
62	1月	居宅	熊本県介護支援専門員協会・熊本県歯科医師会合同企画研修会	Zoom	山下		1		
63	1月	従特	認知症に関わる多職種連携会議(	Zoom	松下 小西		2		
64	1月	居宅	認知症に関わる多職種連携会議(	Zoom	山下貴 北垣		2		
65	1月	居宅	第10回認知症疾患医療センター全国研修会高知大会	Zoom	北垣		1		
66	2月	総務	上天草市在宅医療・介護連携推進協議会研修会	Zoom	施設長 松下 小西		3		
67	3月	ユ特	介護職員初任者研修：上天草高校(講師)	上天草高校	花田		1		
68	3月	ユ特	福祉用具展示会	本渡	花田		1		
69	3月	従特	福祉用具展示会	本渡	野村		1		
70	3月	在介	天草地域リハビリテーション広域支援センター研修会	Zoom	橋本		1		
71	3月	在介	認知症サポーター養成講座：団地婦人会	団地	橋本		1		
72	3月	在介	引きこもり等啓発講座	松島庁舎	北垣 橋本		2		
73	3月	従特	第11回上天草市企業説明会	上天草高校	松下 小西		2		
74	3月	ユ特	第12回上天草市企業説明会	上天草高校	宮下		1		
75	3月	HS	指定障害福祉サービス事業者等集団指	Zoom	前森		1		
76	3月	従特	指定障害福祉サービス事業者等集団指	Zoom	松下 小西		2		

【3】会議

(1) 総務

① 職員会議

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 5. 3.31	① 新入職員・異動職員の紹介 ② 令和5年度 事業経営計画（概要） ③ 実績考課に伴う面接の実施等 ④ 資格取得の意向調査 ⑤ 独立行政法人福祉医療機構退職共済制度 ⑥ その他 新型コロナウイルス感染症に係る応援派遣意向調査 ⑧ 令和5年度事業経営計画について(各部署)	46名	デイサービスセンター

② 主任者会議

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.18	① 前月議事録の確認、確定 ② 内部・外部監査の結果、予定 ③ 顧客に関する情報 不適合サービス（意見・苦情）の状況 ④ 各部署の実施状況および課題 教育訓練、行事、不適合サービス（事故）の状況、予算達成状況、ヒヤリ・はっと状況、部門別利用状況、委員会活動、事業計画の進捗状況・会議、身体拘束廃止 ⑤ 改善の進捗状況 是正・予防処置 ⑥ 前回までの運営管理責任者の指示事項に関する報告 ⑦ 法規制・市場の変化 ⑧ 改善のための提案 事故発生防止委員会報告、来月の定例会議日程、各部署退勤時間、各部署からの課題・問題 等	11名	Zoom 会議
2	R 4. 5.16	上記 ①～⑧	9名	Zoom 会議
3	R 4. 6.16	上記 ①～⑧	12名	Zoom 会議
4	R 4. 7.18	上記 ①～⑧	12名	Zoom 会議
5	R 4. 8.16	上記 ①～⑧	11名	Zoom 会議
6	R 4. 9.16	上記 ①～⑧	11名	Zoom 会議
7	R 4.10.18	上記 ①～⑧	10名	Zoom 会議
8	R 4.11.17	上記 ①～⑧	12名	Zoom 会議

9	R 4.12.16	上記 ①～⑧	12 名	Zoom 会議
10	R 5. 1.17	上記 ①～⑧	11 名	Zoom 会議
11	R 5. 2.16	上記 ①～⑧	11 名	Zoom 会議
12	R 5. 3.16	上記 ①～⑧	12 名	Zoom 会議

(2) 生活相談員（介護支援専門員）

① ボランティア連携会議

なし

② 入所検討委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 6.28	【第 91 回入所検討委員会】 ① 入所希望者名簿に基づく入所順位の決定 等	5 名	ユニット棟 1 階エントランスホール
2	R 4. 8.31	【第 92 回入所検討委員会（書面審議）】 ① 入所希望者名簿に基づく入所順位の決定 等	6 名	
3	R 4.11.16	【第 93 回入所検討委員会（書面審議）】 ① 入所希望者名簿に基づく入所順位の決定 等 ② 特例入所に関する意見照会 1 名	7 名	
4	R 5. 2. 17	【第 94 回入所検討委員会（書面審議）】 ① 入所希望者名簿に基づく入所順位の決定 等	7 名	
5	R 5. 3.31	【特例入所に関する意見照会】 1 名	7 名	

③ サービス向上会議

【従来型特養：こもれび】

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.21	① 栄養ケア計画 評価 ② 機能訓練計画 評価 ③ 介護に関する評価 ④ 看護に関する評価 ⑤ LIFE 評価 ⑥ 施設サービス計画 評価 等	7 名	Zoom 会議
2	R 4. 5.20	上記 ①～⑥	5 名	Zoom 会議
3	R 4. 6.21	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
4	R 4. 7.21	上記 ①～⑥	4 名	Zoom 会議
5	R 4. 8.22	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
6	R 4. 9.20	上記 ①～⑥	4 名	Zoom 会議
7	R 4.10.24	上記 ①～⑥	8 名	Zoom 会議
8	R 4.11.21	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
9	R 4.12.21	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議

10	R 5. 1.26	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
11	R 5. 2.20	上記 ①～⑥	5 名	Zoom 会議
12	R 5. 3.21	上記 ①～⑥	5 名	Zoom 会議

【従来型特養：こころ】

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.22	① 栄養ケア計画 評価 ② 機能訓練計画 評価 ③ 介護に関する評価 ④ 看護に関する評価 ⑤ LIFE 評価 ⑥ 施設サービス計画 評価 等	6 名	Zoom 会議
2	R 4. 5.23	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
3	R 4. 6.22	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
4	R 4. 7.22	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
5	R 4. 8.23	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
6	R 4. 9.22	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
7	R 4.10.21	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
8	R 4.11.22	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
9	R 4.12.23	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
10	R 5. 1.23	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
11	R 5. 2.21	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
12	R 5. 3.23	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議

【従来型特養：だんだん】

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.25	① 栄養ケア計画 評価 ② 機能訓練計画 評価 ③ 介護に関する評価 ④ 看護に関する評価 ⑤ LIFE 評価 ⑥ 施設サービス計画 評価 等	7 名	Zoom 会議
2	R 4. 5.24	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
3	R 4. 6.24	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
4	R 4. 7.25	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
5	R 4. 8.24	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
6	R 4. 9.23	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
7	R 4.10.25	上記 ①～⑥	8 名	Zoom 会議
8	R 4.11.23	上記 ①～⑥	8 名	Zoom 会議

9	R 4.12.20	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
10	R 5. 1.24	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
11	R 5. 2.23	上記 ①～⑥	5 名	Zoom 会議
12	R 5. 3.24	上記 ①～⑥	4 名	Zoom 会議

④ 感染症対策委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4. 5	① 新型コロナウイルス感染症の現状について ② 入所者・利用者・面会者等への対応について ③ 職員の対応等について ④ その他	9 名	Zoom 会議
2	R 4. 5. 3	上記 ①～④	11 名	Zoom 会議
3	R 4. 5.16	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	9 名	Zoom 会議
4	R 4. 6.16	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	12 名	Zoom 会議
5	R 4. 7.18	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	12 名	Zoom 会議
6	R 4. 7.31	① 新型コロナ感染症の陽性者の発生について ② 今後の対応について	7 名	Zoom 会議
7	R 4. 8.16	4 月と同審議事項	11 名	Zoom 会議
8	R 4. 9.16	4 月と同審議事項	11 名	Zoom 会議
9	R 4.10.18	4 月と同審議事項	10 名	Zoom 会議
10	R 4.11.17	4 月と同審議事項	12 名	Zoom 会議
11	R 4.12.13	① ユニット棟での新型コロナ感染症陽性者の発生について ② 今後の対応について	8 名	Zoom 会議
12	R 4.12.16	4 月と同審議事項	12 名	Zoom 会議
13	R 4.12.31	① 従来型特養での新型コロナ感染症陽性者の発生について ② 今後の対応について	8 名	Zoom 会議
14	R 5. 1. 3	上記 ①～② 9 時～ 9 時 30 分	4 名	Zoom 会議
15	R 5. 1. 3	上記 ①～② 15 時～15 時 20 分	4 名	Zoom 会議
16	R 5. 1. 4	上記 ①～② 10 時～10 時 50 分	9 名	Zoom 会議
17	R 5. 1. 4	上記 ①～② 15 時～15 時 25 分	8 名	Zoom 会議
18	R 5. 1. 5	上記 ①～② 10 時～10 時 20 分	9 名	Zoom 会議
19	R 5. 1. 5	上記 ①～② 15 時～15 時 30 分	9 名	Zoom 会議
20	R 5. 1. 6	上記 ①～② 10 時～10 時 20 分	7 名	Zoom 会議
21	R 5. 1. 9	上記 ①～② 10 時～10 時 16 分	9 名	Zoom 会議
22	R 5. 1. 9	上記 ①～② 15 時～15 時 20 分	9 名	Zoom 会議
23	R 5. 1.10	上記 ①～② 15 時～15 時 15 分	9 名	Zoom 会議
24	R 5. 1.11	上記 ①～② 15 時～15 時 15 分	9 名	Zoom 会議
25	R 5. 1.17	上記 ①～④	11 名	Zoom 会議

26	R 5. 2.16	上記 ①～④	11 名	Zoom 会議
27	R 5. 3.16	上記 ①～④	12 名	Zoom 会議

⑤ 事故発生防止委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4. 7	① 前月の議事録確認 ② 不適合サービス前月分の再検討・是正処置の状況 ③ ヒヤリはっと前月分の再検討・予防処置の状況 ④ 当月分ヒヤリはっとの協議 ⑤ 当月分不適合サービスの協議 ⑥ 改善へ向けた提案 等	7 名	Zoom 会議
2	R 4. 5. 5	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
3	R 4. 6. 2	上記 ①～⑥	9 名	Zoom 会議
4	R 4. 7. 7	上記 ①～⑥	8 名	Zoom 会議
5	R 4. 8. 8	上記 ①～⑥	8 名	Zoom 会議
6	R 4. 9. 1	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
7	R 4.11. 8	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
8	R 4.10. 6	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議
9	R 3.12. 1	上記 ①～⑥	5 名	Zoom 会議
10	R 4. 2. 2	上記 ①～⑥	7 名	Zoom 会議
11	R 4. 3. 2	上記 ①～⑥	6 名	Zoom 会議

⑥ 褥瘡対策委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.13	① 褥瘡発生状況 ② 褥瘡ハイリスク者の状況 等	6 名	Zoom 会議
2	R 4. 5.18	上記 ①～②	8 名	Zoom 会議
3	R 4. 6.15	上記 ①～②（書面にて実施）	7 名	Zoom 会議
4	R 4. 7.13	上記 ①～②	5 名	Zoom 会議
5	R 4. 8.10	上記 ①～②	7 名	Zoom 会議
6	R 4. 9.14	上記 ①～②（書面にて実施）	7 名	Zoom 会議
7	R 4.10.12	上記 ①～②	6 名	Zoom 会議
8	R 4.11. 9	上記 ①～②	7 名	Zoom 会議
9	R 4.12.14	上記 ①～②	7 名	Zoom 会議
10	R 5. 1.18	上記 ①～②	6 名	Zoom 会議
11	R 5. 2.15	上記 ①～②	8 名	Zoom 会議
12	R 5. 3. 8	上記 ①～②	7 名	Zoom 会議

⑦ 医療的ケア対策推進委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.13	① 医療的ケアについて ② 職員教育について ③ その他	6 名	Zoom 会議
2	R 4. 5.18	上記 ①～③	8 名	Zoom 会議
3	R 4. 6.15	上記 ①～③（書面にて実施）	7 名	Zoom 会議
4	R 4. 7.13	上記 ①～③	5 名	Zoom 会議
5	R 4. 8.10	上記 ①～③	7 名	Zoom 会議
6	R 4. 9.14	上記 ①～③（書面にて実施）	7 名	Zoom 会議
7	R 4.10.12	上記 ①～③	6 名	Zoom 会議
8	R 4.11. 9	上記 ①～③	7 名	Zoom 会議
9	R 4.12.14	上記 ①～③	7 名	Zoom 会議
10	R 5. 1.18	上記 ①～③	6 名	Zoom 会議
11	R 5. 2.15	上記 ①～③	8 名	Zoom 会議
12	R 5. 3. 8	上記 ①～③	7 名	Zoom 会議

⑧ 身体的拘束等適正化検討委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.18	① 身体拘束廃止に向けての現状把握、改善についての検討 等（主任者会議の議事）	11 名	Zoom 会議
2	R 4. 5.16	4 月と同審議事項	9 名	Zoom 会議
3	R 4. 5.18	① 施設内での身体的拘束廃止に向けての現状把握、改善についての検討 ② 高齢者虐待・身体的拘束等に関する規程及びマニュアル等の見直し ③ 発生した身体的拘束の状況、手続き、方法についての検討、適正化の確認（身体的拘束が発生した場合） ④ 虐待、身体的拘束等の兆候の調査、検討、対策 ⑤ 教育研修の企画・実施 ⑥ 日常的なケア（尊厳を守ったケア）の検討 等	8 名	Zoom 会議
4	R 4. 6.16	4 月と同審議事項	12 名	Zoom 会議
5	R 4. 7.18	4 月と同審議事項	12 名	Zoom 会議
6	R 4. 8.10	① 施設内での身体的拘束廃止に向けての現状把握、改善についての検討 ② 高齢者虐待・身体的拘束等に関する規程及びマニュアル等の見直し ③ 発生した身体的拘束の状況、手続き、方法についての検討、適正化の確認（身体的拘束が発生し	7 名	Zoom 会議

		た場合) ④ 虐待、身体的拘束等の兆候の調査、検討、対策 ⑤ 教育研修の企画・実施 ⑥ 日常的なケア（尊厳を守ったケア）の検討 等		
7	R 4. 8.16	4 月と同審議事項	11 名	Zoom 会議
8	R 4. 9.16	4 月と同審議事項	11 名	Zoom 会議
9	R 4.10.18	4 月と同審議事項	10 名	Zoom 会議
10	R 4.11. 9	① 施設内での身体的拘束廃止に向けての現状把握、改善についての検討 ② 高齢者虐待・身体的拘束等に関する規程及びマニュアル等の見直し ③ 発生した身体的拘束の状況、手続き、方法についての検討、適正化の確認（身体的拘束が発生した場合） ④ 虐待、身体的拘束等の兆候の調査、検討、対策 ⑤ 教育研修の企画・実施 ⑥ 日常的なケア（尊厳を守ったケア）の検討 等	7 名	Zoom 会議
11	R 4.11.17	4 月と同審議事項	12 名	Zoom 会議
12	R 4.12.16	4 月と同審議事項	12 名	Zoom 会議
13	R 4.12.31	【緊急】 「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」に該当するか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患）	3 名	施設長室
14	R 5. 1. 2	【緊急】 「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患）→ 身体拘束（必要時のみ居室入口に施錠）開始	3 名	施設長室
15	R 5. 1. 3	「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患） 感染症対策委員会議事内で協議	4 名	Zoom 会議
16	R 5. 1. 4	「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患） 感染症対策委員会議事内で協議	9 名	Zoom 会議
17	R 5. 1. 5	「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患） 感染症対策委員会議事内で協議	9 名	Zoom 会議
18	R 5. 1. 6	「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」	7 名	Zoom 会議

		に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患） 感染症対策委員会議事内で協議		
19	R 5. 1. 9	「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」 に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患） 感染症対策委員会議事内で協議	9 名	Zoom 会議
20	R 5. 1.10	「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」 に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患） 感染症対策委員会議事内で協議	9 名	Zoom 会議
21	R 5. 1.11	「生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合」 に該当し継続しているか … 広域型特養入所者 1 名（新型コロナウイルス感染症罹患） 感染症対策委員会議事内で協議→ 身体拘束（必要時のみ居室入口に施錠）終了	9 名	Zoom 会議
22	R 5. 1.17	4 月と同審議事項	11 名	Zoom 会議
23	R 5. 2.15	① 施設内での身体的拘束廃止に向けての現状把握、改善についての検討 ② 高齢者虐待・身体的拘束等に関する規程及びマニュアル等の見直し ③ 発生した身体的拘束の状況、手続き、方法についての検討、適正化の確認（身体的拘束が発生した場合） ④ 虐待、身体的拘束等の兆候の調査、検討、対策 ⑤ 教育研修の企画・実施 ⑥ 日常的ケア（尊厳を守ったケア）の検討 等	8 名	Zoom 会議
24	R 5. 2.16	4 月と同審議事項	11 名	Zoom 会議
25	R 5. 3.16	4 月と同審議事項	12 名	Zoom 会議

⑨ 安全衛生委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 4. 4.20	① 巡視・災害報告 ② 腰痛対策 ③ 健康診断 ④ メンタルヘルスケア 等	5 名	産業医： 岸川秀樹医師 地域交流スペース
2	R 4. 5.25	上記 ①～④	10 名	地域交流スペース
3	R 4. 6.22	上記 ①～④	9 名	地域交流スペース
4	R 4. 7.20	上記 ①～④	9 名	地域交流スペース
5	R 4. 8.24	上記 ①～④	9 名	地域交流スペース
6	R 4. 9.28	上記 ①～④	7 名	地域交流スペース

7	R 4.10.19	上記 ①～④	7 名	地域交流スペース
8	R 4.11.16	上記 ①～④	9 名	地域交流スペース
9	R 4.12.21	上記 ①～④	10 名	地域交流スペース
10	R 5. 1.25	上記 ①～④	9 名	地域交流スペース
11	R 5. 2.22	上記 ①～④	10 名	地域交流スペース
12	R 5. 3.22	上記 ①～④	9 名	地域交流スペース

(3) 従来型特養

No.	期 日	会 議 名	会議の概要	出席者数
1	R4.4.19	フロア会議	主任者会議報告・身体拘束廃止・ヒヤリ・はっと・その他ケアについて	14 名
2	R4.5.18	フロア会議	〃	13 名
3	R4.6.20	フロア会議	〃	16 名
4	R4.7.20	フロア会議	〃	13 名
5	R4.8.20	フロア会議	〃	7 名
6	R4.9.20	フロア会議	〃	7 名
7	R4.10.24	フロア会議	〃	12 名
8	R4.11.21	フロア会議	〃	9 名
9	R4.12.21	フロア会議	〃	9 名
10	R5.1.21	フロア会議	〃	10 名
11	R5.2.21	フロア会議	〃	9 名
12	R5.3.22	フロア会議	〃	9 名

(4) ユニット型特養

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	4/11	しらたけチーム会議	5 名	
2	4/17	しらぬいチーム会議	4 名	
3	4/12	フロア会議	10 名	
4	5/12	しらたけチーム会議	6 名	
5	5/11	しらぬいチーム会議	3 名	
6	5/21	フロア会議	10 名	
7	6/7	しらたけチーム会議	6 名	
8	6/6	しらぬいチーム会議	5 名	
9	6/30	フロア会議	11 名	
10	7/5	しらたけチーム会議	6 名	
11	7/7	しらぬいチーム会議	5 名	
12	7/21	フロア会議	11 名	
13	8/12	しらたけチーム会議	4 名	

14	8/20	しらぬいチーム会議	4名	
15	8/24	フロア会議	9名	
16	9/10	しらたけチーム会議	4名	
17	9/14	しらぬいチーム会議	4名	
18	9/28	フロア会議	11名	
19	10/9	しらたけチーム会議	3名	
20	10/11	しらぬいチーム会議	5名	
21	10/18	フロア会議	11名	
22	11/14	しらたけチーム会議	3名	
23	11/12	しらぬいチーム会議	3名	
24	11/18	フロア会議	10名	
25	12/16	しらたけチーム会議	3名	
26	12/16	しらぬいチーム会議	4名	
27	12/19	フロア会議	10名	
28	1/20	しらたけチーム会議	4名	
	1/14	しらぬいチーム会議	4名	
29	1/20	フロア会議	11名	
30	2/10	しらたけチーム会議	4名	
31	2/13	しらぬいチーム会議	4名	
33	2/21	フロア会議	11名	
34	3/13	しらたけチーム会議	3名	
35	3/12	しらぬいチーム会議	3名	
36	3/28	フロア会議	11名	

(5) 栄養調理

No	期日	会議概要（審議事項・議決事項）	人数	備考
1	4月21日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	6	
2	5月27日	主任者会議・給食委員会・日清報告 異物混入防止マニュアル・配食手順マニュアル読み合わせ 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	6	
3	6月21日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討 転倒リスクのある場所の確認 異物混入防止マニュアル改正について	6	
4	7月22日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	6	
5	8月23日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	6	
6	9月21日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	5	

7	10月27日	主任者会議・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告 刻み食トロミ対応について	6	
8	11月18日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	6	
9	12月26日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	5	
10	1月19日	主任者会議・日清報告 盛り付けの評価・検討 ヒヤリ・はっと報告よりユニット型特養の配膳ミス防止についての検討	5	
11	2月23日	主任者会議・給食委員会・日清報告 盛り付けの評価・検討、ヒヤリ・はっと集計報告	5	
12	3月17日	主任者会議・給食委員会・日清報告 来年度の事業計画について ヒヤリ	6	

(6) 通所介護

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R4.4.20	フロア会議 ① 主任者会議報告 ② 身体拘束廃止について ③ リスクマネジメント（不適合サービス・ヒヤリはっと報告） ④ 事業計画の進捗状況確認 ⑤ 教育訓練・勉強会の状況 ⑥ 行事 ⑦ 改善のための提案、その他	6名	
2	R3.5.17	フロア会議 同協議事項	7名	
3	R3.6.21	フロア会議 同協議事項	5名	
4	R3.7.20	フロア会議 同協議事項	5名	
5	R3.8.23	フロア会議 同協議事項	7名	
6	R3.9.21	フロア会議 同協議事項	6名	
7	R3.10.20	フロア会議 同協議事項	6名	
8	R3.11.21	フロア会議 同協議事項	7名	
9	R3.12.21	フロア会議 同協議事項	7名	
10	R4.1.20	フロア会議 同協議事項	6名	
11	R4.2.21	フロア会議 同協議事項	5名	
12	R4.3.20	フロア会議 同協議事項	6名	

(8) グループホーム

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	4 月 11 日	フロア会議 ① 主任者会議報告 ② 行事評価・予定 ③ ヒヤリ・はっと・不適合サービスの検討とヒヤリ・はっと啓発 ④ 身体拘束等適正化についての検討 ⑤ 虐待についての検討 ⑥ 職員からの意見・要望 ⑦ 業務改善点の提案・検討 ⑧ その他	6 名	
2	5 月 13 日	田中武光様 偲ぶ会	6 名	
3	5 月 16 日	フロア会議 ①～⑧について	5 名	
4	6 月 20 日	フロア会議 ①～⑧について	6 名	
5	7 月 26 日	フロア会議 ①～⑧について	5 名	
6	8 月 12 日	フロア会議 ①～⑧について	6 名	
7	9 月 16 日	フロア会議 ①～⑧について	4 名	
8	10 月 24 日	フロア会議 ①～⑧について	5 名	
9	11 月 17 日	フロア会議 ①～⑧について	4 名	
10	12 月 19 日	フロア会議 ①～⑧について	6 名	
11	1 月 16 日	フロア会議 ①～⑧について	3 名	
12	2 月 21 日	フロア会議 ①～⑧について	5 名	
13	3 月 13 日	フロア会議 ①～⑧について	3 名	

【４】施設内講習会等

（１）実習等受入れ

No.	期 日	実習の概要	受入部所	参加者数	備 考
1	R 4. 6. 8 ～ 7.13	上天草高校 3 年福祉科「形態別介護実習」	ユニット型 特養	2 名	
2	R 4. 7. 2 ～ 7.27	上天草高校 3 年福祉科「形態別介護実習」	デイ	2 名	

（２）ボランティア受入れ

No.	期 日	ボランティア名	概 要	参加者数	備 考
1	R 4. 6. 19	姫戸婦人会、汐口和政様	草取り	19 名	翔洋苑苑庭、駐車場周辺

令和4年度 決算報告書

自:令和 4年4月 1日
至:令和 5年3月31日

社会福祉法人 姫戸福祉会

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 4 年 4 月 1 日 (至) 令和 5 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘 定 科 目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	365,825,000	366,970,860	-1,145,860
	障害福祉サービス等事業収入	1,570,000	1,630,938	-60,938
	生計困難者に対する相談支援事業収入	62,241	67,021	-4,780
	経常経費寄附金収入	547,000	1,054,500	-507,500
	受取利息配当金収入	3,000	1,171	1,829
	その他の収入	1,877,000	1,892,277	-15,277
	事業活動収入計 (1)	369,884,241	371,616,767	-1,732,526
	支出			
	人件費支出	262,679,268	262,119,201	560,067
	事業費支出	59,174,179	57,632,627	1,541,552
	事務費支出	57,883,035	57,137,505	745,530
	生計困難者に対する相談支援事業支出	67,021	67,021	
	利用者負担軽減額	188,000	167,914	20,086
	支払利息支出	1,500,000	1,498,023	1,977
施設整備等による収支	その他の支出	146,000	140,405	5,595
	事業活動支出計 (2)	381,637,503	378,762,696	2,874,807
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	-11,753,262	-7,145,929	-4,607,333
	収入			
	施設整備等収入計 (4)			
	設備資金借入金元金償還支出	9,000,000	9,000,000	
	固定資産取得支出	1,913,000	1,671,907	241,093
	支出			
	施設整備等支出計 (5)	10,913,000	10,671,907	241,093
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-10,913,000	-10,671,907	-241,093
	収入			
	積立資産取崩収入		551,733	-551,733
	その他の活動による収入計 (7)		551,733	-551,733
	支出			
	積立資産支出	2,198,711	2,066,408	132,303
その他の活動による収支	その他の活動支出計 (8)	2,198,711	2,066,408	132,303
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-2,198,711	-1,514,675	-684,036
	予備費支出 (10)	3,823,000	—	1,496,693
		-2,326,307		
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	-26,361,666	-19,332,511	-7,029,155
前期末支払資金残高 (12)		163,968,436	163,968,436	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		137,606,770	144,635,925	-7,029,155

予備費支出△2,326,307円は、事務費支出/研修研究費支出に221,801円、事務費支出/修繕費支出324,396円、事務費支出/業務委託費支出970,277円、事務費支出/渉外費支出94,500円、事務費支出/雑支出226,842円、生計困難者に対する相談支援事業支出4,780円、退職給付引当資産支出483,711円に充当使用した額である。

社会福祉法人名 社会福祉法人 姫戸福祉会
事業所名 特別養護老人ホーム 翔洋苑

別紙3 ㊦

翔洋苑拠点区分資金収支明細書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		法人本部	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護	デイサービスセンター	ヘルパーステーション	在宅介護支援センター	居宅介護支援	グループホームひめど	ユニット	グループホームデイ	生活困窮者レスキュー	合計	内部取引消去	拠点区分合計
事業活動	介護保険事業収入		136,706,083	21,886,105	45,943,472	7,875,837	7,103,000	5,937,900	38,080,561	103,437,902			366,970,860		366,970,860
	施設介護料収入		110,666,850										110,666,850		110,666,850
	介護報酬収入		99,600,165										99,600,165		99,600,165
	利用者負担金収入(公費)		368,995										368,995		368,995
	利用者負担金収入(一般)		10,697,690										10,697,690		10,697,690
	居宅介護料収入(介護報酬収入)			15,620,113	27,961,637	4,246,061							47,827,811		47,827,811
	介護報酬収入			15,324,049	27,961,637	4,246,061							47,531,747		47,531,747
	介護予防報酬収入			296,064									296,064		296,064
	居宅介護料収入(利用者負担金収入)			1,782,227	3,218,603	474,518							5,475,348		5,475,348
	介護負担金収入(公費)			1,921	117,967	14,547							134,435		134,435
	介護負担金収入(一般)			1,747,410	3,100,636	459,971							5,308,017		5,308,017
	介護予防負担金収入(一般)			32,896									32,896		32,896
	地域密着型介護料収入(介護報酬収入)								26,940,923	70,120,955			97,061,878		97,061,878
	介護報酬収入								26,940,923	70,120,955			97,061,878		97,061,878
	地域密着型介護料収入(利用者負担金収入)								3,525,337	8,398,255			11,923,592		11,923,592
	介護負担金収入(一般)								3,525,337	8,398,255			11,923,592		11,923,592
	居宅介護支援介護料収入							5,838,520					5,838,520		5,838,520
	居宅介護支援介護料収入							5,838,520					5,838,520		5,838,520
	介護予防・日常生活支援総合事業収入				10,604,080	3,018,321							13,622,401		13,622,401
	事業費収入				9,543,672	2,712,160							12,255,832		12,255,832
	事業負担金収入(一般)				1,060,408	306,161							1,366,569		1,366,569
	利用者等利用料収入		23,221,002	4,187,685	3,095,579	16,420			7,028,179	23,367,299			60,916,164		60,916,164
	食費収入(一般)		9,898,777	2,006,980	2,309,933				3,095,375	6,052,440			23,363,505		23,363,505
	食費収入(特定)		4,507,175	310,745						3,425,315			8,243,235		8,243,235
	居住費収入(一般)		5,413,075	1,293,615					2,584,800	9,897,214			19,188,704		19,188,704
	居住費収入(特定)		3,401,975	414,675						3,992,330			7,808,980		7,808,980
	その他の利用料収入			161,670	785,646	16,420			1,348,004				2,311,740		2,311,740
	その他の事業収入		2,818,231	296,080	1,063,573	120,517	7,103,000	99,380	586,122	1,551,393			13,638,296		13,638,296
	補助金事業収入(公費)		2,818,231	296,080	606,952	120,517		89,000	586,122	1,551,393			6,068,295		6,068,295
	上天草市受託事業収入(公費)				178,644		7,103,000	10,380					7,292,024		7,292,024
	上天草市受託事業収入(一般)				277,977								277,977		277,977
	障害福祉サービス等事業収入			677,305	715,983	237,650							1,630,938		1,630,938
	自立支援給付費収入			628,780	679,170	237,650							1,545,600		1,545,600
	介護給付費収入			628,780		237,650							866,430		866,430
	特例介護給付費収入				679,170								679,170		679,170
	特定費用収入			48,525	36,813								85,338		85,338
	生活困窮者に対する相談支援事業収入										67,021		67,021		67,021
	生活困窮者に対する相談支援事業収入										67,021		67,021		67,021
	生活困窮者に対する相談支援事業収入										67,021		67,021		67,021
	経常経費寄附金収入	680,000							374,500				1,054,500		1,054,500
	経常経費寄附金収入	680,000							374,500				1,054,500		1,054,500
	受取利息配当金収入	19	439		667				46				1,171		1,171
	受取利息配当金収入	19	439		667				46				1,171		1,171
	その他の収入	10,500	934,719	1,210	325,400	12,210		63,225	205,070	339,943			1,392,277		1,392,277
	受入研修費収入				2,500					24,000			26,500		26,500
	利用者等外給食費収入				95,500				13,875				109,375		109,375
	雑収入	10,500	934,719	1,210	227,400	12,210		63,225	191,195	315,943			1,756,402		1,756,402
	事業活動収入計(1)	690,519	137,641,241	22,564,620	46,985,522	3,125,697	7,103,000	6,001,125	38,660,177	103,777,845		67,021	371,616,767		371,616,767
支出	大件費支出	150,336	88,557,349	17,476,365	33,405,524	10,243,970	5,251,056	7,212,832	33,701,340	66,120,429			262,119,201		262,119,201
	役員報酬支出	150,336											150,336		150,336
	職員給料支出		53,743,588	11,486,570	18,403,879	7,534,008	3,781,439	4,504,293	20,786,741	40,716,121			160,956,639		160,956,639
	職員給与支出		14,532,505	1,465,627	4,044,147	1,113,026	624,152	1,481,396	5,201,413	8,671,179			37,133,445		37,133,445
	非常勤職員給与支出		6,472,196	1,362,505	4,844,312	2,700			1,368,895	5,542,468			19,593,076		19,593,076
	退職給付支出		3,048,146	861,720	1,478,800	342,500	117,390	285,110	1,776,184	2,912,634			10,822,484		10,822,484
	法定福利費支出		10,760,914	2,299,943	4,634,386	1,251,736	728,075	942,033	4,568,107	8,278,027			33,463,221		33,463,221
	事業費支出		21,984,952	4,211,483	9,233,138	452,425	234,012	238,693	5,204,381	16,073,543			57,632,627		57,632,627
	給食費支出		9,497,608	1,596,303	3,243,973				2,118,692	6,373,396			22,829,972		22,829,972
	介護用品費支出		1,983,105	423,575	14,479				6,974	1,283,532			3,711,665		3,711,665
	医薬品費支出		173,269	37,130	7,709				8,634	115,295			342,037		342,037
	保健衛生費支出		1,143,620	231,158	729,922	106,534	40,907	45,592	295,974	873,112			3,466,819		3,466,819
	被服費支出		23,074	4,928	19,105								47,107		47,107
	雑費支出		376,542	46,142	616,444	1,334	682	681	37,543	415,597			1,494,965		1,494,965
	日用品費支出		349,053	74,566	251,426				45,608	170,187			890,840		890,840
	水道光熱費支出		4,197,868	896,719	2,139,755				1,801,051	3,706,728			12,742,121		12,742,121
	燃料費支出		397,812	84,969	188,433	45	20			282,379			953,678		953,678
	消耗器具備品費支出		1,053,177	223,733	503,872	1,481	710	708	477,822	717,580			2,979,083		2,979,083
	保険料支出		1,209,287	258,367	632,986	162,710	102,880	102,880	175,675	795,770			3,440,555		3,440,555
	賃借料支出		1,104,420	236,408	260,810				42,240	1,068,804			2,712,682		2,712,682
	車輦費支出		267,695	57,264	601,454	177,681	87,658	87,657	97,628	178,128			1,555,265		1,555,265
	雑支出		208,422	40,121	22,770	2,640	1,155	1,155	96,540	93,035			465,838		465,838
	事業費支出	156,126	23,339,672	2,041,690	7,167,859	631,580	683,879	672,596	5,074,794	17,369,309			57,137,505		57,137,505
	福利厚生費支出		838,354	179,129	349,494	99,478	49,821	54,464	342,462	646,014			2,559,216		2,559,216
	職員被服費支出		324,938	69,439	165,598	45,408	20,250	20,250	171,700	286,873			1,104,456		1,104,456
	旅費交通費支出		75,723	16,187	97,900								328,443		328,443
	研修研究費支出		204,347	16,447	68,148	10,709	3,855	3,854	498,128	107,178			912,666		912,666
	事務消耗品費支出		650,063	143,652	49,639	50,950	70,764	70,764	167,330	453,507			1,656,669		1,656,669
	印刷製本費支出		350				4,125	7,525		1,475			13,995		13,995
	水道光熱費支出		270,015	57,861	182,718	82,914	82,913	82,913	764,990	2,260,841			356,093		356,093
	修繕費支出		1,131,332	241,878	273,802	58,625	2,965	2,963					4,737,396		4,737,396
	通信運搬費支出		658,529	77,417	131,577	2,380	73,138	73,818	264,802	403,389			1,685,050		1,685,050
	広報費支出		40,730	8,728									76,560		76,560
	業務委託費支出	10,416	14,978,352	503,672	4,298,219	59,582	29,335	29,334	1,312,230	10,158,137			31,379,277		31,379,277
	手数料支出	1,210	544,103	117,038	48,927	9,399	3,831	3,830	31,074	98,229			857,641		857,641
	賃借料支出		445,700	95,452	476,700	17,160	182,375	182,375	20,856	323,019			1,743,637		1,743,637
	土地・建物賃借料支出		100,000		100,000				1,200,000				1,400,000		1,400,000
	租税公課支出		64,638	13,852	109,800	5,000	3,000	3,000		43,010			250,500		250,500
	保守料支出		1,298,478	384,380	792,128	58,809	130,860	130,860	159,161	1,272,277			4,726,953		4,726,953
	雑費支出		277,500		5,000				20,000	190,000			587,000		587,000

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	収 益	介護保険事業収益	366,970,860	378,762,390	-11,791,530
		障害福祉サービス等事業収益	1,630,938	1,602,253	28,685
		生計困難者に対する相談支援事業収益	67,021		67,021
		経常経費寄附金収益	1,054,500	80,000	974,500
		サービス活動収益計 (1)	369,723,319	380,444,643	-10,721,324
	費 用	人件費	262,008,825	266,895,969	-4,887,144
		事業費	57,632,627	55,230,665	2,401,962
		事務費	57,137,505	56,802,620	334,885
		生計困難者に対する相談支援事業支出	67,021		67,021
		利用者負担軽減額	167,914	161,084	6,830
		減価償却費	22,078,707	22,317,201	-238,494
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,085,053	-6,085,053	
サービス活動費用計 (2)	393,007,546	395,322,486	-2,314,940		
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)		-23,284,227	-14,877,843	-8,406,384	
サービス活動外増減の部	収 益	受取利息配当金収益	1,171	1,233	-62
		その他のサービス活動外収益	1,943,226	995,014	948,212
		サービス活動外収益計 (4)	1,944,397	996,247	948,150
	費 用	支払利息	1,498,023	1,638,660	-140,637
		その他のサービス活動外費用	140,405	184,347	-43,942
	サービス活動外費用計 (5)	1,638,428	1,823,007	-184,579	
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)		305,969	-826,760	1,132,729	
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		-22,978,258	-15,704,603	-7,273,655	
特別増減の部	収 益	固定資産受贈額	114,400	110,400	4,000
		特別収益計 (8)	114,400	110,400	4,000
	費 用	固定資産売却損・処分損	3	5	-2
		特別費用計 (9)	3	5	-2
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)		114,397	110,395	4,002
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		-22,863,861	-15,594,208	-7,269,653	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		149,432,088	165,026,296	-15,594,208
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)		126,568,227	149,432,088	-22,863,861
	基本金取崩額 (14)				
	その他の積立金取崩額 (15)				
	その他の積立金積立額 (16)				
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)		126,568,227	149,432,088	-22,863,861

事業所名 特別養護老人ホーム 翔洋苑

別紙 3 ⑪

翔洋苑拠点区分事業活動明細書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		翔洋苑拠点区分										合 計	内部取引消去	拠点区分合計
		法人本部	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護	デイサービスセンター	ヘルパーステーション	在宅介護支援センター	居宅介護支援	グループホームひめど	ユニット	グループホームデイ			
収 入	介護保険事業収益		136,706,083	21,886,105	45,943,472	7,875,837	7,103,000	5,937,900	38,080,561	103,437,902		366,970,860		366,970,860
	施設介護料収益		110,666,850									110,666,850		110,666,850
	介護報酬収益		99,600,165									99,600,165		99,600,165
	利用者負担金収益(公費)		368,995									368,995		368,995
	利用者負担金収益(一般)		10,697,690									10,697,690		10,697,690
	居宅介護料収益(介護報酬収益)			15,620,113	27,961,637	4,246,061						47,827,811		47,827,811
	介護報酬収益			15,324,049	27,961,637	4,246,061						47,531,747		47,531,747
	介護予防報酬収益			296,064								296,064		296,064
	居宅介護料収益(利用者負担金収益)			1,782,227	3,218,603	474,518						5,475,348		5,475,348
	介護負担金収益(公費)			1,921	117,967	14,547						134,435		134,435
	介護負担金収益(一般)			1,747,410	3,100,636	459,971						5,308,017		5,308,017
	介護予防負担金収益(一般)			32,896								32,896		32,896
	地域密着型介護料収益(介護報酬収益)								26,940,923	70,120,955		97,061,878		97,061,878
	介護報酬収益								26,940,923	70,120,955		97,061,878		97,061,878
	地域密着型介護料収益(利用者負担金収益)								3,525,337	8,398,255		11,923,592		11,923,592
	介護負担金収益(一般)								3,525,337	8,398,255		11,923,592		11,923,592
	居宅介護支援介護料収益							5,838,520				5,838,520		5,838,520
	居宅介護支援介護料収益							5,838,520				5,838,520		5,838,520
	介護予防・日常生活支援総合事業収益				10,604,080	3,018,321						13,622,401		13,622,401
	サ ー ビ ス 費 用	事業費収益				9,543,672	2,712,160						12,255,832	
事業費負担金収益(一般)					1,060,408	306,161						1,366,569		1,366,569
利用者等利用料収益			23,221,002	4,187,685	3,095,579	16,420		7,028,179	23,367,299			60,916,164		60,916,164
食費収益(一般)			9,898,777	2,006,980	2,309,933			3,095,375	6,052,440			23,363,505		23,363,505
食費収益(特定)			4,507,175	310,745								8,243,235		8,243,235
居住費収益(一般)			5,413,075	1,293,615				2,584,800	9,897,214			19,188,704		19,188,704
居住費収益(特定)			3,401,975	414,675								7,808,980		7,808,980
その他の利用料収益				161,670	785,646	16,420		1,348,004				2,311,740		2,311,740
その他の事業収益			2,818,231	296,080	1,063,573	120,517	7,103,000		586,122	1,551,393		13,638,296		13,638,296
補助金事業収益(公費)			2,818,231	296,080	606,952	120,517			586,122	1,551,393		6,068,295		6,068,295
上東京市受託事業収益(公費)					178,644		7,103,000		10,380			7,292,024		7,292,024
上東京市受託事業収益(一般)					277,977							277,977		277,977
障害福祉サービス等事業収益				677,305	715,983	237,650						1,630,938		1,630,938
自立支援給付費収益				628,780	679,170	237,650						1,545,600		1,545,600
介護給付費収益				628,780		237,650						866,430		866,430
特別介護給付費収益					679,170							679,170		679,170
特定費用収益				48,525	36,813							85,338		85,338
生計困難者に対する相談支援事業収益											67,021	67,021		67,021
生計困難者に対する相談支援事業収益											67,021	67,021		67,021
生計困難者に対する相談支援事業収益											67,021	67,021		67,021
増 減	経常経費寄附金収益	680,000							374,500			1,054,500		1,054,500
	経常経費寄附金収益	680,000							374,500			1,054,500		1,054,500
	サ・ビス活動収益計(1)	680,000	136,706,083	22,563,410	46,659,455	8,113,487	7,103,000	5,937,900	38,455,061	103,437,902	67,021	369,723,319		369,723,319
	人件費	150,336	86,870,060	18,527,365	32,363,504	10,318,990	5,343,056	7,147,872	33,607,901	67,679,741		262,008,825		262,008,825
	賃金報酬	150,336										150,336		150,336
	職員給料		53,743,588	11,486,570	18,403,879	7,534,008	3,781,439	4,504,293	20,786,741	40,716,121		160,956,639		160,956,639
	職員賞与		6,855,505	1,465,627	2,130,147	704,026	461,152	730,396	3,021,413	5,606,179		20,974,445		20,974,445
	賞与引当金繰入		5,111,000	1,051,000	1,153,000	435,000	255,000	588,000	1,917,000	4,284,000		14,794,000		14,794,000
	非常勤職員給与		6,367,196	1,362,505	4,741,312	2,700			1,354,895	5,453,468		19,282,076		19,282,076
	退職給付費用		4,031,857	861,720	1,300,780	391,520	117,390	383,150	1,959,745	3,341,946		12,388,108		12,388,108
	法定福利費		10,760,914	2,299,943	4,634,386	1,251,736	728,075	942,033	4,568,107	8,278,027		33,463,221		33,463,221
	事業費		21,984,952	4,211,483	9,233,138	452,425	234,012	238,693	5,204,381	16,073,543		57,632,627		57,632,627
	給食費		9,497,608	1,596,303	3,243,973				2,118,692	6,373,396		22,829,972		22,829,972
	給食費		1,983,105	423,575	14,479				6,974	1,283,532		3,711,665		3,711,665
	介護用品費		173,269	37,130	7,709				8,634	115,295		342,037		342,037
	医薬品費		1,143,620	231,158	729,922	106,534	40,907	45,592	295,974	873,112		3,466,819		3,466,819
	保健衛生費		23,074	4,928	19,105							47,107		47,107
	被服費		376,542	46,142	616,444	1,334	682	681	37,543	415,597		1,494,965		1,494,965
	教育娯楽費		349,053	74,566	251,426				45,608	170,187		890,840		890,840
	日用品費		4,197,868	896,719	2,139,755				1,801,051	3,706,728		12,742,121		12,742,121
水道光熱費		397,812	84,969	188,433		45	20		282,379		953,678		953,678	
燃料費		1,053,177	223,733	503,872	1,481	710	708	477,822	717,580		2,979,083		2,979,083	
消耗器具備品費		1,209,287	258,367	632,986	162,710	102,880	102,880	175,675	795,770		3,440,555		3,440,555	
保険料		1,104,420	236,408	260,810				42,240	1,068,804		2,712,682		2,712,682	
賃借料		267,695	57,364	601,454	177,681	87,658	87,657	97,628	178,128		1,555,265		1,555,265	
車輦費		208,422	40,121	22,770	2,640	1,155	1,155	96,540	93,035		465,838		465,838	
雑費		23,339,672	2,041,690	7,167,859	631,580	683,879	672,596	5,074,794	17,369,309		57,137,505		57,137,505	
福利厚生費		838,354	179,129	349,494	99,478	49,821	54,464	342,462	646,014		2,559,216		2,559,216	
福利厚生費		324,938	69,439	165,598	45,408	20,250	20,250	171,700	286,873		1,104,456		1,104,456	
職員被服費		75,723	16,187	97,900					138,633		328,443		328,443	
旅費交通費		204,347	16,447	68,148	10,709	3,855	3,854	498,128	107,178		912,666		912,666	
研修研究費		650,063	143,652	49,639	50,950	70,764	70,764	167,330	453,507		1,656,669		1,656,669	
事務消耗品費		350			4,125	7,525		520	1,475		13,995		13,995	
印刷製本費		270,015	57,861	182,718					179,672		856,093		856,093	
水道光熱費		1,131,332	241,878	273,802	58,625	2,965	2,963	764,990	2,260,841		4,737,396		4,737,396	
修繕費		658,529	77,417	131,577	2,380	73,138	73,818	264,802	403,389		1,685,050		1,685,050	
通信運搬費		40,730	8,728						27,102		76,560		76,560	
広報費		10,416	14,978,352	503,672	4,298,219	59,582	29,335	29,334	1,312,230	10,158,137	31,379,277		31,379,277	
業務委託費		1,210	544,103	117,038	48,927	9,399	3,831	3,830	31,074	98,229	857,641		857,641	
手数料			445,700	95,452	476,700	17,160	182,375	182,375	20,856	323,019	1,743,637		1,743,637	
賃借料			100,000	100,000				1,200,000			1,400,000		1,400,000	
土地・建物賃借料			64,638	13,852	109,800	5,000	3,000	3,000	8,200	43,010	250,500		250,500	
租税公課		1,798,478	384,380	792,128	58,809	130,360	130,360	159,161	1,272,277		4,726,953		4,726,953	
保守料		277,500		5,000							587,000		587,000	
渉外費		50,000	194,978	41,781	36,000	15,000	20,000	32,000	129,741		519,500		519,500	
諸会費			741,542	74,777	164,927	16,362	6,646	81,341	650,212		1,742,453		1,742,453	
雑費											67,021		67,021	
生計困難者に対する相談支援事業支出											67,021		67,021	
生計困難者に対する相談支援事業支出											67,021		67,021	
生計困難者に対する相談支援事業支出											67,021		67,021	
利用者負担軽減額		159,306				8,608					167,914		167,914	
利用者負担軽減額		159,306				8,608					167,914		167,914	
減価償却費		8,863,481		2,055,025	138,393	420,829	69,245	458,855	10,072,879		22,078,707		22,078,707	
減価償却費		8,863,481		2,055,025	138,393	420,829	69,245	458,855	10,072,879		22,078,707		22,078,707	
減価償却費		-713,339		-713,339		-257,537	-24,443	-25,810	-2,399,128		-6,085,053		-6,085,053	
国庫補助金等特別積立金取崩額		-2,664,796		-713,339		-257,537	-24,443	-25,810	-2,399,128		-6,085,053		-6,085,053	
国庫補助金等特別積立金取崩額		-2,664,796		-713,339		-257,537	-24,443	-25,810	-2,399,128		-6,085,053		-6,085,053	
サ・ビス活動費用計(2)	306,462	138,552,675	24,780,538	50,106,187	11,549,996	6,424,239	8,103,963	44,320,121	108,796,344	67,021	393,007,546		393,007,546	
サ・ビス活動増減差額(3)=(1)-(2)	373,538	-1,846,592	-2,217,128	-3,446,732	-3,436,509	678,761	-2,166,063	-5,865,060	-5,358,442					

法人単位貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	163,649,067	183,981,300	-20,332,233	流 動 負 債	42,807,142	45,482,864	-2,675,722
普 通 預 金	105,314,831	125,778,733	-20,463,902	事 業 未 払 金	18,051,202	18,915,889	-864,687
事 業 未 収 金	55,372,567	57,075,894	-1,703,327	1年以内返済予定 設備資金借入金	9,000,000	9,000,000	
未 収 金	75,819	51,845	23,974	職 員 預 り 金	961,940	1,096,975	-135,035
未 収 補 助 金	2,835,000	1,038,978	1,796,022	賞 与 引 当 金	14,794,000	16,470,000	-1,676,000
前 払 金	50,850	35,850	15,000	固 定 負 債	100,463,887	107,949,212	-7,485,325
固 定 資 産	417,268,457	436,046,185	-18,777,728	設 備 資 金 借 入 金	77,996,000	86,996,000	-9,000,000
基 本 財 産	372,181,124	388,929,924	-16,748,800	退 職 給 付 金 引 当 金	22,467,887	20,953,212	1,514,675
土 地	120,946,856	120,946,856		負 債 の 部 合 計	143,271,029	153,432,076	-10,161,047
建 物	251,234,268	267,983,068	-16,748,800	純 資 産 の 部			
そ の 他 の 固 定 資 産	45,087,333	47,116,261	-2,028,928	基 本 金	216,759,934	216,759,934	
構 築 物	164,127	1,192,205	-1,028,078	基 本 金	216,759,934	216,759,934	
車 輛 運 搬 具	244,633	279,835	-35,202	国 庫 補 助 金 等	85,318,334	91,403,387	-6,085,053
器 具 及 び 備 品	2,163,167	3,026,578	-863,411	特 別 積 立 金 等	85,318,334	91,403,387	-6,085,053
権 利	10,350,771	11,967,683	-1,616,912	国 庫 補 助 金 等	85,318,334	91,403,387	-6,085,053
退職給付引当資産	371,548	371,548		そ の 他 の 積 立 金	9,000,000	9,000,000	
人件費積立資産	22,467,887	20,953,212	1,514,675	人 件 費 積 立 金	9,000,000	9,000,000	
差 入 保 証 金	9,000,000	9,000,000		次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	126,568,227	149,432,088	-22,863,861
そ の 他 の 固 定 資 産	25,200	25,200		次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	126,568,227	149,432,088	-22,863,861
資 産 の 部 合 計	580,917,524	620,027,485	-39,109,961	増 減 差 額 (うち当期活動増減差額)	-22,863,861	-15,594,208	-7,269,653
				純 資 産 の 部 合 計	437,646,495	466,595,409	-28,948,914
				負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	580,917,524	620,027,485	-39,109,961

翔洋苑拠点区分貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

勘 定 科 目	法人本部	特別養護老人ホ ム	短期入所生活介護	デイサービスセン ター	ヘルパーステーシ ョン	在宅介護支援セン ター	居宅介護支援	グループホームひ めど	ユニット	グループホーム デイ	生計困難者レスキ ュー	合 計	内部取引消去	拠点区分合計
流動資産	682,290	105,818,440	-10,319,789	105,625,595	-24,139,854	8,357,176	-23,993,444	12,220,269	5,431,367		50,000	179,732,050	-16,082,983	163,649,067
普通預金	682,290	68,206,460	-13,309,540	98,660,195	-25,449,017	4,701,176	-25,044,164	6,653,763	-9,769,311		-17,021	105,314,831		105,314,831
事業未収金		19,788,328	2,829,751	6,789,420	1,293,163	3,656,000	961,720	5,406,506	14,580,658		67,021	55,372,567		55,372,567
未収金		65,799							10,020			75,819		75,819
未収補助金		1,639,000	160,000	161,000	16,000		89,000	160,000	610,000			2,835,000		2,835,000
前払金		35,870		14,980								50,850		50,850
サービス区分間貸付金		16,082,983										16,082,983	-16,082,983	
固定資産		187,352,443		23,297,129	616,516	6,934,691	1,654,430	3,594,379	193,818,869			417,268,457		417,268,457
基本財産		158,724,738		20,136,318		6,832,220			186,487,848			372,181,124		372,181,124
土地		72,414,000							48,532,856			120,946,856		120,946,856
建物		86,310,738		20,136,318		6,832,220			137,954,992			251,234,268		251,234,268
その他の固定資産		28,627,705		3,160,811	616,516	102,471	1,654,430	3,594,379	7,331,021			45,087,333		45,087,333
建物		1						164,126				164,127		164,127
構築物		244,633										244,633		244,633
車輛運搬具		2,163,163		2	1			1				2,163,167		2,163,167
器具及び備品		4,797,792		907,883	30,855	30,859	66,440	427,863	4,089,079			10,350,771		10,350,771
権利		149,968		149,968		71,612						371,548		371,548
退職給付引当資産		11,946,948		2,102,958	585,660		1,587,990	3,002,389	3,241,942			22,467,887		22,467,887
人件費積立資産		9,000,000										9,000,000		9,000,000
差入保証金		25,200										25,200		25,200
その他の固定資産		300,000										300,000		300,000
資産の部合計	682,290	293,170,883	-10,319,789	128,922,724	-23,523,338	15,291,867	-22,339,014	15,814,648	199,250,236		50,000	597,000,507	-16,082,983	580,917,524
流動負債		17,596,203	1,051,000	4,955,490	1,257,366	309,268	1,254,473	17,372,497	15,093,828			58,890,125	-16,082,983	42,807,142
事業未払金		9,015,263		2,232,523	493,177	54,268	143,584	1,794,559	4,317,828			18,051,202		18,051,202
1年以内返済予定設備資金借入金		2,508,000							6,492,000			9,000,000		9,000,000
職員預り金		961,940										961,940		961,940
サービス区分間借入金				1,569,967	329,189		522,889	13,660,938				16,082,983	-16,082,983	
賞与引当金		5,111,000	1,051,000	1,153,000	435,000	255,000	588,000	1,917,000	4,284,000			14,794,000		14,794,000
固定負債		13,120,948		2,102,958	585,660		1,587,990	3,002,389	80,063,942			100,463,887		100,463,887
設備資金借入金		1,174,000							76,822,000			77,996,000		77,996,000
退職給付引当金		11,946,948		2,102,958	585,660		1,587,990	3,002,389	3,241,942			22,467,887		22,467,887
負債の部合計		30,717,151	1,051,000	7,058,448	1,843,026	309,268	2,842,463	20,374,886	95,157,770			159,354,012	-16,082,983	143,271,029
基本金		196,982,215		17,059,623		2,718,096						216,759,934		216,759,934
基本金		196,982,215		17,059,623		2,718,096						216,759,934		216,759,934
国庫補助金等特別積立金		35,158,977		9,392,353		4,948,424	24,445	25,810	35,768,325			85,318,334		85,318,334
国庫補助金等特別積立金		35,158,977		9,392,353		4,948,424	24,445	25,810	35,768,325			85,318,334		85,318,334
その他の積立金		9,000,000										9,000,000		9,000,000
人件費積立金		9,000,000										9,000,000		9,000,000
次期繰越活動増減差額	682,290	21,312,540	-11,370,789	95,412,300	-25,366,364	7,316,079	-25,205,922	-4,586,048	68,324,141		50,000	126,568,227		126,568,227
次期繰越活動増減差額	682,290	21,312,540	-11,370,789	95,412,300	-25,366,364	7,316,079	-25,205,922	-4,586,048	68,324,141		50,000	126,568,227		126,568,227
(うち当期活動増減差額)	634,057	-1,106,759	-2,215,918	-3,081,846	-3,424,299	678,761	-2,102,839	-5,673,819	-6,571,199			-22,863,861		-22,863,861
純資産の部合計	682,290	262,453,732	-11,370,789	121,864,276	-25,366,364	14,982,599	-25,181,477	-4,560,238	104,092,466		50,000	437,646,495		437,646,495
負債及び純資産の部合計	682,290	293,170,883	-10,319,789	128,922,724	-23,523,338	15,291,867	-22,339,014	15,814,648	199,250,236		50,000	597,000,507	-16,082,983	580,917,524

計算書類に対する注記

社会福祉法人 姫戸福祉会

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

①建物及び付属設備、構築物、車両運搬具、器具及び備品

平成25年3月31日以前は旧定率法または定率法、平成25年4月1日以降事業年度から定額法によって

いる。

②リース資産

該当なし

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②徴収不能引当金

該当なし

③退職給付引当金

熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済制度に加入している職員に係る掛け金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(7) 税効果会計の適用について

該当なし

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

法人で採用する退職給付制度は以下のとおりである。

(1) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度

加入対象となる職員について、独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

(2) 熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済制度

加入対象となる職員について、熊本県社会福祉協議会の実施する退職共済制度に加入している。

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)

(2) 事業区分別内訳表(第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)

当法人では社会福祉事業である介護保険事業のみをおこなっており作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人は1拠点のみであり作成していない。

(4) 公益事業及び収益事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では公益事業及び収益事業を実施していない為作成していない。

(5) 翔洋苑拠点計算書類(第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

(6) 拠点区分事業活動明細書(別紙3⑪)、拠点区分資金収支明細書(別紙3⑩)

(7) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア、特別養護老人ホーム翔洋苑拠点区分(社会福祉事業)

「特別養護老人ホーム翔洋苑」

「特別養護老人ホーム翔洋苑ユニット棟」

「翔洋苑デイサービスセンター」

「姫戸町在宅介護支援センター」

「姫戸町ホームヘルパーステーション翔洋苑」

「居宅介護支援事業」

「短期入所生活介護事業」

「認知症対応型共同生活介護グループホームひめど」

「生計困難者レスキュー」

「法人本部」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	120,946,856	0	0	120,946,856
建物	268,661,001	0	17,426,733	251,234,268
合 計	389,607,857	0	17,426,733	372,181,124

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産） 48,532,856円
建物（基本財産） 137,954,992円
計 186,487,848円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む） 計 83,314,000円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	434,420,102	183,185,834	251,234,268
建物	4,994,201	4,830,074	164,127
構築物	1,473,733	1,229,100	244,633
車両運搬具	6,823,090	4,659,923	2,163,167
器具及び備品	54,231,022	43,880,251	10,350,771
合 計	501,942,148	237,785,182	264,156,966

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
事業未収金	55,372,567	0	55,372,567
未収金	75,819	0	75,819
未収補助金	2,835,000	0	2,835,000
合 計	58,283,386	0	58,283,386

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。
該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。
該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受けが行われた場合には、その旨及び概要
該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

財 産 目 録

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
普通預金	肥後銀行松島支店 3口計	—	運転資金として	—	—	36,798,358
	あまくさ農協上支所 4口計	—	"	—	—	47,528,111
	天草信用金庫龍ヶ岳支店 1口	—	"	—	—	4,067,922
	姫戸郵便局 1口	—	"	—	—	16,920,440
	小計					105,314,831
事業未収金	熊本県国民健康保険団体連合会他	—	2・3月分介護施設サービス報酬他	—	—	55,372,567
未収金	熊本県	—	熊本県結核予防健診補助金他	—	—	75,819
未収補助金	熊本県他	—	高齢者施設等物価高騰対策支援金他	—	—	2,835,000
前払金	富士山マガジンサービス	—	R5年度年間購読料	—	—	50,850
	流動資産合計					163,649,067
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	上天草市姫戸町姫浦3055-106 (2,413.8㎡)	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	72,414,000	—	72,414,000
	特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	41,032,856	—	41,032,856
	上天草市姫戸町姫浦3055-45 (1,654.3㎡)	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	7,500,000	—	7,500,000
	特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	—	—	—
	上天草市姫戸町姫浦3055-45 (331.46㎡)	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	—	—	—
	特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	—	—	—
	小計					120,946,856
建物	上天草市姫戸町姫浦3055-106 2004.83㎡	1991	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	194,612,488	81,333,212	113,279,276
	特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	239,807,614	101,852,622	137,954,992
	上天草市姫戸町姫浦3055-45 1737.21㎡	2011	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	—	—	—
	特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	—	—	—
	小計					251,234,268
	基本財産合計					372,181,124
(2) その他の固定資産						
建物	イナバ物置設置工事特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	2008	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	104,420	104,419	1
	イナバ物置設置工事	—	第2種社会福祉事業であるグループホーム等に使用している。	4,889,781	4,725,655	164,126
	特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点 (グループホーム)	2005	第2種社会福祉事業であるグループホーム等に使用している。	—	—	—
	電気設備他内装工事一式	—	第2種社会福祉事業であるグループホーム等に使用している。	—	—	—
	小計					164,127
構築物	地下水ボーリング工事他	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	1,473,733	1,229,100	244,633

財 産 目 録

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
車輛運搬具	トヨタラクティス他 8台	—	利用者送迎用	6,823,090	4,659,923	2,163,167
器具及び備品	電動ベッド・車椅子他	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	54,231,022	43,880,251	10,350,771
権利	電話加入権 0969-58-3611他	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	—	—	371,548
退職給付引当資産	熊本県民間福祉施設事業従事者退職共済掛金	—	将来における職員の退職金支給の為に積立資産	22,467,887		22,467,887
人件費積立資産	定期貯金 姫戸郵便局	—	将来における人件費支払いの為に積み立てている	9,000,000		9,000,000
差入保証金	上天草市公営住宅	—	技能実習生入居敷金	25,200		25,200
その他の固定資産	納骨堂	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	300,000		300,000
その他の固定資産合計						45,087,333
固定資産合計						417,268,457
資産合計						580,917,524
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分諸経費未払額	—		—	—	18,051,202
1年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構他	—		—	—	9,000,000
職員預り金	3月分源泉所得税他	—		—	—	961,940
賞与引当金	翌期支給予定の賞与見込額の内当期帰属額	—		—	—	14,794,000
流動負債合計						42,807,142
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構他	—		—	—	77,996,000
退職給付引当金	熊本県民間福祉施設事業従事者退職共済掛金	—		—	—	22,467,887
固定負債合計						100,463,887
負債合計						143,271,029
差引純資産						437,646,495